

甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画
策定に係るニーズ調査

【結果報告書】

平成26年3月

甲 賀 市

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査概要	2
3 報告書の見方	3
II. 調査結果（就学前児童調査・小学生児童調査）	5
1 お住まいの地域、居住年数について	6
2 お子さんご家族の状況について	8
3 子どもの育ちをめぐる環境について	11
4 保護者の就労状況について	16
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	24
6 地域の子育て支援事業の利用状況について	34
7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	37
8 病気の際の対応について	40
9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	47
10 放課後の過ごし方について	53
11 育児休業や短時間勤務制度など子育てと仕事の両立支援について	73
12 地域の子育て支援や甲賀市の子育て支援サービスについて	87
III. 調査結果（一般市民アンケート調査）	99
1 あなたと家族のことについて	100
2 子育てや教育について	105
3 少子化について	110
4 地域での子育てについて	112
IV. 資 料	119
1 調査票（就学前児童用）	119
2 調査票（小学生児童用）	131
3 調査票（一般市民アンケート用）	139

I . 調査の概要

1 調査の目的

甲賀市では、平成 27 年度から始まる「子ども・子育て支援制度」に向けて、「子ども・子育て応援団支援事業計画」を策定します。

この計画には、地域全体で子どもの成長を応援していけるような施策やアイデアを反映させていきたいと考えています。このため市民の皆様の子育てに関する現状やニーズを把握すべく、「子ども・子育て応援団事業計画策定に係るニーズ調査」を行いました。

2 調査概要

【就学前児童調査・小学生用調査】

- 調査地域：甲賀市全域
- 調査対象者：甲賀市内在住の就学前児童の保護者（就学前児童用調査）
甲賀市内在住の小学生の保護者（小学生用調査）
- 抽出方法：住民基本台帳より就学前児童 1,000 人、小学生 1,000 人の合計 2,000 人を無作為抽出
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法
- 調査期間：平成 26 年 1 月 6 日（月）～平成 26 年 1 月 22 日（水）

【一般市民アンケート調査】

- 調査地域：甲賀市全域
- 調査対象者：甲賀市内在住の 18 歳以上の方
- 抽出方法：住民基本台帳より 1,000 人を無作為抽出
- 調査方法：郵送配布・郵送回収による郵送調査法
- 調査期間：平成 26 年 2 月 12 日（水）～平成 26 年 2 月 28 日（金）

調査票	配布数（件）	有効回収数（件）	有効回収率（％）
就学前児童調査	1,000	465	46.5%
小学生児童調査	1,000	454	45.4%
一般市民アンケート調査	1,000	418	41.8%
合 計	3,000	1,337	44.5%

3 報告書の見方

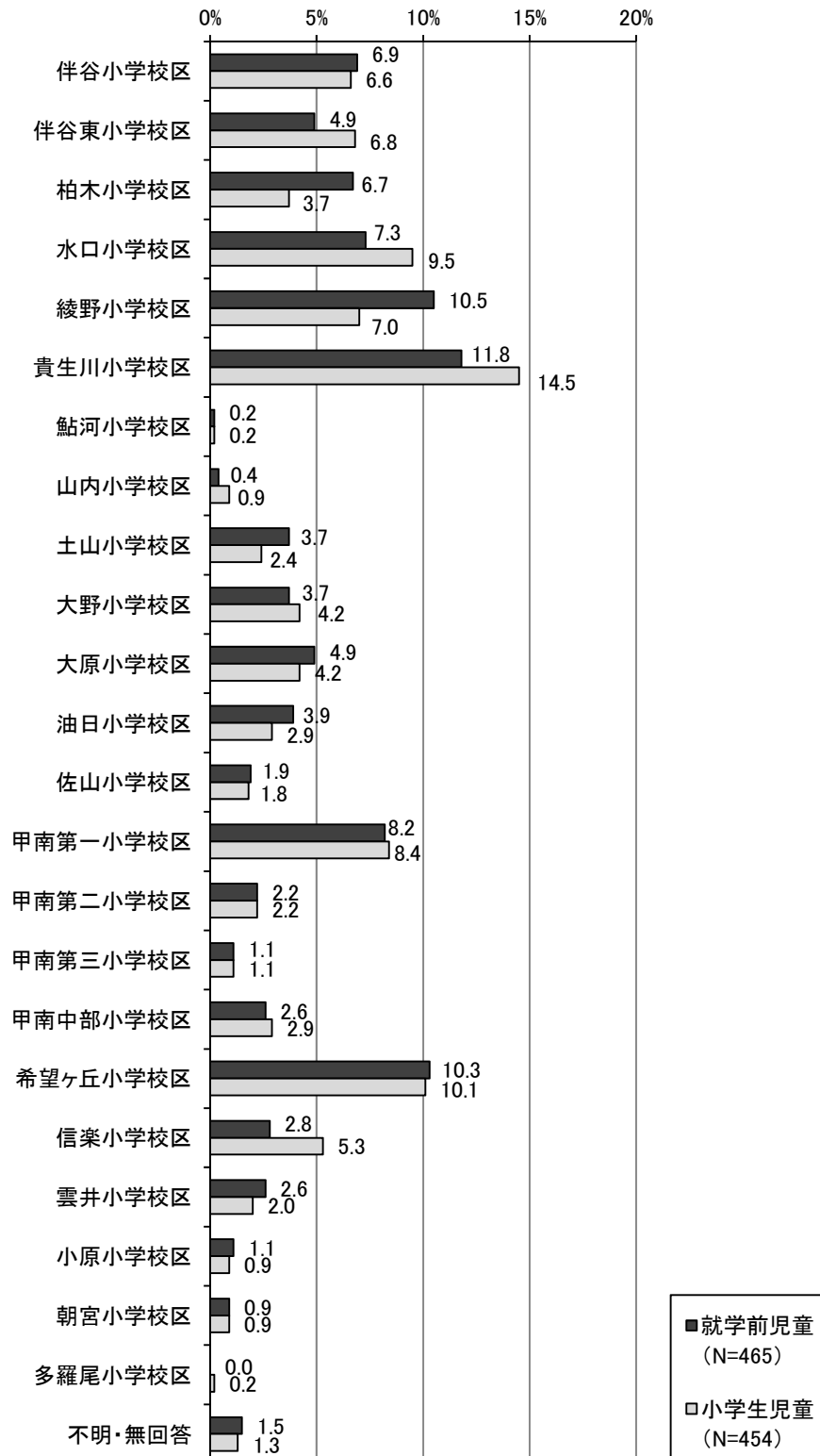
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

Ⅱ．調査結果（就学前児童調査・小学生児童調査）

1 お住まいの地域、居住年数について

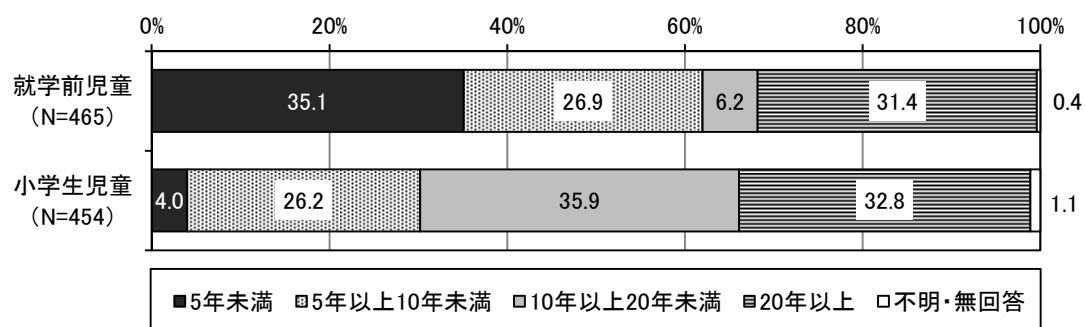
(1) 居住学区〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問1〕

居住地小学校区についてみると、就学前児童・小学生児童ともに「貴生川小学校区」がそれぞれ11.8%、14.5%と最も高くなっています。



（２）居住年数〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問2〕

居住年数についてみると、就学前児童で「5 年未満」が 35.1%、小学生児童で「10 年以上 20 年未満」が 35.9%と最も高く、次いで、就学前児童・小学生児童ともに「20 年以上」がそれぞれ 31.4%、32.8%となっています。



2 お子さんご家族の状況について

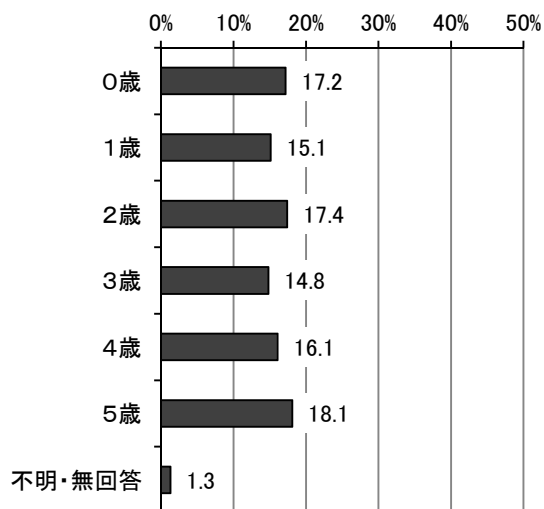
(1) 対象の子どもの年齢と学年（平成 25 年 4 月 1 日現在）〈数量回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問3〕

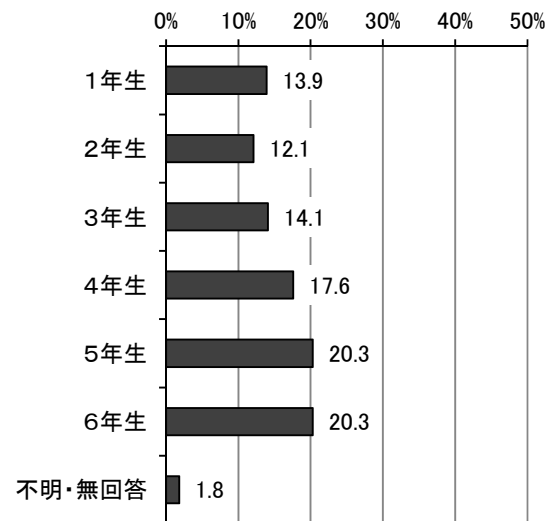
就学前児童の年齢についてみると、「5歳」が18.1%と最も高く、次いで、「2歳」が17.4%、「0歳」が17.2%となっています。

小学生児童の学年についてみると、「5年生」、「6年生」が同率で20.3%と最も高く、次いで「4年生」が17.6%となっています。

就学前児童(N=465)



小学生児童(N=454)

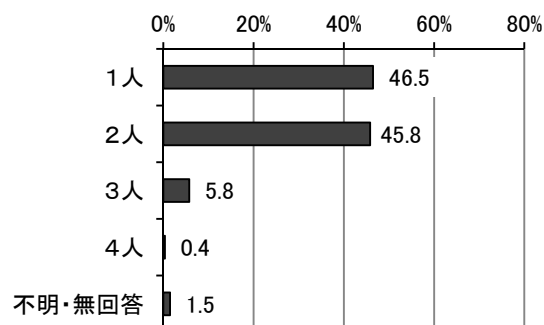


（２）きょうだいの人数〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問4〕

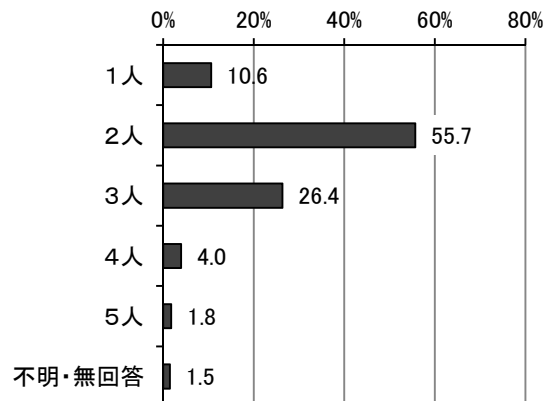
きょうだいの人数についてみると、就学前児童で「１人」が46.5%、小学生児童で「２人」が55.7%と最も高く、次いで、就学前児童で「２人」が45.8%、小学生児童で「３人」が26.4%となっています。

きょうだいが２人以上いる場合の末子の年齢についてみると、就学前児童では「０歳」が31.0%、小学生児童で「５歳」が12.5%と最も高く、次いで、就学前児童で「１歳」が18.2%、小学生児童で「６歳」が11.0%となっています。

就学前児童 (N=465)

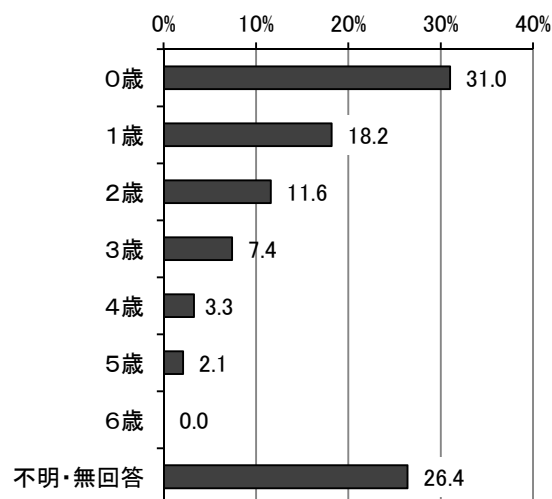


小学生児童 (N=454)

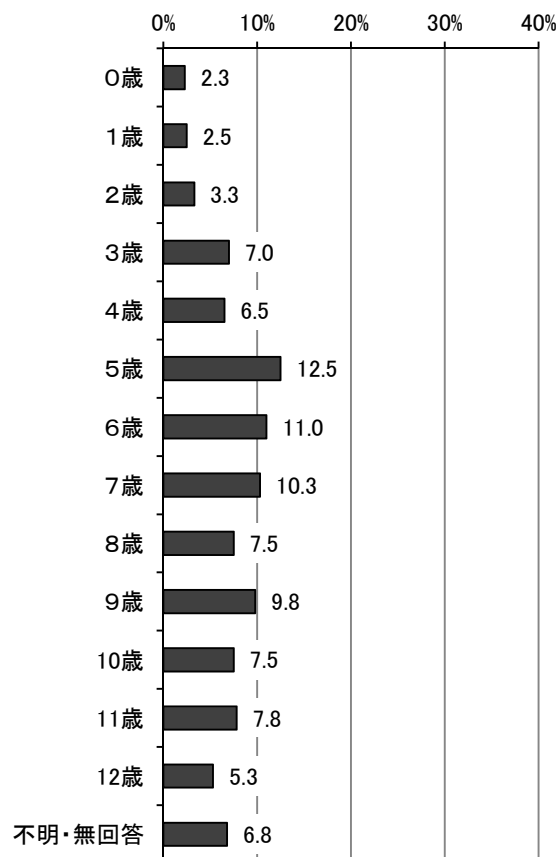


◎きょうだいが２人以上いる場合の末子の年齢（平成 25 年 4 月 1 日現在）〈数量回答〉

就学前児童 (N=242)

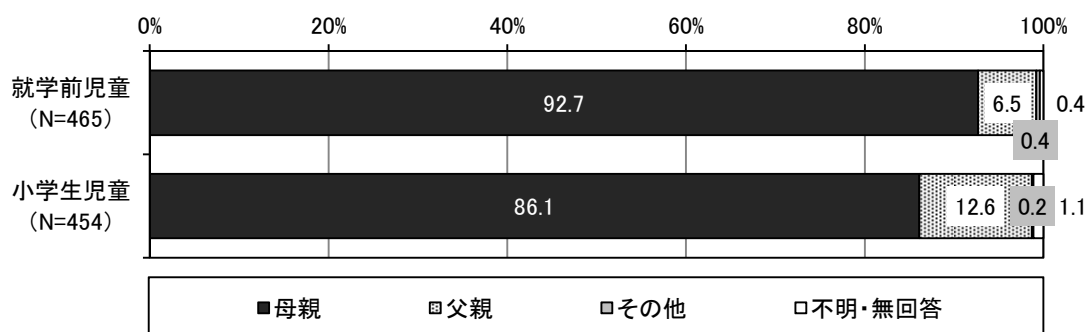


小学生児童 (N=399)



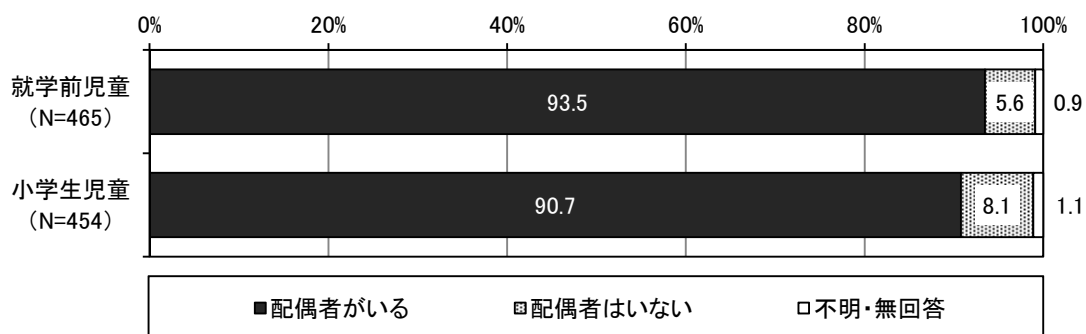
（３）調査票の回答者〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問5〕

回答者についてみると、就学前児童・小学生児童ともに「母親」がそれぞれ 92.7%、86.1%と最も高く、次いで、「父親」がそれぞれ 6.5%、12.6%となっています。



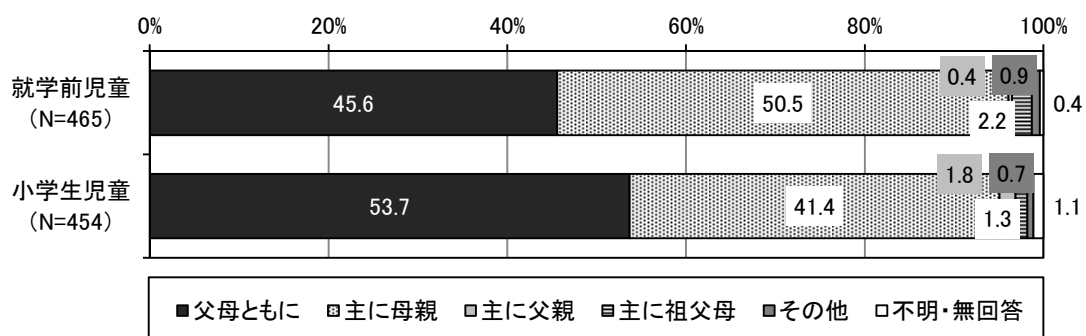
（４）調査票の回答者の配偶関係の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問6〕

回答者の配偶関係の有無についてみると、就学前児童・小学生児童で「配偶者がいる」がそれぞれ 93.5%、90.7%、「配偶者はいない」がそれぞれ 5.6%、8.1%となっています。



（５）子育てを主に行っている方〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問7〕

子育てを主に行っている方についてみると、就学前児童で「主に母親」が 50.5%、小学生児童で「父母ともに」が 53.7%と最も高く、次いで、就学前児童で「父母ともに」が 45.6%、小学生児童で「主に母親」が 41.4%となっています。

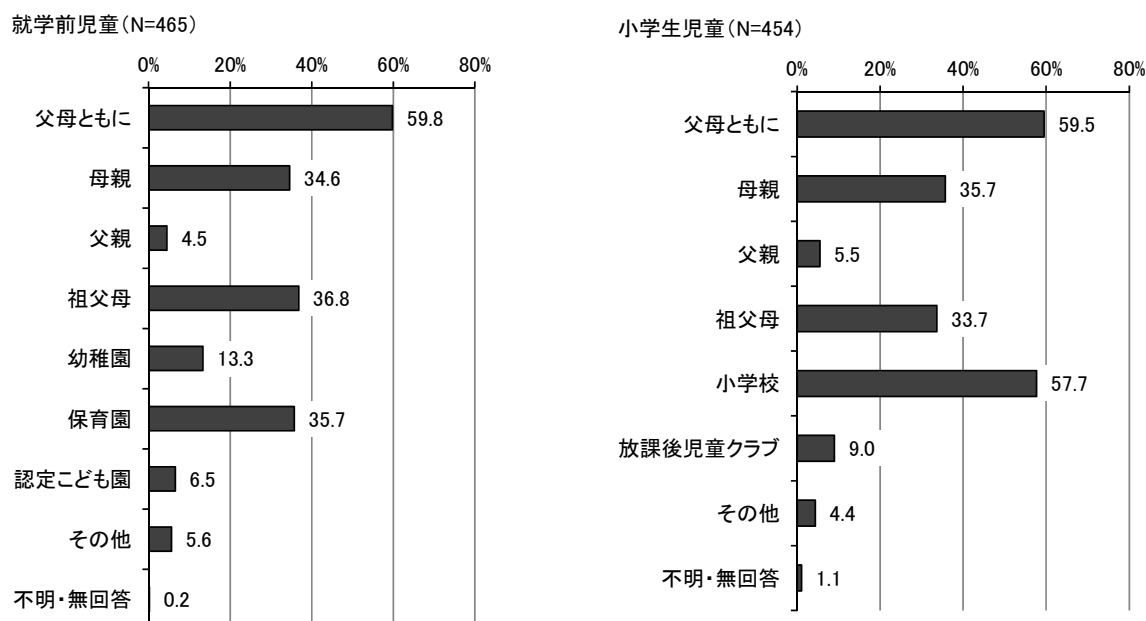


3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている方(施設)〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問8〕

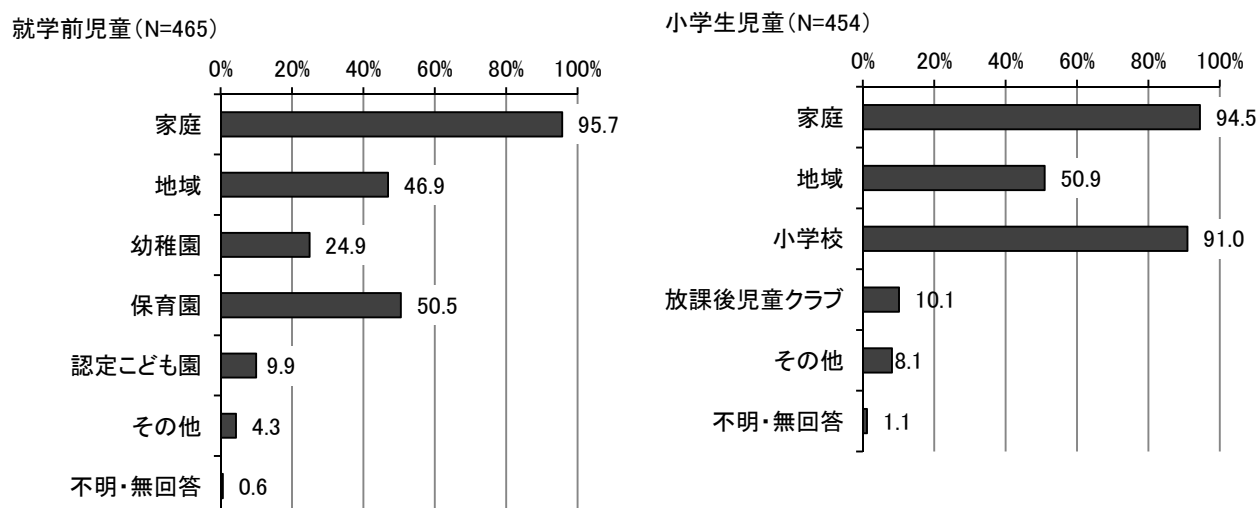
子育てに日常的に関わっている方(施設)についてみると、就学前児童・小学生児童で「父母ともに」がそれぞれ59.8%、59.5%と最も高く、次いで、就学前児童で「祖父母」が36.8%、小学生児童で「小学校」が57.7%となっています。



(2) 子育てや教育に影響すると思われる環境〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問9〕

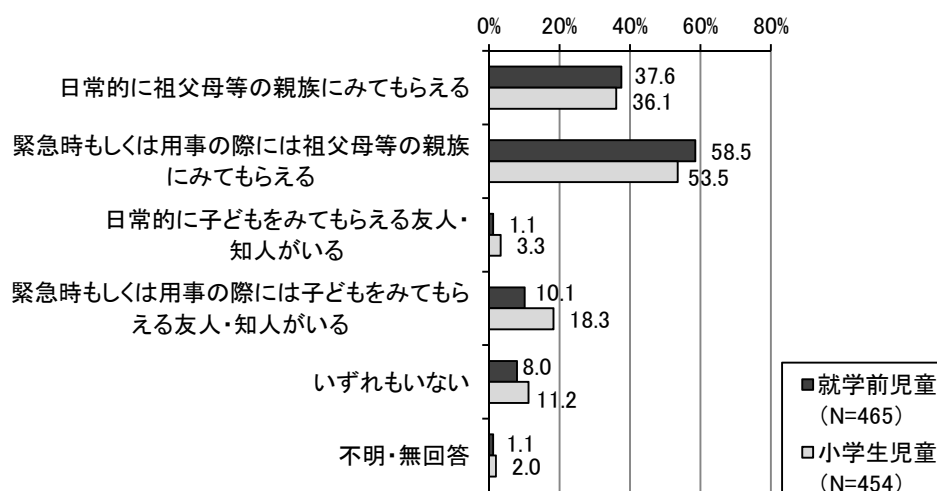
子育てや教育に影響すると思われる環境についてみると、就学前児童・小学生児童ともに「家庭」がそれぞれ95.7%、94.5%と最も高く、次いで、就学前児童で「保育園」が50.5%、小学生児童で「小学校」が91.0%となっています。



（３）お子さんをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 10〕

お子さんをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、就学前児童・小学生児童ともに「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」がそれぞれ 58.5%、53.5%と最も高く、次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」がそれぞれ 37.6%、36.1%となっています。

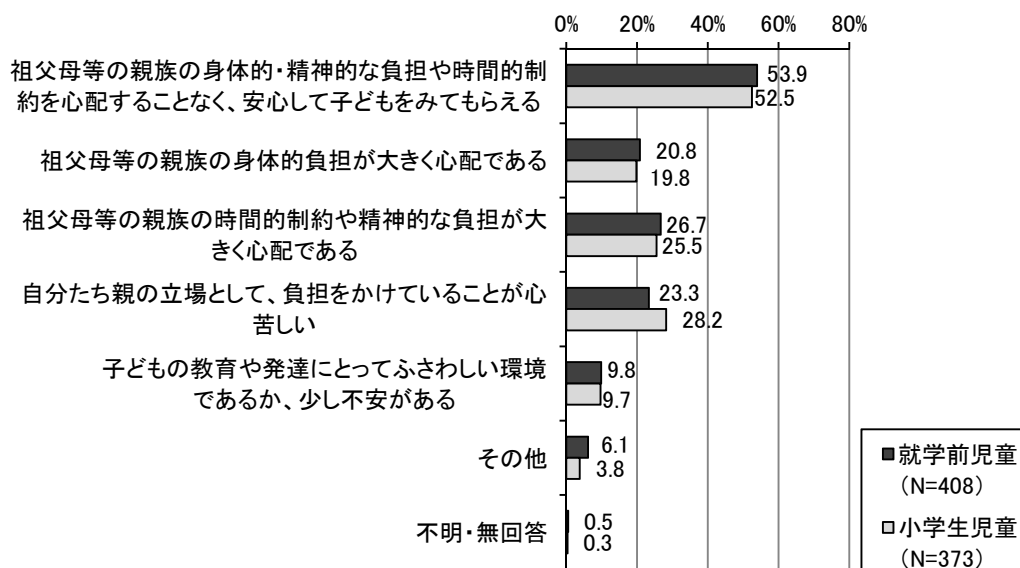


（３）で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方

（３）－１ 祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 10-1〕

祖父母等の親族にみてもらっている状況についてみると、就学前児童・小学生児童ともに「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」がそれぞれ 53.9%、52.5%と最も高く、次いで、就学前児童で「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 26.7%、小学生児童で「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 28.2%となっています。

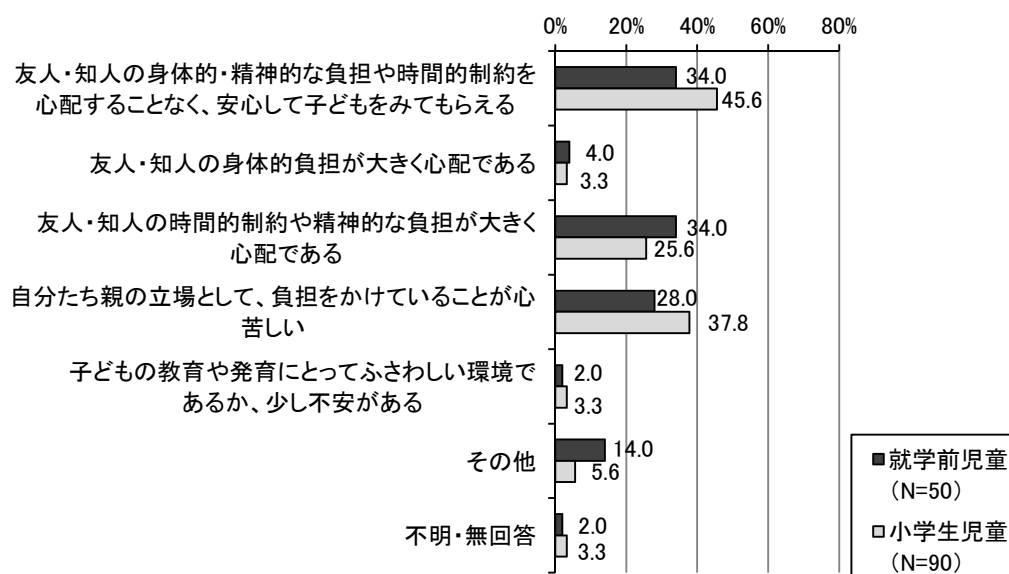


（３）で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方

（３）－２ 友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉

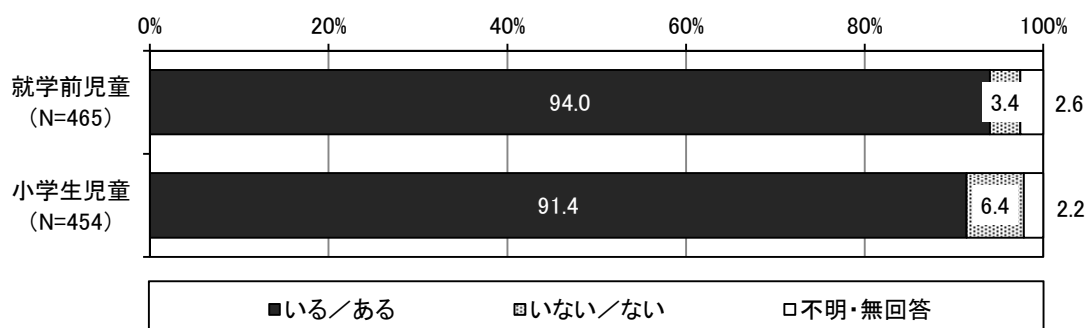
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 10-2〕

友人・知人にみてもらっている状況についてみると、就学前児童で「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が同率で 34.0%、小学生児童で「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 45.6%と最も高く、次いで、就学前児童・小学生児童ともに「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がそれぞれ 28.0%、37.8%となっています。



（４）気軽に相談できる人の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 11〕

気軽に相談できる人の有無についてみると、就学前児童・小学生児童ともに「いる／ある」がそれぞれ 94.0%、91.4%、「いない／ない」がそれぞれ 3.4%、6.4%となっています。



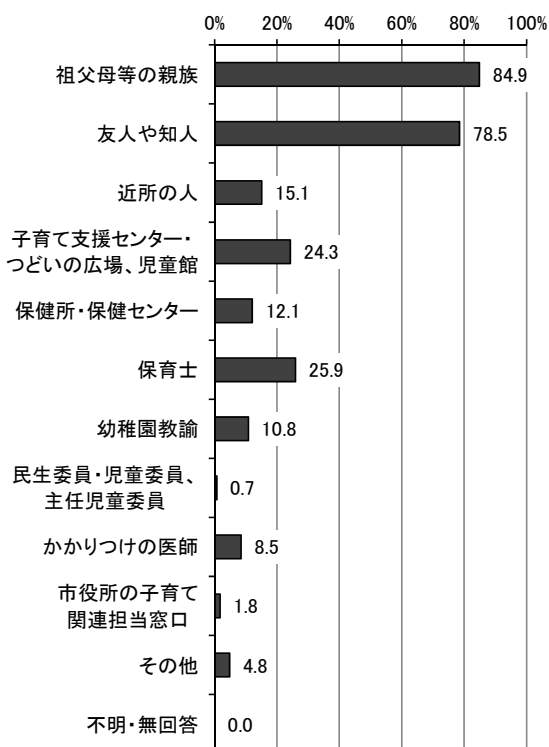
(4)で「いる／ある」を選んだ方

(4)－1 子育てをする上での相談相手や相談先〈複数回答〉

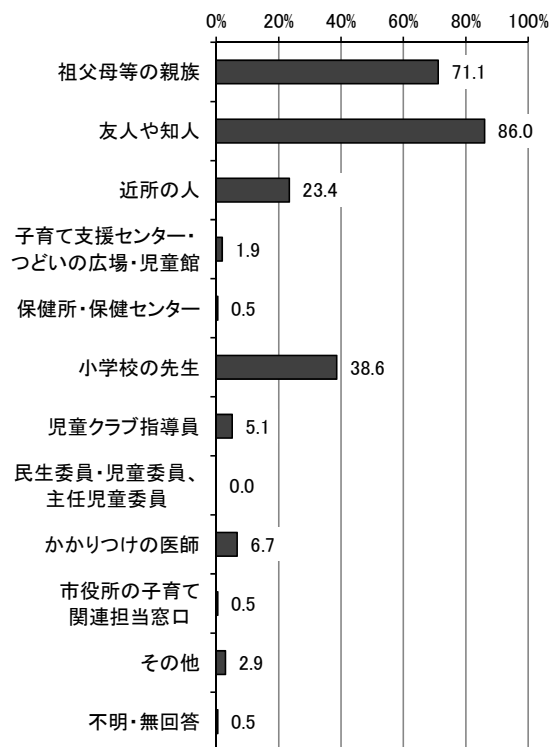
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 11-1〕

子育てをする上での相談先についてみると、就学前児童で「祖父母等の親族」が84.9%、小学生児童で「友人や知人」が86.0%と最も高く、次いで、就学前児童で「友人や知人」が78.5%、小学生児童で「祖父母等の親族」が71.1%となっています。

就学前児童(N=437)



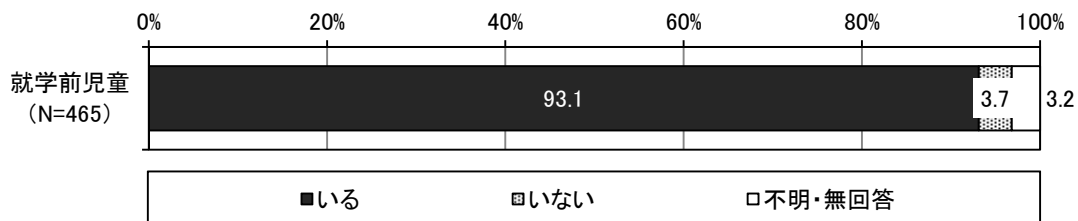
小学生児童(N=415)



（５）妊娠中および出産後、困った時に相談できる人の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 12〕

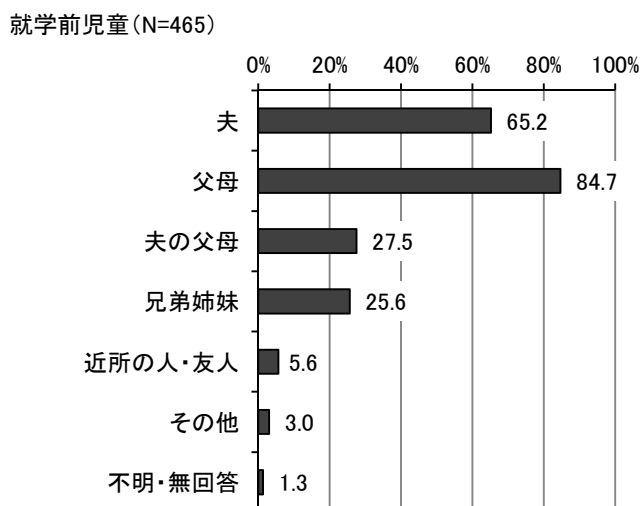
妊娠中および出産後、困った時に相談できる人の有無についてみると、「いる」が 93.1%、「いない」が 3.7%となっています。



（６）出産後 1 ヶ月の間に身近な人から支援は受けましたか〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 13〕

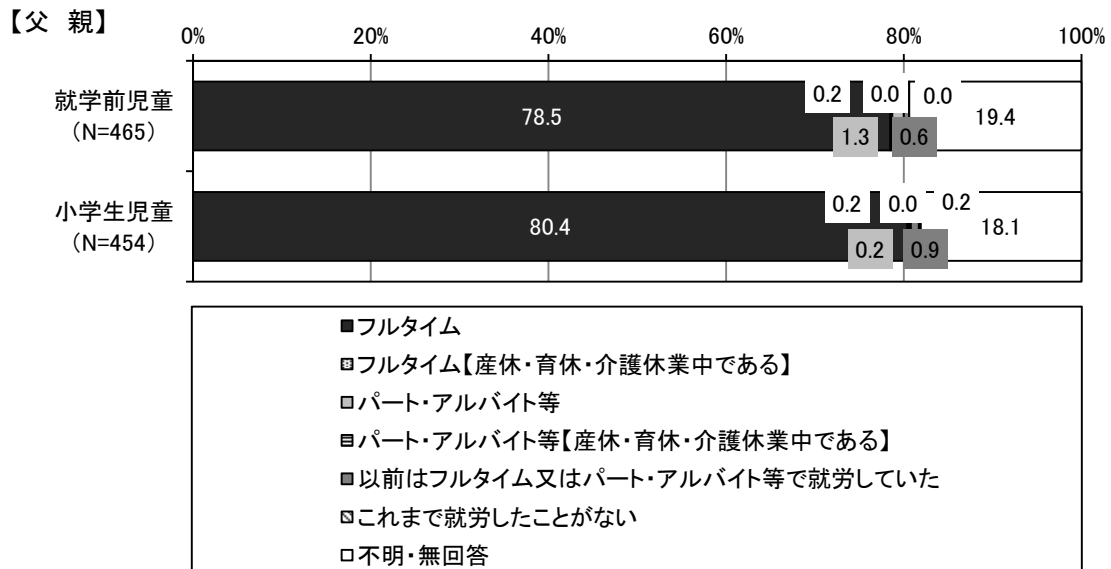
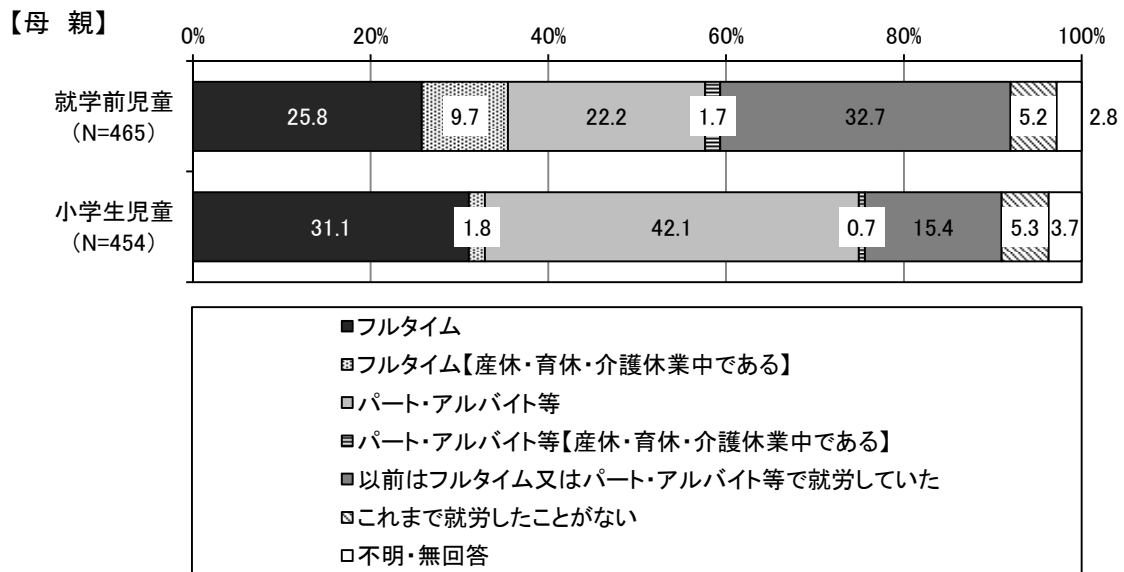
出産後 1 ヶ月の間に身近な人から支援は受けましたかについてみると、「父母」が 84.7%と最も高く、次いで、「夫」が 65.2%、「夫の父母」が 27.5%となっています。



4 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 15(1)(2)・小学生児童調査…問 13(1)(2)〕

保護者の就労状況についてみると、母親では、就学前児童で「以前はフルタイム又はパート・アルバイト等で就労していた」が 32.7%、小学生児童で「パート・アルバイト等」が 42.1%、父親では、就学前児童・小学生児童ともに「フルタイム」がそれぞれ 78.5%、80.4%と最も高くなっています。



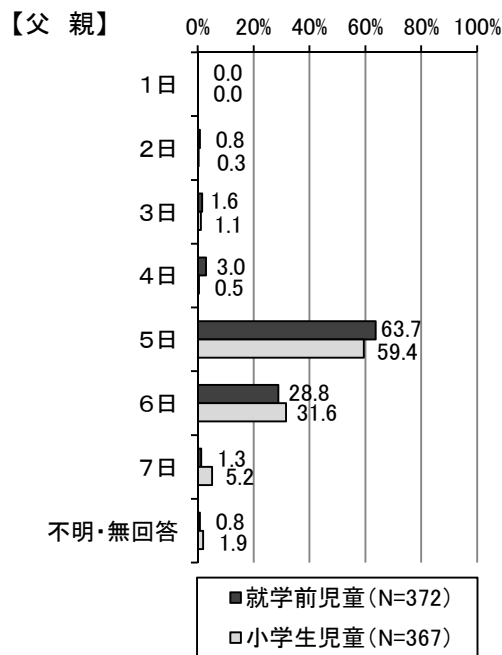
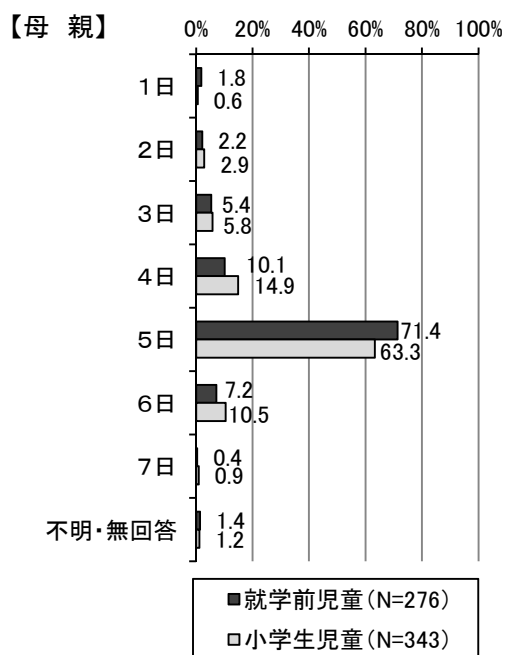
* 「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労
「パート・アルバイト等」：フルタイム以外の就労

●就労している保護者の状況

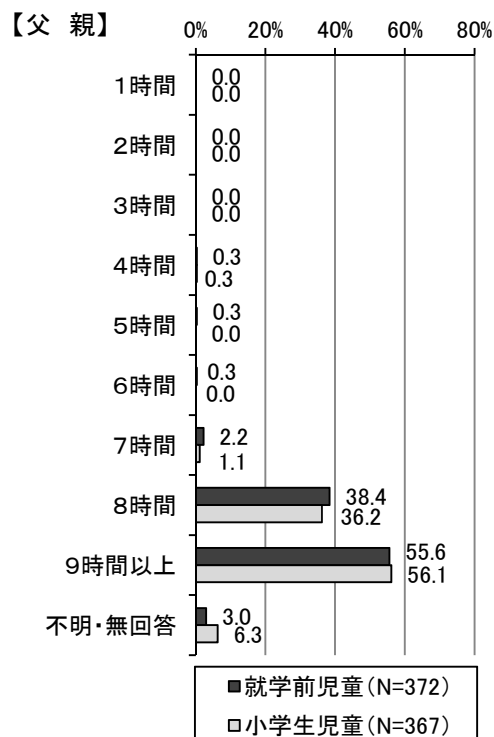
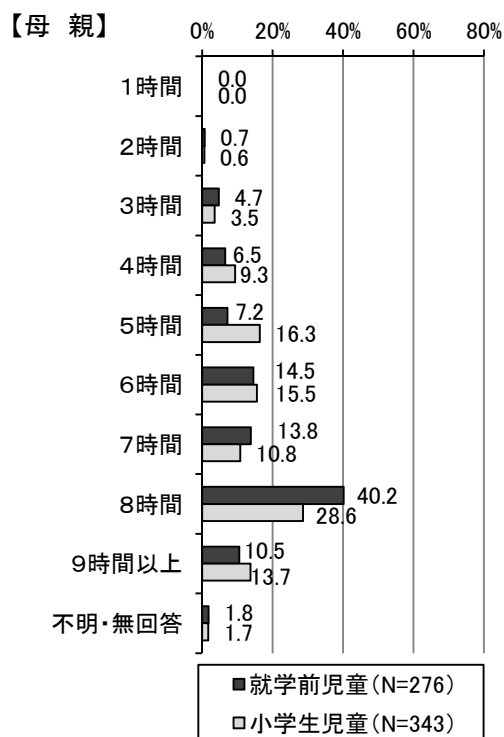
就労している保護者の状況についてみると、1週当たりの就労日数では、就学前児童・小学生児童の母親、父親ともに「5日」の割合が最も高くなっています。

1日当たりの就労時間では、就学前児童・小学生児童ともに母親で「8時間」、父親で「9時間以上」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

① 1週当たりの就労日数〈数量回答〉



② 1日当たりの就労時間〈数量回答〉



出発時間では、就学前児童・小学生児童の母親、父親ともに「7～8時台」の割合が最も高くなっています。

帰宅時間では、就学前児童・小学生児童ともに母親では「17～18時台」、父親では「19～20時台」の割合が最も高くなっています。

③出発時間〈数量回答〉

【母 親】 出発時間	就学前児童 (N=276)		小学生児童 (N=343)	
	件数	%	件数	%
1～2時台	0	0.0	0	0.0
3～4時台	0	0.0	1	0.3
5～6時台	5	1.8	1	0.3
7～8時台	217	78.6	261	76.1
9～10時台	30	10.9	56	16.3
11～12時台	7	2.5	6	1.7
13～14時台	0	0.0	1	0.3
15～16時台	2	0.7	4	1.2
17～18時台	0	0.0	2	0.6
19～20時台	0	0.0	0	0.0
21～22時台	2	0.7	0	0.0
23～24時台	0	0.0	1	0.3
不明・無回答	13	4.7	10	2.9

【父 親】 出発時間	就学前児童 (N=372)		小学生児童 (N=367)	
	件数	%	件数	%
1～2時台	0	0.0	1	0.3
3～4時台	2	0.5	4	1.1
5～6時台	59	15.9	68	18.5
7～8時台	275	73.9	259	70.6
9～10時台	13	3.5	9	2.5
11～12時台	4	1.1	0	0.0
13～14時台	1	0.3	1	0.3
15～16時台	0	0.0	0	0.0
17～18時台	2	0.5	0	0.0
19～20時台	0	0.0	0	0.0
21～22時台	1	0.3	2	0.5
23～24時台	0	0.0	1	0.3
不明・無回答	15	4.0	22	6.0

④帰宅時間〈数量回答〉

【母 親】 帰宅時間	就学前児童 (N=276)		小学生児童 (N=343)	
	件数	%	件数	%
1～2時台	2	0.7	0	0.0
3～4時台	0	0.0	0	0.0
5～6時台	0	0.0	1	0.3
7～8時台	0	0.0	1	0.3
9～10時台	0	0.0	2	0.6
11～12時台	6	2.2	4	1.2
13～14時台	11	4.0	49	14.3
15～16時台	49	17.8	81	23.6
17～18時台	154	55.8	150	43.7
19～20時台	31	11.2	34	9.9
21～22時台	6	2.2	7	2.0
23～24時台	1	0.4	3	0.9
不明・無回答	16	5.8	11	3.2

【父 親】 帰宅時間	就学前児童 (N=372)		小学生児童 (N=367)	
	件数	%	件数	%
1～2時台	2	0.5	3	0.8
3～4時台	2	0.5	1	0.3
5～6時台	0	0.0	1	0.3
7～8時台	0	0.0	3	0.8
9～10時台	8	2.2	6	1.6
11～12時台	1	0.3	1	0.3
13～14時台	1	0.3	1	0.3
15～16時台	5	1.3	3	0.8
17～18時台	96	25.8	79	21.5
19～20時台	133	35.8	142	38.7
21～22時台	90	24.2	84	22.9
23～24時台	15	4.0	17	4.6
不明・無回答	19	5.1	26	7.1

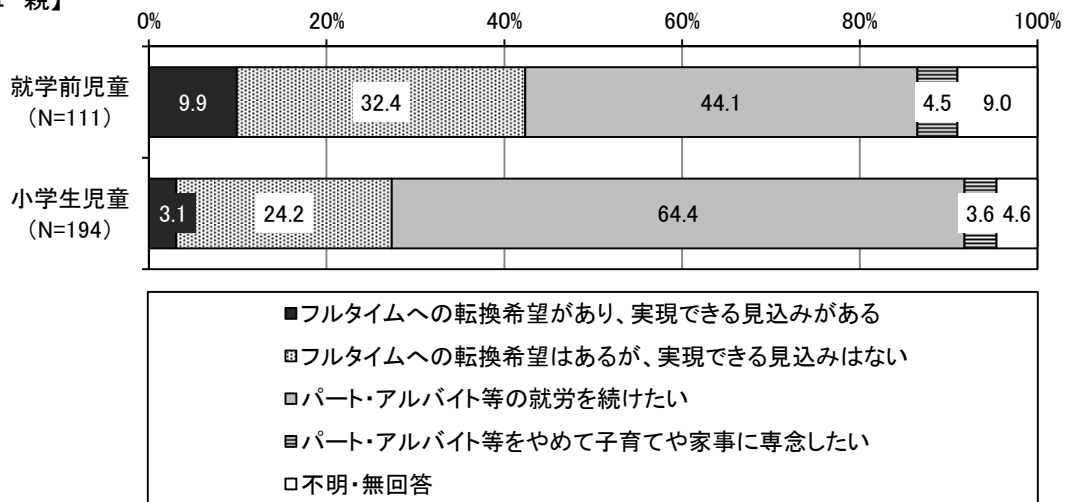
（１）で「パート・アルバイト等」または「パート・アルバイト等【産休・育休・介護休業中である】」を選んだ方

（２）パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

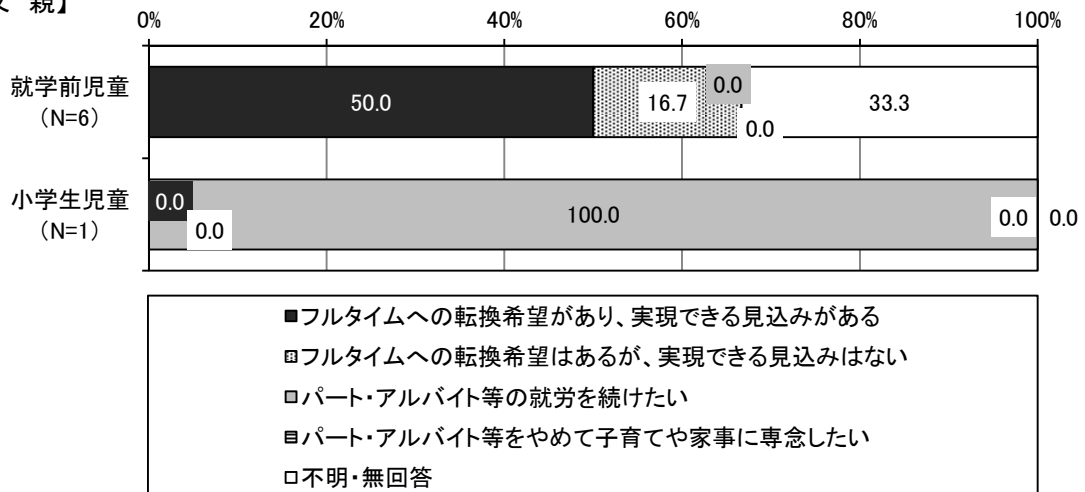
〔就学前児童調査…問 16・小学生児童調査…問 14〕

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、母親では、就学前児童・小学生児童ともに「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が、それぞれ 44.1%、で 64.4%、父親では、就学前児童で「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 50.0%、小学生児童で「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 100.0%と高くなっています。

【母 親】



【父 親】

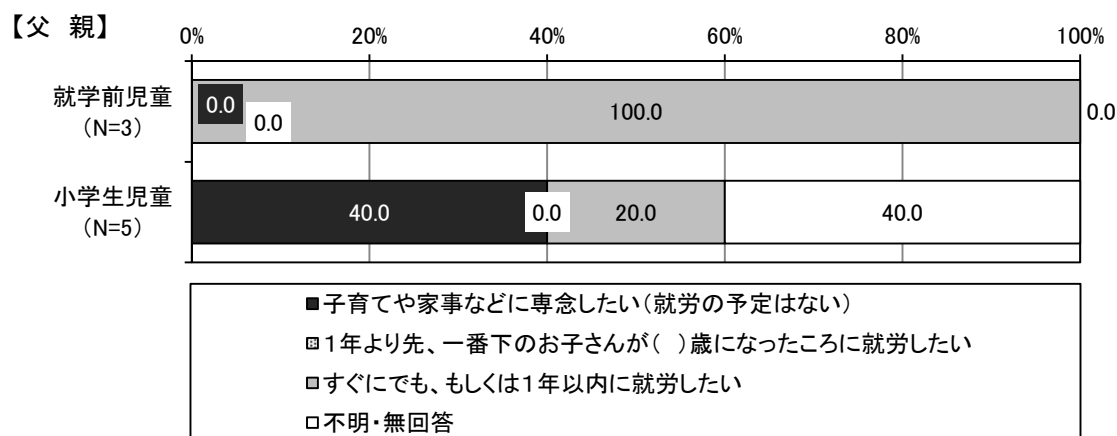
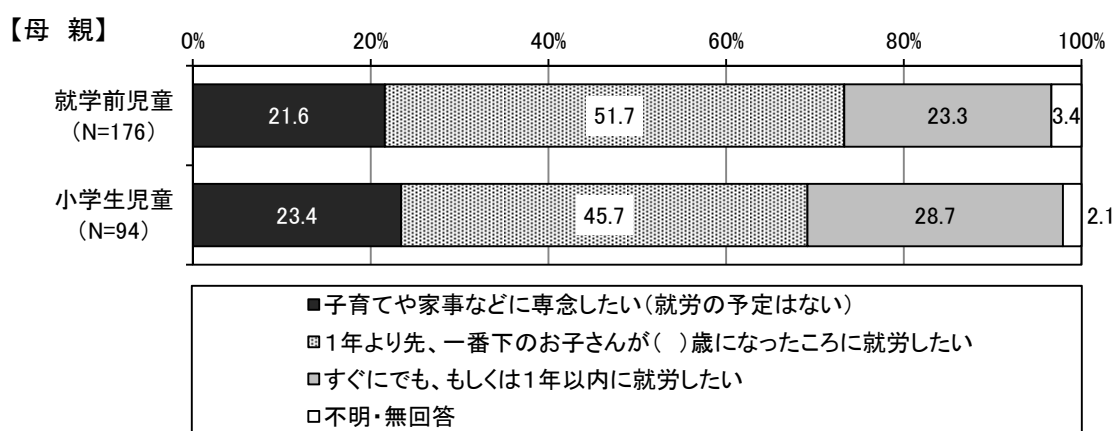


（１）で「以前はフルタイム又はパート・アルバイト等で就労していた」または「これまで就労したことがない」を選んだ方

（３）就労希望〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 17(1)(2)・小学生児童調査…問 15(1)(2)〕

就労希望についてみると、母親では就学前児童・小学生児童ともに「１年より先、一番下のお子さんが（ ）歳になったところに就労したい」が、それぞれ51.7%、45.7%、父親では、就学前児童で「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」が 100.0%、小学生児童で「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 40.0%と最も高くなっています。

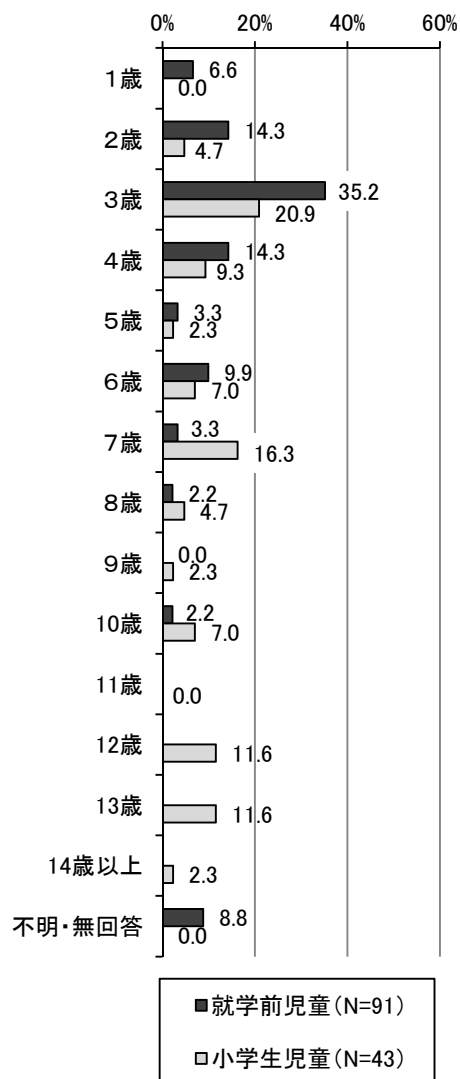
また、一番下の子どもが（ ）歳になれば就労したいかでは、母親では、就学前児童・小学生児童ともに「３歳」の割合が最も高くなっています。父親では就学前児童・小学生児童ともに「回答はなし」となっています。



①一番下の子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉

《「1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になったころに就労したい」を選んだ方》

【母 親】



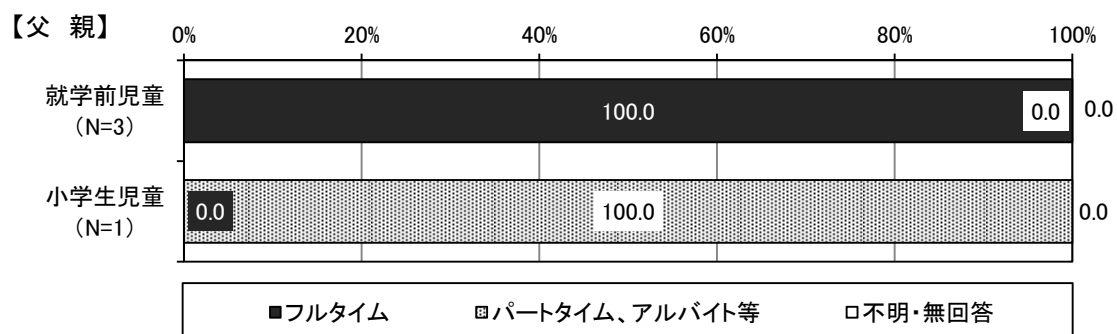
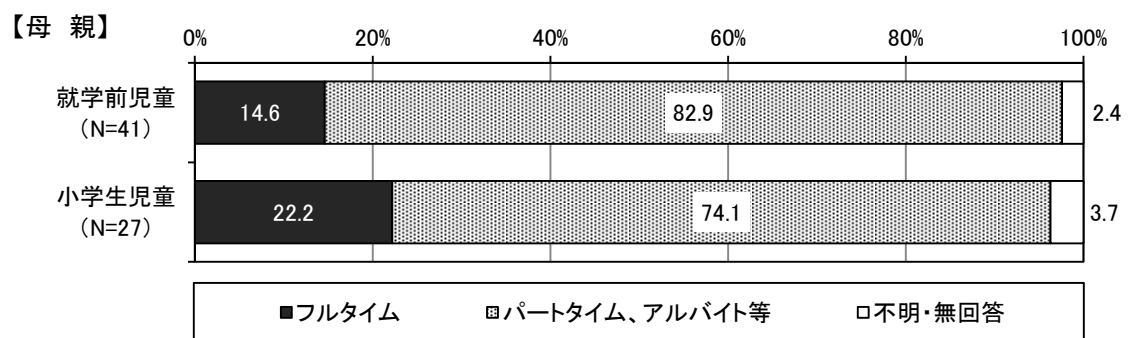
*就学前児童、小学生児童の父親は回答者なし

『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』方の希望する就労形態については、母親では、就学前児童・小学生児童で「パートタイム、アルバイト等」がそれぞれ82.9%、74.1%、父親では、就学前児童で「フルタイム」が100.0%、小学生児童で「パートタイム、アルバイト等」が100.0%と最も高くなっています。

また、パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）を選んだ方の希望する1週当たりの就労日数については、母親では就学前児童・小学生児童ともに「3日」、父親では小学生児童で「4日」の割合がそれぞれ最も高くなっています。また、父親の就学前児童では「回答はなし」となっています。

希望する1日当たりの就労時間では、母親では就学前児童・小学生児童ともに「4時間」、父親では小学生児童で「8時間以上」の割合がそれぞれ最も高くなっています。また、父親の就学前児童では「回答はなし」となっています。

②希望する就労形態〈単数回答〉《「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方》

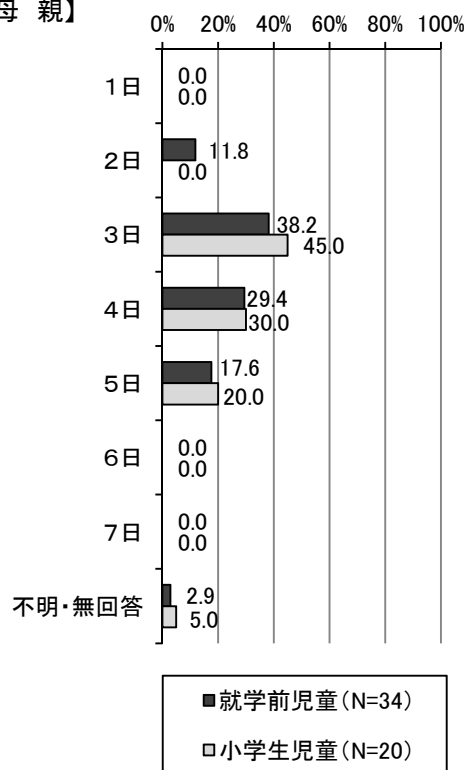


③パートタイム、アルバイト等で希望する就労形態〈数量回答〉

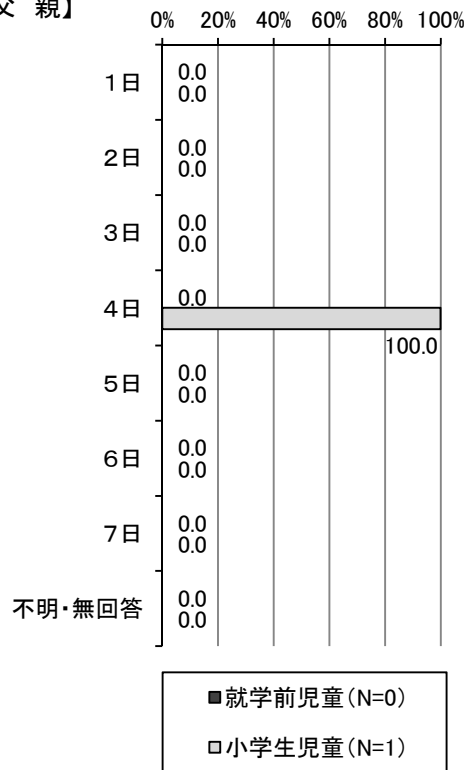
《②で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」を選んだ方》

■希望する1週当たりの就労日数

【母親】

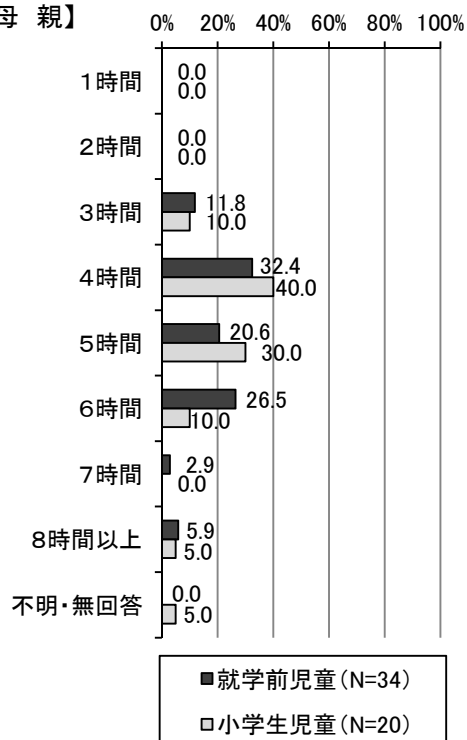


【父親】

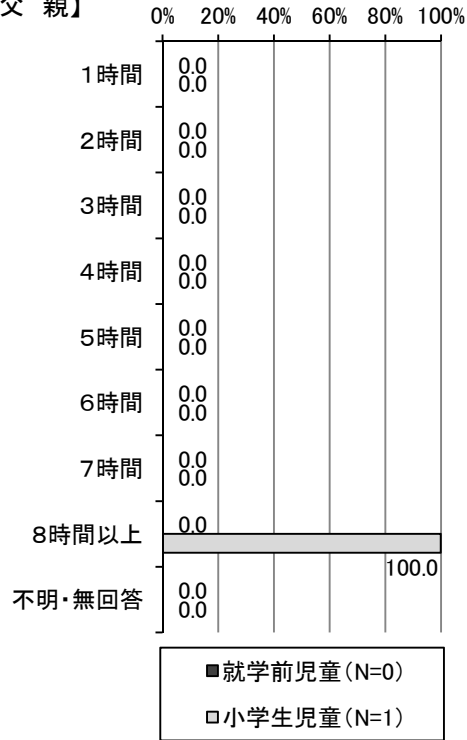


■希望する1日当たりの就労時間

【母親】



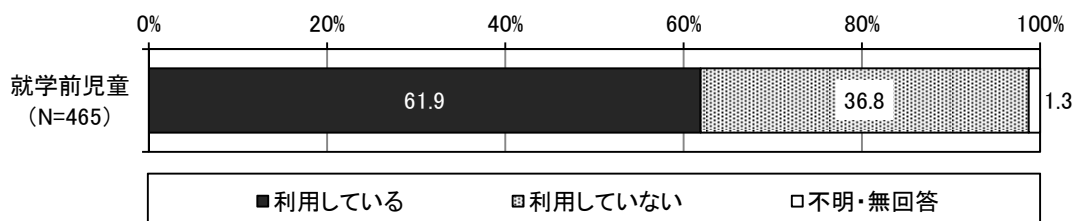
【父親】



5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

（１）現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 18〕

現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が 61.9%、「利用していない」が 36.8%となっています。

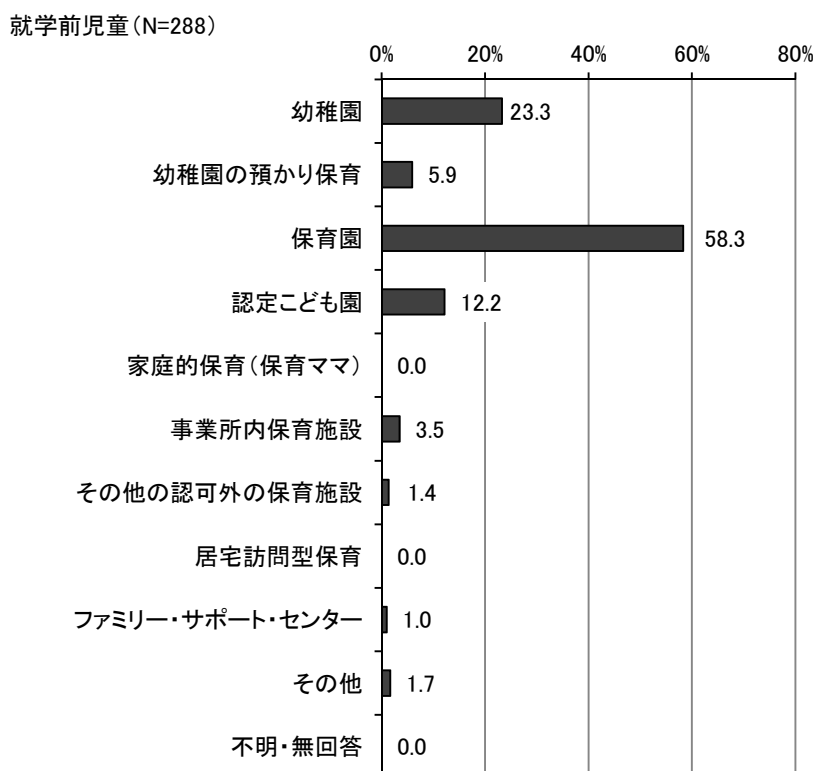


*ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指す。
具体的には、幼稚園や保育所など、（１）－１に示す事業が含まれる

（１）で「利用している」を選んだ方

（１）－１ 平日に利用している教育・保育事業〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 18－１〕

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「保育園」が 58.3%と最も高く、次いで「幼稚園」が 23.3%、「認定こども園」が 12.2%となっています。



年齢別 × 平日、利用している事業

年齢別でみると、全ての年齢で「保育園」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	保育園	認定こども園	家庭的保育 (保育ママ)	事業所内 保育施設
0 歳	17 100.0	- -	- -	10 58.8	2 11.8	- -	3 17.6
1 歳	15 100.0	1 6.7	1 6.7	12 80.0	1 6.7	- -	2 13.3
2 歳	34 100.0	- -	- -	20 58.8	3 8.8	- -	4 11.8
3 歳	59 100.0	17 28.8	4 6.8	30 50.8	12 20.3	- -	- -
4 歳	73 100.0	22 30.1	5 6.8	42 57.5	9 12.3	- -	- -
5 歳	84 100.0	26 31.0	7 8.3	49 58.3	8 9.5	- -	1 1.2

上段:度数 下段:%	合計	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問型 保育	ファミリー・ サポート・ センター	その他	不明・無回答
0 歳	17 100.0	- -	- -	1 5.9	1 5.9	- -
1 歳	15 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
2 歳	34 100.0	3 8.8	- -	- -	4 11.8	- -
3 歳	59 100.0	1 1.7	- -	- -	- -	- -
4 歳	73 100.0	- -	- -	1 1.4	- -	- -
5 歳	84 100.0	- -	- -	1 1.2	- -	- -

区域別 × 平日、利用している事業

区域別でみると、全ての区域で「保育園」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	保育園	認定こども園	家庭的保育 (保育ママ)	事業所内 保育施設
水口区域	149 100.0	38 25.5	4 2.7	74 49.7	27 18.1	- -	3 2.0
土山区域	20 100.0	2 10.0	1 5.0	16 80.0	3 15.0	- -	- -
甲賀区域	29 100.0	5 17.2	- -	20 69.0	2 6.9	- -	2 6.9
甲南区域	70 100.0	17 24.3	11 15.7	45 64.3	- -	- -	5 7.1
信楽区域	17 100.0	5 29.4	1 5.9	10 58.8	3 17.6	- -	- -

上段:度数 下段:%	合計	その他の 認可外の 保育施設	居宅訪問型 保育	ファミリー・ サポート・ センター	その他	不明・無回答
水口区域	149 100.0	4 2.7	- -	1 0.7	2 1.3	- -
土山区域	20 100.0	- -	- -	1 5.0	- -	- -
甲賀区域	29 100.0	- -	- -	- -	1 3.4	- -
甲南区域	70 100.0	- -	- -	1 1.4	2 2.9	- -
信楽区域	17 100.0	- -	- -	- -	- -	- -

(1)で「利用している」を選んだ方

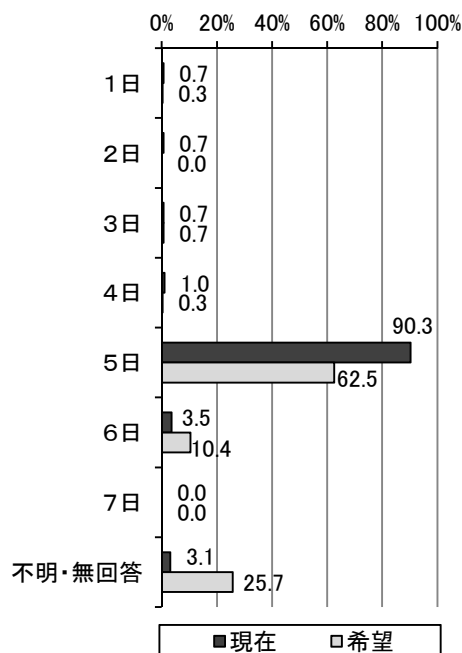
(1)－2 平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望

〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 18－2(1)(2)〕

平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望についてみると、1週あたりの利用日数では、現在、希望ともに「5日」が、それぞれ90.3%、62.5%と最も高くなっています。また、1日あたりの利用時間では、現在で「7時間」が20.5%、希望で「8時間」が14.9%と最も高くなっています。

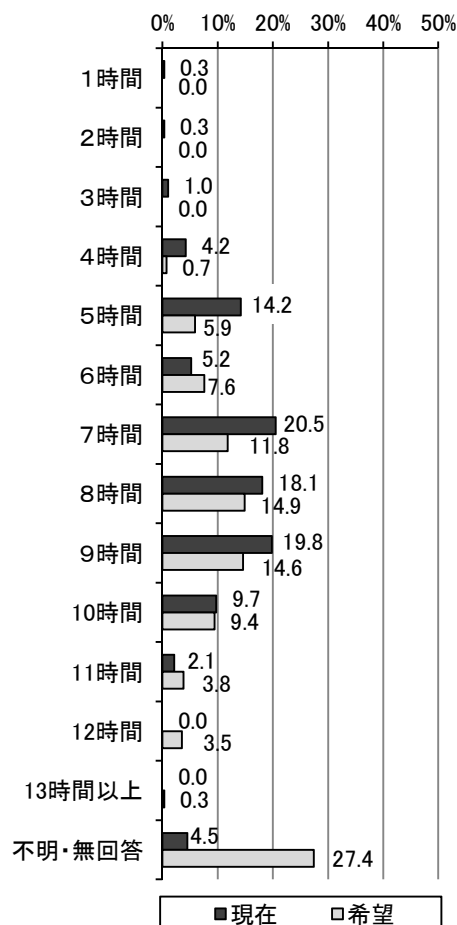
① 1週あたりの利用日数〈数量回答〉

就学前児童(N=288)



② 1日当たりの利用時間〈数量回答〉

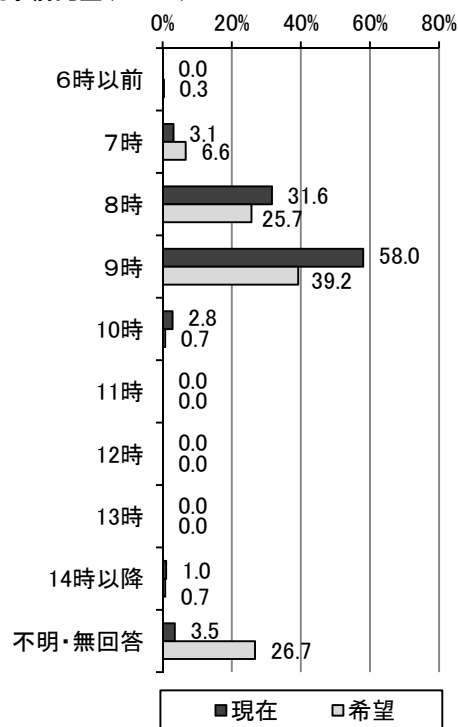
就学前児童(N=288)



利用開始時間では、現在、希望ともに「9時」がそれぞれ58.0%、39.2%と最も高くなっています。また、利用終了時間では、現在で「16時」が29.2%、希望で「17時」が17.7%と最も高くなっています。

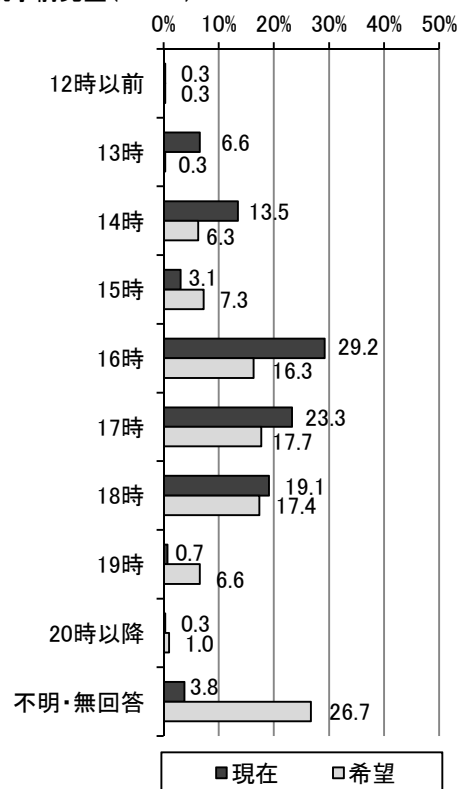
③利用開始時間〈数量回答〉

就学前児童(N=288)



④利用終了時間〈数量回答〉

就学前児童(N=288)

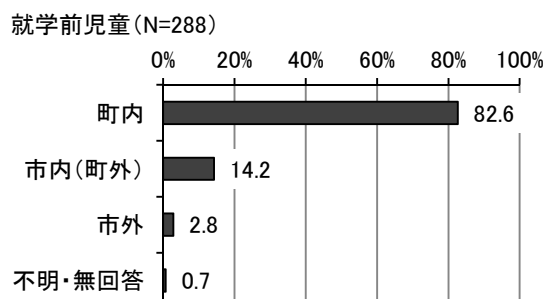


(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 18－3〕

現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「町内」が82.6%と最も高く、次いで「市内（町外）」が14.2%となっています。

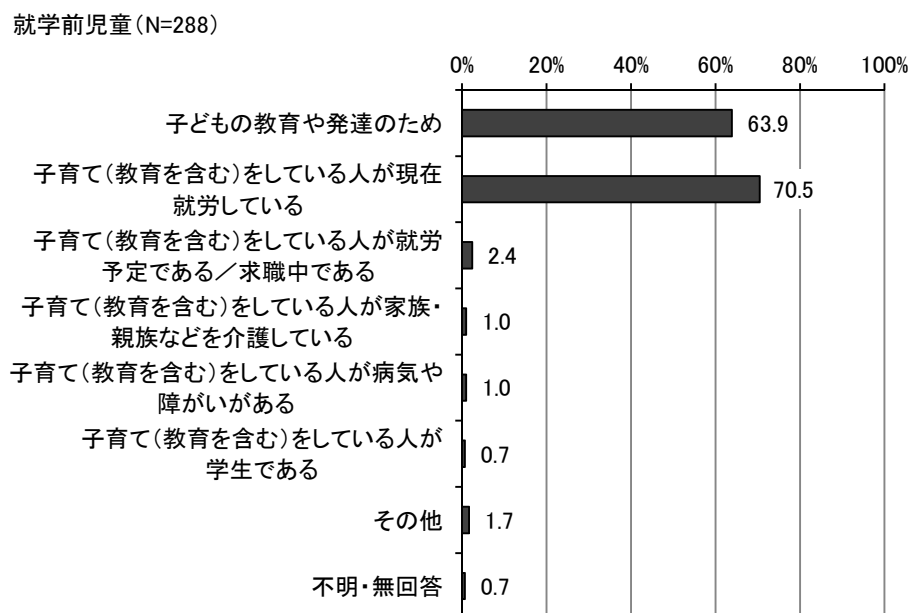


(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 18－4〕

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてみると、「子育て（教育を含む）をしている人が現在就労している」が70.5%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が63.9%となっています。



平日、利用している事業別 × 利用されている理由

平日、利用している事業別でみると、[幼稚園]、[幼稚園の預かり保育]、[その他の認可外の保育施設]、[その他]で、「子どもの教育や発達のため」、その他の事業で「子育て（教育を含む）をしている人が現在就労している」が最も高くなっています。

上段：度数 下段：%	合計	子どもの教育や 発達のため	子育て（教育を含む）をしている人が 現在就労している	子育て（教育を含む）をしている人が 就労予定である／求職中である	子育て（教育を含む）をしている人が 家族・親族などを介護している
幼稚園	67 100.0	65 97.0	12 17.9	- -	- -
幼稚園の預かり保育	17 100.0	15 88.2	10 58.8	- -	- -
保育園	168 100.0	87 51.8	155 92.3	5 3	2 1.2
認定こども園	35 100.0	23 65.7	26 74.3	2 5.7	1 2.9
家庭的保育 （保育ママ）	- -	- -	- -	- -	- -
事業所内保育施設	10 100.0	2 20.0	9 90.0	1 10.0	- -
その他の認可外の 保育施設	4 100.0	3 75.0	1 25.0	- -	- -
居宅訪問型保育	- -	- -	- -	- -	- -
ファミリー・ サポート・センター	3 100.0	- -	3 100.0	- -	- -
その他	5 100.0	5 100.0	1 20.0	- -	- -

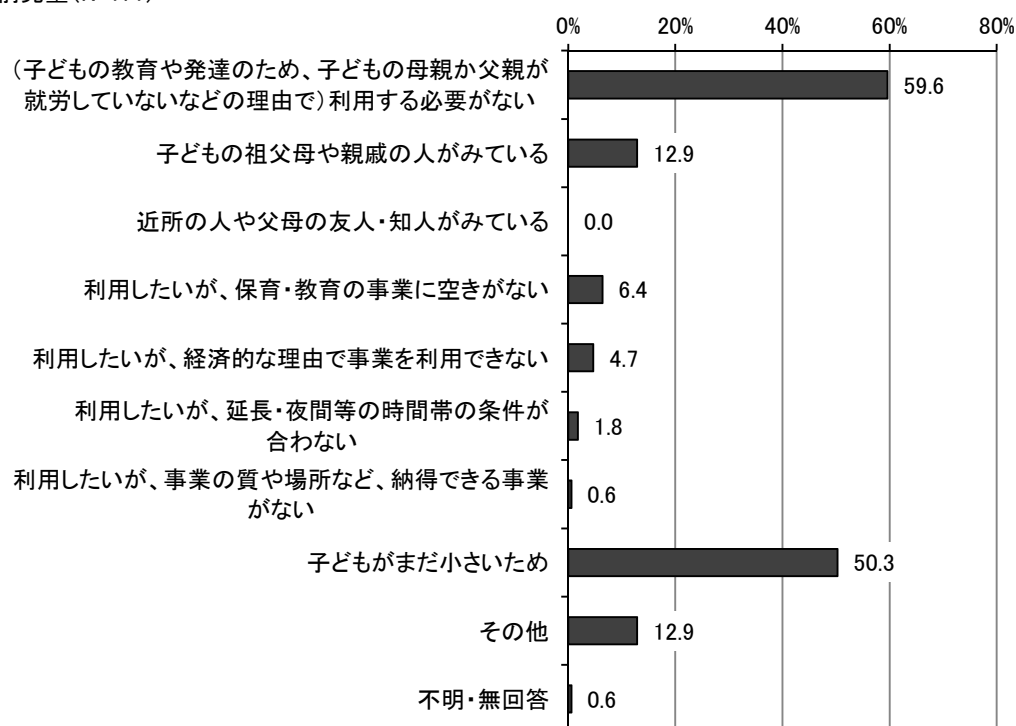
上段：度数 下段：%	合計	子育て（教育を含む）をしている人が 病気や障がいがある	子育て（教育を含む）をしている人が 学生である	その他	不明・無回答
幼稚園	67 100.0	- -	- -	- -	- -
幼稚園の預かり保育	17 100.0	- -	- -	- -	- -
保育園	168 100.0	3 1.8	1 0.6	1 0.6	2 1.2
認定こども園	35 100.0	- -	1 2.9	1 2.9	- -
家庭的保育 （保育ママ）	- -	- -	- -	- -	- -
事業所内保育施設	10 100.0	- -	- -	- -	- -
その他の認可外の 保育施設	4 100.0	- -	- -	1 25.0	- -
居宅訪問型保育	- -	- -	- -	- -	- -
ファミリー・ サポート・センター	3 100.0	- -	- -	- -	- -
その他	5 100.0	- -	- -	2 40.0	- -

（１）で「利用していない」を選んだ方

（１）－５ 利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 18－5〕

利用していない理由についてみると、「（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない」が 59.6%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」が 50.3%となっています。また、利用しようとしている年齢では「3歳」が 53.5%と最も高くなっています。

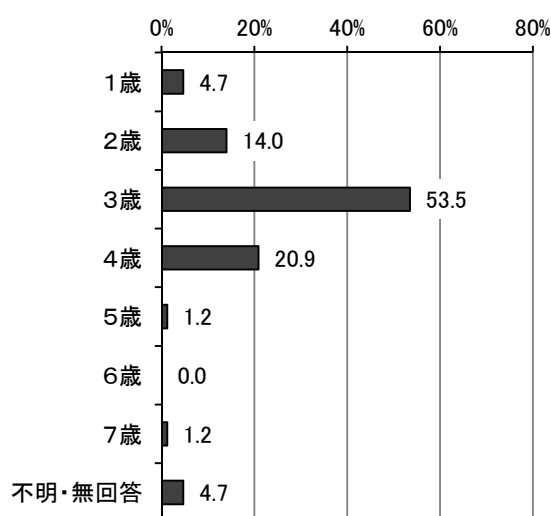
就学前児童(N=171)



◎利用したい時の子どもの年齢〈数量回答〉

《「子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている」を選んだ方》

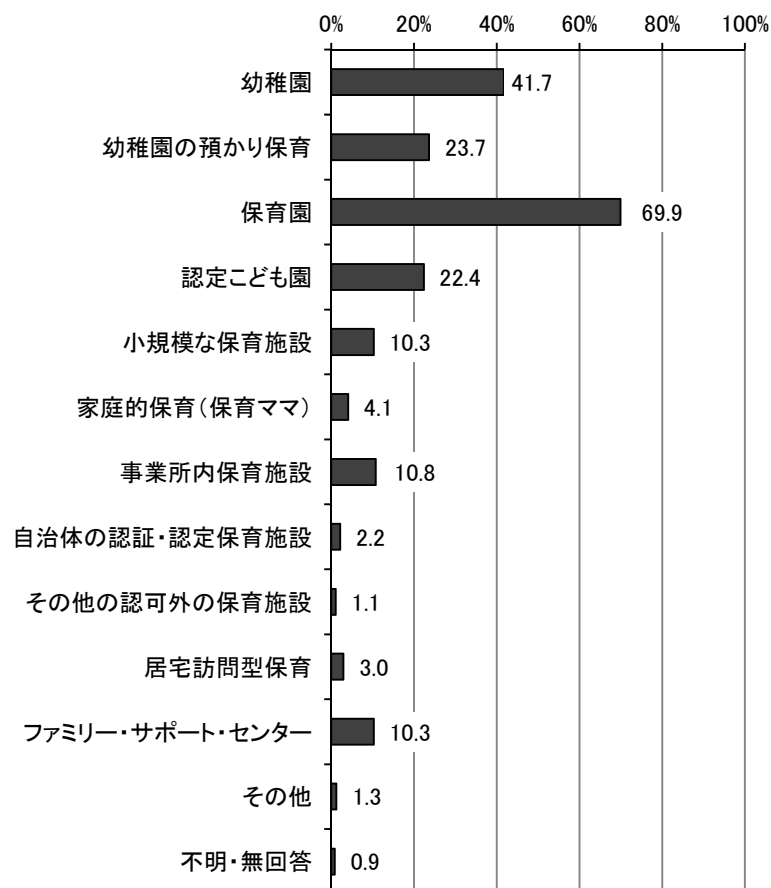
就学前児童(N=86)



（２）現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日の教育・保育事業として「定期的に」 利用したいと考える事業〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 19〕

平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業についてみると、「保育園」が 69.9%と最も高く、次いで「幼稚園」が 41.7%、「幼稚園の預かり保育」が 23.7%となっています。

就学前児童 (N=465)



* 事業の利用には一定の利用者負担が発生する

年齢別 × 平日、利用したい事業

年齢別でみると、全ての年齢で「保育園」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	保育園	認定こども園	小規模な 保育施設	家庭的保育 (保育ママ)	事業所内 保育施設
0 歳	80 100.0	30 37.5	14 17.5	68 85.0	21 26.3	16 20.0	1 1.3	9 11.3
1 歳	70 100.0	33 47.1	19 27.1	53 75.7	18 25.7	7 10.0	3 4.3	10 14.3
2 歳	81 100.0	38 46.9	18 22.2	50 61.7	21 25.9	6 7.4	2 2.5	9 11.1
3 歳	69 100.0	26 37.7	16 23.2	46 66.7	21 30.4	7 10.1	3 4.3	6 8.7
4 歳	75 100.0	28 37.3	17 22.7	47 62.7	9 12.0	7 9.3	6 8.0	6 8.0
5 歳	84 100.0	38 45.2	24 28.6	56 66.7	12 14.3	4 4.8	4 4.8	9 10.7

上段:度数 下段:%	合計	自治体の 認証・認定 保育施設	その他の認可 外の保育施設	居宅訪問型 保育	ファミリー・ サポート・ センター	その他	不明・無回答
0 歳	80 100.0	2 2.5	2 2.5	2 2.5	10 12.5	1 1.3	1 1.3
1 歳	70 100.0	3 4.3	-	2 2.9	6 8.6	-	2 2.9
2 歳	81 100.0	3 3.7	-	2 2.5	10 12.3	1 1.2	-
3 歳	69 100.0	1 1.4	2 2.9	2 2.9	6 8.7	2 2.9	-
4 歳	75 100.0	-	1 1.3	4 5.3	6 8.0	-	-
5 歳	84 100.0	1 1.2	-	2 2.4	9 10.7	2 2.4	1 1.2

区域別 × 平日、利用したい事業

区域別でみると、全て区域で「保育園」が最も高くなっています。

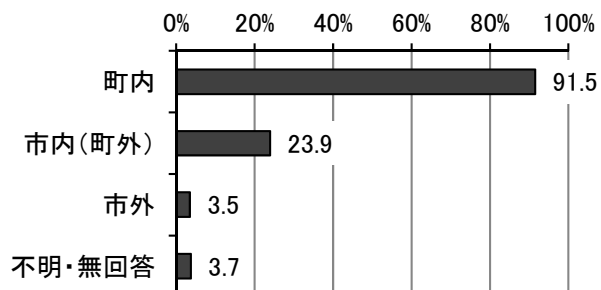
上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	保育園	認定こども園	小規模な 保育施設	家庭的保育 (保育ママ)	事業所内 保育施設
水口区域	224 100.0	97 43.3	48 21.4	151 67.4	48 21.4	25 11.2	11 4.9	16 7.1
土山区域	37 100.0	10 27.0	6 16.2	32 86.5	11 29.7	5 13.5	-	5 13.5
甲賀区域	50 100.0	21 42.0	13 26.0	42 84.0	11 22.0	5 10	2 4.0	9 18.0
甲南区域	113 100.0	47 41.6	34 30.1	75 66.4	22 19.5	10 8.8	4 3.5	18 15.9
信楽区域	34 100.0	16 47.1	6 17.6	23 67.6	10 29.4	2 5.9	1 2.9	1 2.9

上段:度数 下段:%	合計	自治体の 認証・認定 保育施設	その他の認可 外の保育施設	居宅訪問型 保育	ファミリー・ サポート・ センター	その他	不明・無回答
水口区域	224 100.0	5 2.2	4 1.8	9 4.0	22 9.8	3 1.3	2 0.9
土山区域	37 100.0	1 2.7	-	-	6 16.2	1 2.7	-
甲賀区域	50 100.0	1 2.0	1 2.0	1 2.0	4 8.0	-	1 2.0
甲南区域	113 100.0	3 2.7	-	3 2.7	13 11.5	1 0.9	1 0.9
信楽区域	34 100.0	-	-	1 2.9	2 5.9	-	-

（２）－１ 教育・保育事業を利用したい場所〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 19-1〕

教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「町内」が91.5%と最も高く、次いで「市内（町外）」が23.9%となっています。

就学前児童(N=461)



6 地域の子育て支援事業の利用状況について

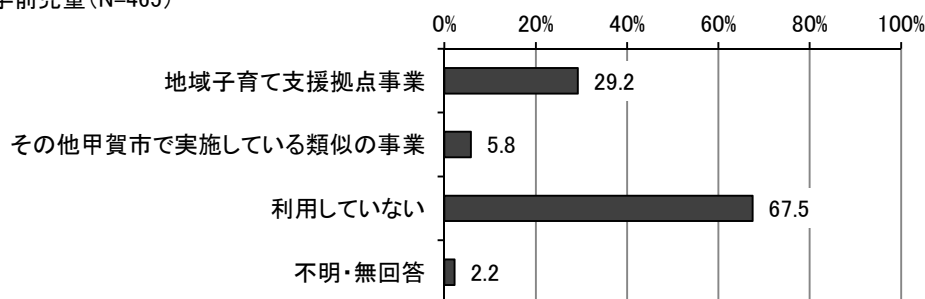
（１）現在の地域子育て支援拠点事業の利用状況〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 20〕

地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「地域子育て支援拠点事業（つどいの広場・子育て支援センター等）」が29.2%と最も高く、次いで「その他甲賀市で実施している類似の事業」が5.8%となっています。一方、「利用していない」は67.5%となっています。

また、1週当たりの利用回数では、『地域子育て支援拠点事業』、『その他甲賀市で実施している類似の事業』ともに「1回」の割合が高くなっています。

1ヶ月当たりの利用回数でも、『地域子育て支援拠点事業』、『その他甲賀市で実施している類似の事業』ともに「1回」の割合が最も高くなっています。

就学前児童(N=465)



◎ 1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用回数〈数量回答〉

《「地域子育て支援拠点事業」「その他、甲賀市で実施している類似の事業」を選んだ方》

【就学前児童】 1週あたりの 利用回数	地域子育て支援 拠点事業(N=136)		その他甲賀市で実 施している類似の 事業(N=27)	
	件数	%	件数	%
1回	20	14.7	1	3.7
2回	8	5.9	0	0.0
3回	6	4.4	0	0.0
4回	2	1.5	0	0.0
5回	1	0.7	0	0.0
不明・無回答	99	72.8	26	96.3

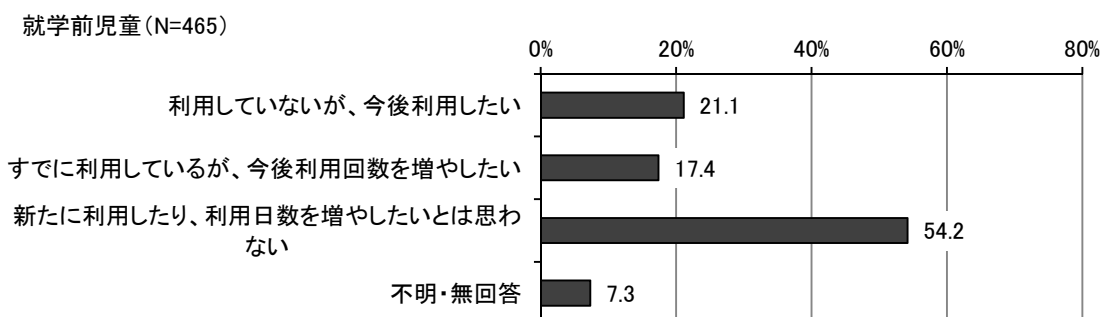
【就学前児童】 1ヶ月あたりの 利用回数	地域子育て支援 拠点事業(N=136)		その他甲賀市で実 施している類似の 事業(N=27)	
	件数	%	件数	%
1回	54	39.7	22	81.5
2回	26	19.1	3	11.1
3回	13	9.6	1	3.7
4回	4	2.9	0	0.0
5回以上	8	5.9	0	0.0
不明・無回答	31	22.8	1	3.7

（２）地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 21〕

地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が54.2%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が21.1%となっています。

また、1週当たりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』、『すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい』ともに「1回」の割合が最も高くなっています。

1ヶ月当たりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』で「1回」、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』で「2回」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



◎ 1週当たりもしくは1ヶ月当たりの利用希望回数〈数量回答〉

《「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方》

【就学前児童】 1週あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=98)		すでに利用している が、今後利用日数 を増やしたい (N=81)	
	件数	%	件数	%
1回	23	23.5	18	22.2
2回	4	4.1	6	7.4
3回	1	1.0	4	4.9
4回	0	0.0	4	4.9
5回	1	1.0	0	0.0
不明・無回答	69	70.4	49	60.5

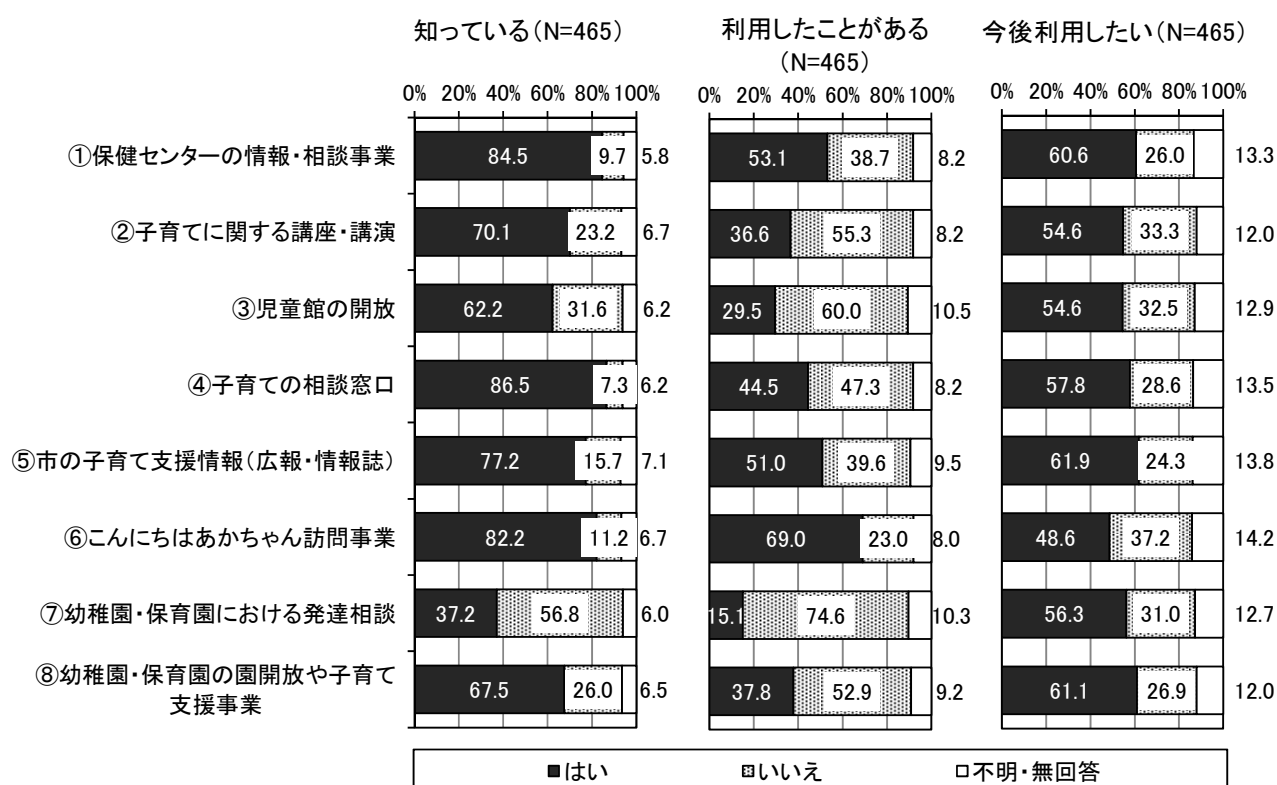
【就学前児童】 1ヶ月あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=98)		すでに利用している が、今後利用日数 を増やしたい (N=81)	
	件数	%	件数	%
1回	43	43.9	8	9.9
2回	26	26.5	18	22.2
3回	2	2.0	10	12.3
4回	6	6.1	10	12.3
5回以上	3	3.1	5	6.2
不明・無回答	18	18.4	30	37.0

（３）子育て支援サービスの認知度、利用度、利用希望〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 22〕

子育て支援サービスの認知度、利用度、利用希望についてみると、認知度【知っている】では『①保健センターの情報・相談事業』、『④子育ての相談窓口』、『⑥こんにちはあかちゃん訪問事業』で「はい」がそれぞれ84.5%、86.5%、82.2%、『⑦幼稚園・保育園における発達相談』で「いいえ」が56.8%と最も高くなっています。

利用度【利用したことがある】では『⑥こんにちはあかちゃん訪問事業』で「はい」が69.0%、『⑦幼稚園・保育園における発達相談』で「いいえ」が74.6%と最も高くなっています。

利用希望【今後利用したい】では『①保健センターの情報・相談事業』、『⑤市の子育て支援情報（広報・情報誌）』、『⑧幼稚園・保育園の園開放や子育て支援事業』で「はい」が60.6%、61.9%、61.1%、『⑥こんにちはあかちゃん訪問事業』で「いいえ」が37.2%と最も高くなっています。



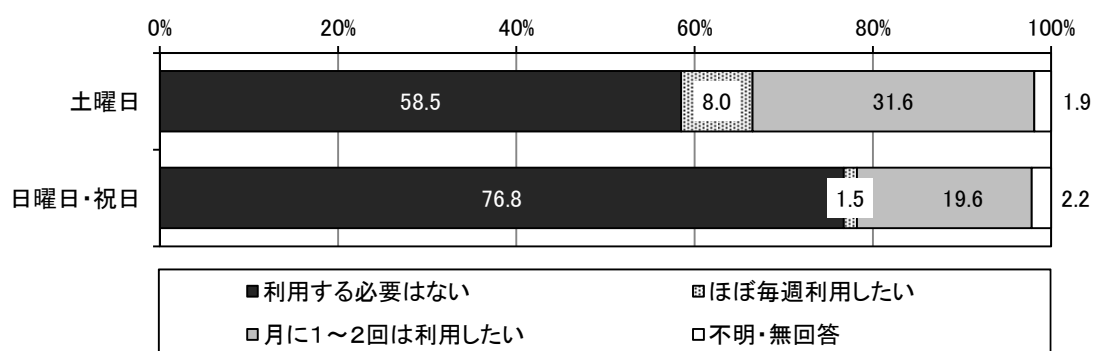
7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 23〕

土曜日と日曜日・祝日の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・休日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ 58.5%、76.8%と最も高くなっています。

利用開始時間では、土曜日、日曜日・休日ともに「9時」の割合がそれぞれ最も高くなっています。また、終了時間では、土曜日、日曜日・休日ともに「18時」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

就学前児童 (N=465)



* 「教育・保育事業」とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません

◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」を選んだ方》

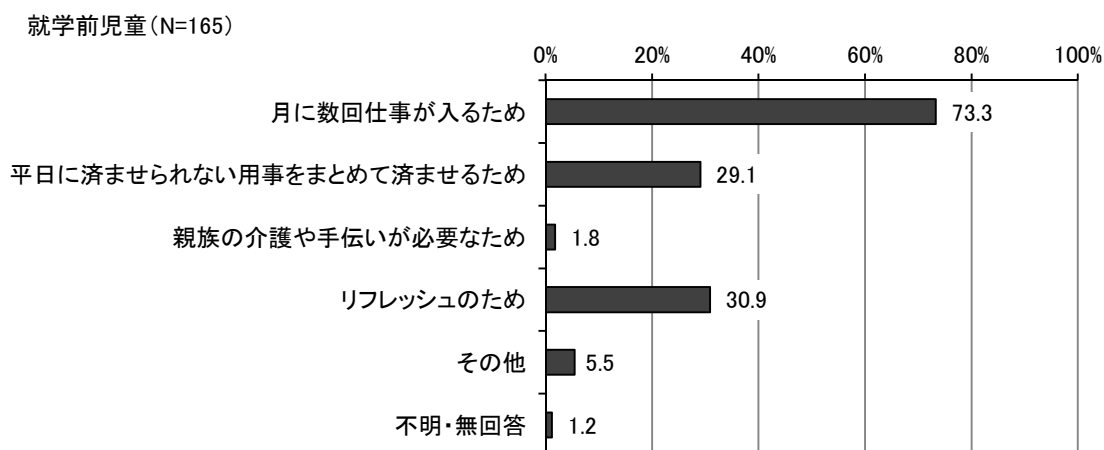
【就学前児童】 開始時間	土曜日 (N=184)		日曜日・祝日 (N=98)	
	件数	%	件数	%
6時以前	1	0.5	0	0.0
7時	14	7.6	8	8.2
8時	66	35.9	34	34.7
9時	77	41.8	40	40.8
10時	11	6.0	9	9.2
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時	1	0.5	0	0.0
14時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	14	7.6	7	7.1

【就学前児童】 終了時間	土曜日 (N=184)		日曜日・祝日 (N=98)	
	件数	%	件数	%
12時以前	11	6.0	6	6.1
13時	4	2.2	1	1.0
14時	9	4.9	2	2.0
15時	17	9.2	11	11.2
16時	27	14.7	15	15.3
17時	40	21.7	20	20.4
18時	56	30.4	32	32.7
19時	6	3.3	4	4.1
20時以降	1	0.5	1	1.0
不明・無回答	13	7.1	6	6.1

（１）で「月に１～２回は利用したい」を選んだ方

（１）－１ 毎週ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 23－１〕

毎週ではなく、たまに利用したい方の理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が73.3%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」が30.9%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が29.1%となっています。



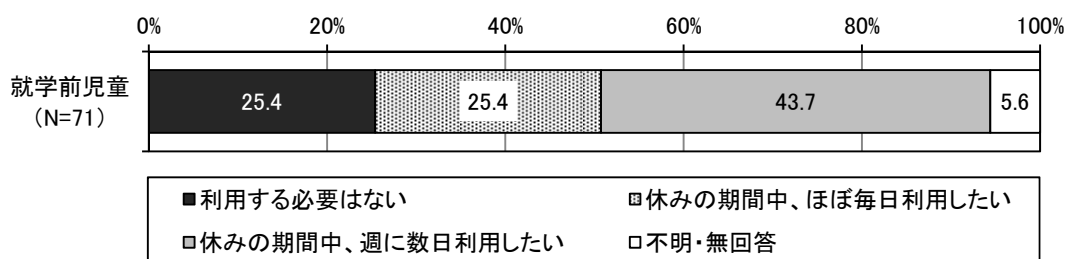
「幼稚園」を利用されている方

（２）夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 24〕

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が43.7%と最も高く、次いで「利用する必要はない」、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が同率で25.4%となっています。

利用開始時間では、「９時」の割合が最も高くなっています。また、終了時間では、「15 時」の割合が最も高くなっています。



◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方》

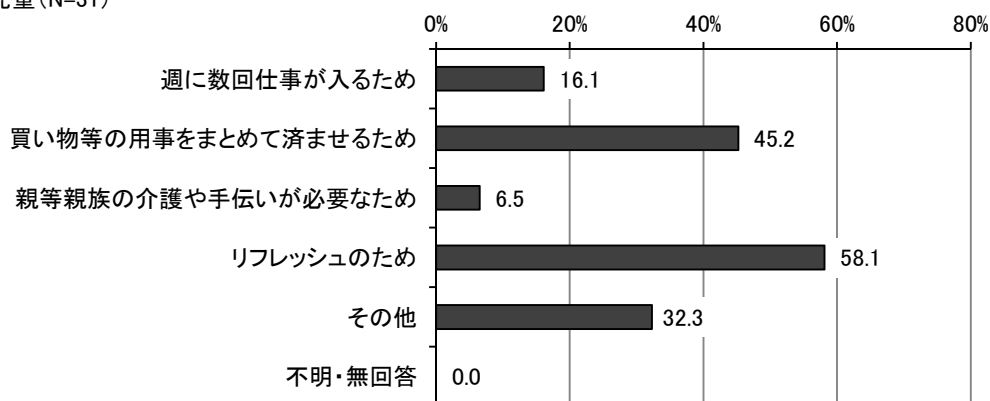
開始時間	就学前児童 (N=49)		終了時間	就学前児童 (N=49)	
	件数	%		件数	%
6時以前	0	0.0	12時以前	1	2.0
7時	1	2.0	13時	2	4.1
8時	4	8.2	14時	10	20.4
9時	42	85.7	15時	13	26.5
10時	1	2.0	16時	8	16.3
11時	0	0.0	17時	9	18.4
12時	0	0.0	18時	5	10.2
13時	1	2.0	19時	1	2.0
14時以降	0	0.0	20時以降	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	不明・無回答	0	0.0

（２）で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方

（２）－１ 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 24－1〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「リフレッシュのため」が58.1%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が45.2%、「その他」が32.3%となっています。

就学前児童(N=31)

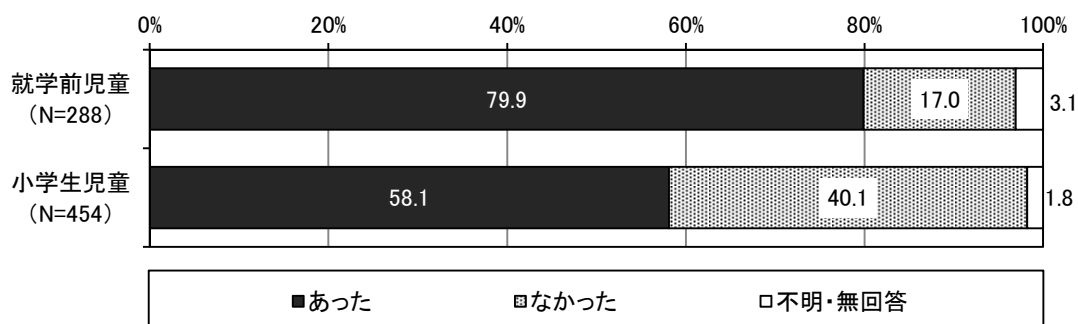


8 病気の際の対応について

就学前児童調査で、平日、幼稚園や保育園などの定期的な教育・保育事業の利用状況で「利用している」を選ばれた方

(1) この1年間に、子どもが病気やけがで通常の利用ができなくなったことの有無
 〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 25・小学生児童調査…問 16〕

病気やけがで通常の利用ができなくなったことの有無についてみると、就学前児童・小学生児童ともに「あった」が、それぞれ 79.9%、58.1%、「なかった」が、それぞれ 17.0%、40.1%となっています。

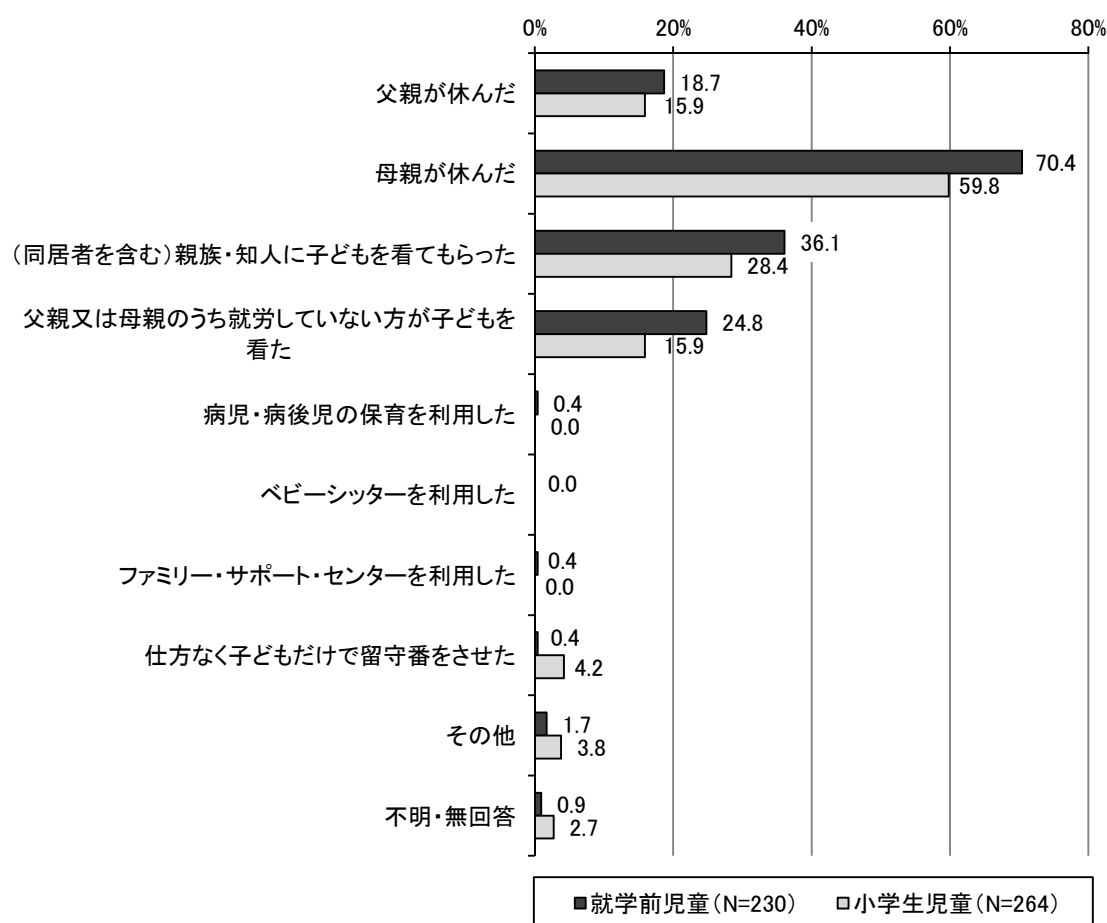


(1) - 1 子どもが病気やけがで普段利用している施設や事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 25-1・小学生児童調査…問 16-1〕

この1年間に行った対処方法についてみると、就学前児童・小学生児童ともに「母親が休んだ」が、それぞれ 70.4%、59.8%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」が、それぞれ 36.1%、28.4%となっています。

また、子どもが病気やけがの際の各処日数については、就学前児童で「母親が休んだ」、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た」では『10日以上』、小学生児童で「父親が休んだ」「母親が休んだ」、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」では『1日』の割合がそれぞれ高くなっています。



◎子どもが病気やけがの際の各対処日数〈数量回答〉

【就学前児童】 対応日数	父親が休んだ		母親が休んだ		もにむ（同 ら子）親居 つども族者 たも・を を看知 て人		をなう父 看いち親 た方就又 が労は 子し母 どて親 もいの		利保病 用育児 しサ・病 たサ・後 たス児 をの		しをベ た利用 利用 シ ッ タ		タポフ ーファミ ーミリー を・リ 利・セ 用・ン したサ		さだ仕 せけ方 たでな く守 子 番 ど をも		そ の 他	
	N=43		N=162		N=83		N=57		N=1		N=0		N=1		N=1		N=4	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	16	37.2	15	9.3	7	8.4	6	10.5	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	1	25.0
2日	7	16.3	21	13.0	11	13.3	8	14.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0
3日	6	14.0	24	14.8	11	13.3	10	17.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0
4日	2	4.7	6	3.7	4	4.8	5	8.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5日	6	14.0	29	17.9	17	20.5	8	14.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	3	1.9	1	1.2	1	1.8	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	2	4.7	13	8.0	6	7.2	3	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	1	2.3	0	0.0	1	1.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	3	7.0	46	28.4	21	25.3	13	22.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	5	3.1	4	4.8	3	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0

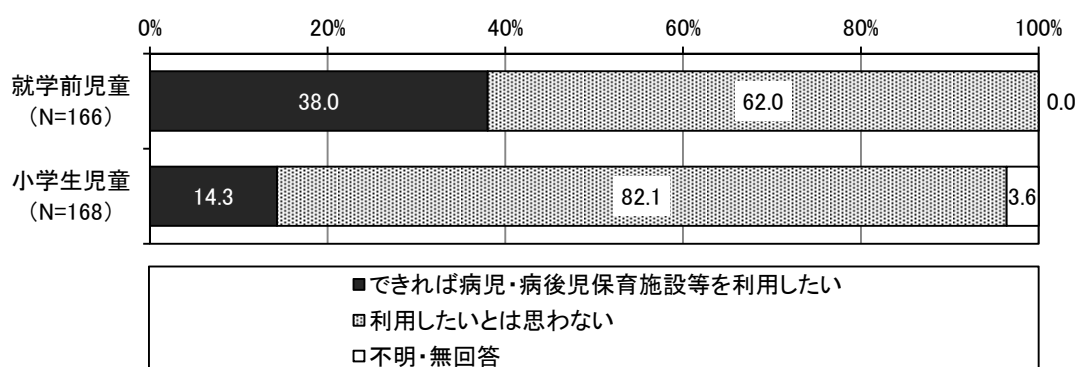
【小学生児童】 対応日数	父親が休んだ		母親が休んだ		もにむ（同 ら子）親居 つども族者 たも・を を看知 て人		をなう父 看いち親 た方就又 が労は 子し母 どて親 もいの		利保病 用育児 しサ・病 たサ・後 たス児 をの		タポフ ーファミ ーミリー を・リ 利・セ 用・ン したサ		さだ仕 せけ方 たでな く守 子 番 ど をも		そ の 他	
	N=42		N=158		N=75		N=42		N=0		N=0		N=11		N=10	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	18	42.9	45	28.5	25	33.3	7	16.7	0	0.0	0	0.0	6	54.5	1	10.0
2日	7	16.7	42	26.6	11	14.7	9	21.4	0	0.0	0	0.0	3	27.3	1	10.0
3日	5	11.9	28	17.7	9	12.0	5	11.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4日	1	2.4	4	2.5	5	6.7	1	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0
5日	2	4.8	19	12.0	10	13.3	5	11.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	1	2.4	2	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	4	2.5	1	1.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	0	0.0	6	3.8	2	2.7	2	4.8	0	0.0	0	0.0	1	9.1	2	20.0
不明・無回答	8	19.0	8	5.1	12	16.0	12	28.6	0	0.0	0	0.0	1	9.1	5	50.0

(1)－1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選ばれた方

(1)－2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 25-2・小学生児童調査…問 16-2〕

父親または母親が休んだ方で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたかについてみると、就学前児童・小学生児童ともに「利用したいとは思わない」がそれぞれ 62.0%、82.1%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」がそれぞれ 38.0%、14.3% となっています。

また、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい日数については、就学前児童で「5日」、小学生児童で「2日」の割合がそれぞれ最も高くなっています。



◎病児・病後児保育施設等を利用したい方の日数〈数量回答〉

《「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方》

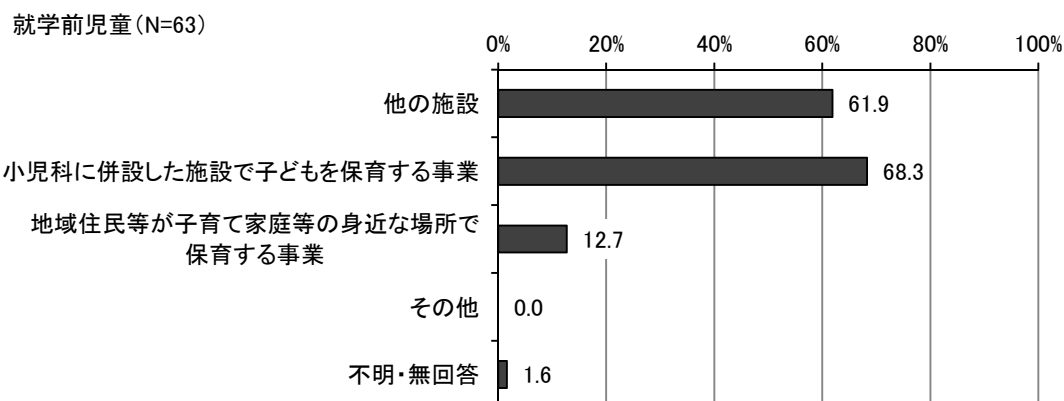
利用したい日数	就学前児童 (N=63)		小学生児童 (N=24)	
	件数	%	件数	%
1日	4	6.3	6	25.0
2日	5	7.9	6	25.0
3日	7	11.1	5	20.8
4日	2	3.2	0	0.0
5日	7	11.1	1	4.2
6日	1	1.6	1	4.2
7日	4	6.3	1	4.2
8日	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0
10日以上	15	23.8	1	4.2
不明・無回答	18	28.6	3	12.5

(1) - 2で「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」を選ばれた方

(1) - 3 子どもを預ける場合、望ましい事業形態〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 25-3〕

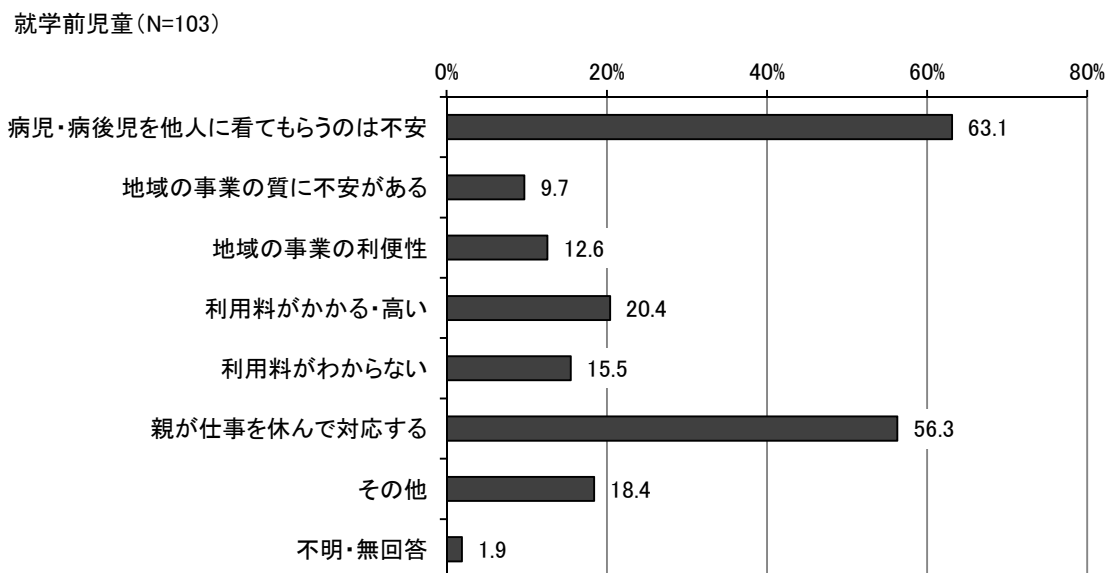
望ましい事業形態についてみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が68.3%と最も高く、次いで「他の施設」が61.9%となっています。



(1) - 2で「できれば利用したいと思わない」を選ばれた方

(1) - 4 利用したいと思わない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 25-4〕

利用したいと思わない理由についてみると、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が63.1%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が56.3%、「利用料がかかる・高い」が20.4%となっています。

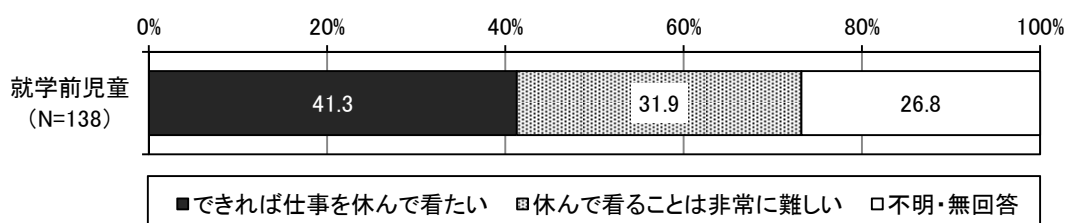


(1) - 1で「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」または「その他」を選ばれた方

(1) - 5 その際「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 25-5〕

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたかについてみると、「できれば仕事を休んで看たい」が41.3%、「休んで看ることは非常に難しい」が31.9%となっています。

また、できれば仕事を休んで看たい日数については、「10日以上」の割合が最も高くなっています。



◎仕事を休んで看たい日数〈数量回答〉

《「できれば仕事を休んで看たい」を選んだ方》

利用したい日数	就学前児童 (N=57)	
	件数	%
1日	6	10.5
2日	7	12.3
3日	8	14.0
4日	2	3.5
5日	9	15.8
6日	0	0.0
7日	2	3.5
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	11	19.3
不明・無回答	12	21.1

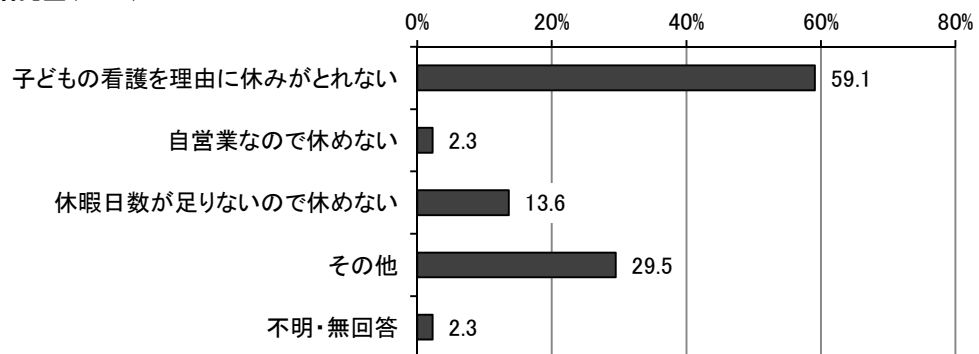
(1)－5で「休んで看することは非常に難しい」を選ばれた方

(1)－6 休んで看することは非常に難しいと思われる理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 25-6〕

休んで看することは非常に難しいと思われる理由についてみると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が59.1%と最も高く、次いで「その他」が29.5%、「休暇日数が足りないので休めない」が13.6%となっています。

就学前児童(N=44)



9 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

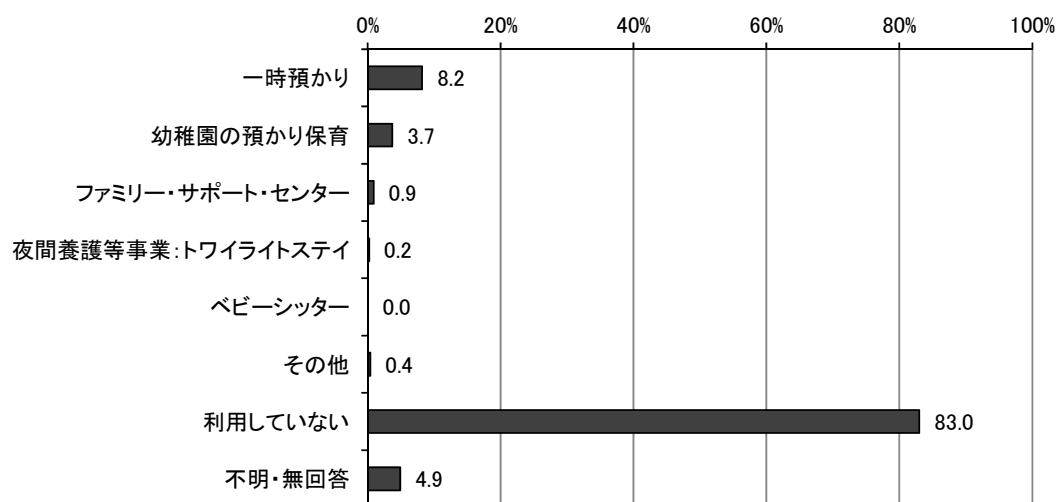
(1) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業〈複数回答〉

〔就学前児童用調査票…問 26〕

不定期に利用している事業についてみると、「一時預かり」が 8.2%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 3.7%となっています。一方、「利用していない」は 83.0%となっています。

利用している事業の1年間の利用日数では、「一時預かり」、「幼稚園の預かり保育」で『1日』の割合がそれぞれ最も高くなっています。

就学前児童 (N=465)



◎ 1年間の利用日数〈数量回答〉

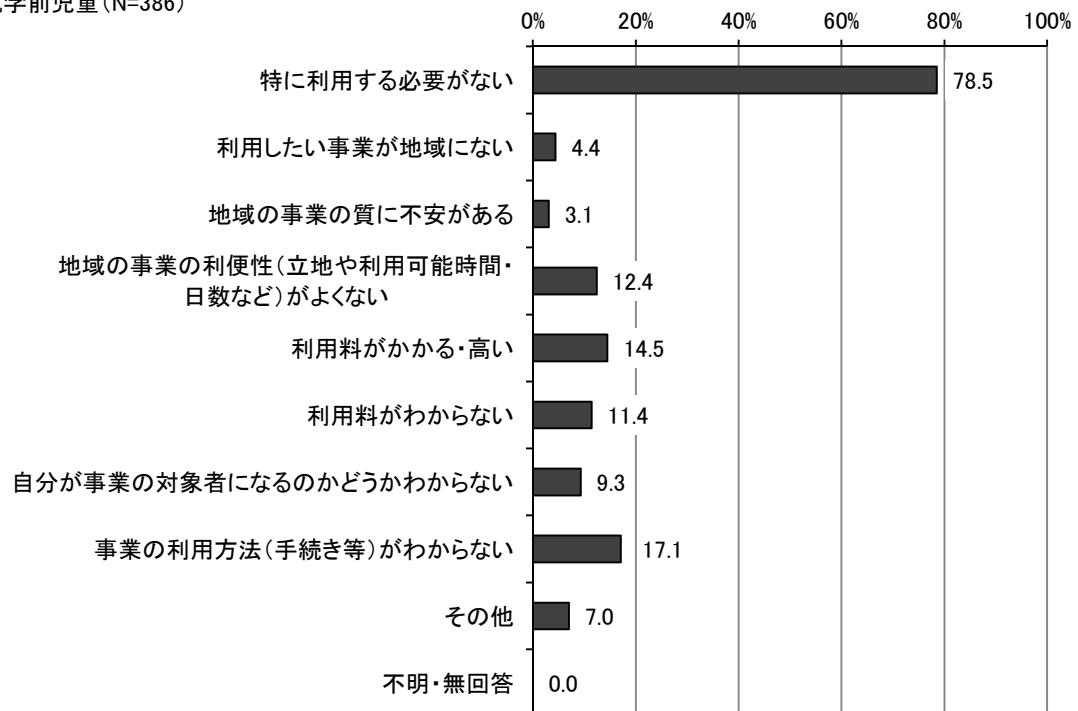
【就学前児童】 対処方法日数	一時 預 か り		預 幼 か 稚 り 園 の 保 育		セ サ フ ン ボ ア タ ミ ー ト リ ・		ラ 事 夜 イ 業 間 ト ・ 養 ス ト 護 テ フ 等 イ		シ ベ ッ ビ ー		そ の 他	
	N=38		N=17		N=4		N=1		N=0		N=2	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	9	23.7	3	17.6	1	25.0	0	0	0	0.0	0	0.0
2日	3	7.9	2	11.8	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0
3日	7	18.4	2	11.8	1	25.0	0	0	0	0.0	0	0.0
4日	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	1	50.0
5日	4	10.5	2	11.8	1	25.0	0	0	0	0.0	0	0.0
6日	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0
7日	1	2.6	1	5.9	0	0.0	1	100	0	0.0	0	0.0
8日	1	2.6	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0
10～19日	3	7.9	1	5.9	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0
20～29日	1	2.6	1	5.9	1	25.0	0	0	0	0.0	0	0.0
30～39日	0	0.0	3	17.6	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0
40～49日	2	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0
50日以上	3	7.9	2	11.8	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0	0	0.0	1	50.0

(1)で「利用していない」を選ばれた方

(1)－1 現在利用していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 26－1〕

現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が78.5%と最も高く、次いで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が17.1%、「利用料がかかる・高い」が14.5%となっています。

就学前児童(N=386)

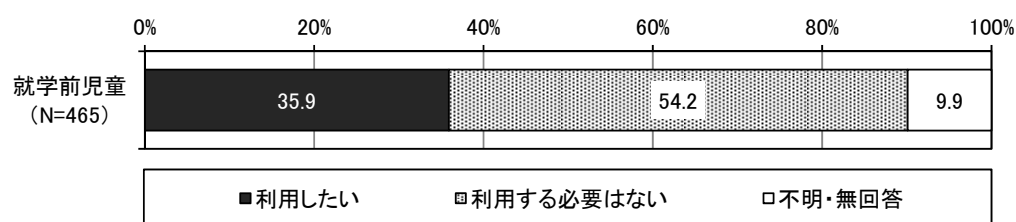


（２）私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要 があるか利用希望の有無〈単数回答〉〔就学前児童用調査票…問 27〕

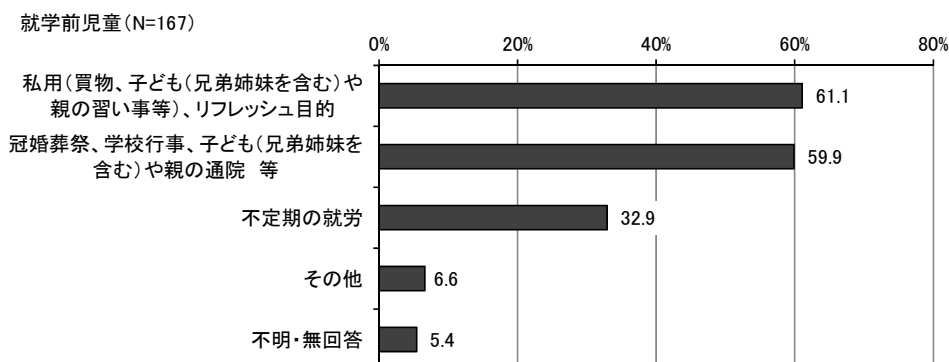
不定期の就労等の目的で不定期に利用したい事業の利用希望の有無についてみると、「利用したい」が35.9%、「利用する必要はない」が54.2%となっています。また、利用したい年間日数では「10～19日」が30.5%と最も高くなっています。

利用したい目的別の内容についてみると、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が61.1%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等」が59.9%となっています。

目的別の内訳の日数では、「その他」を除く全ての項目で「10～19日」の割合が最も高くなっています。



◎利用したい目的別の内容〈複数回答〉



◎利用したい年間日数、目的別の内訳の日数〈数量回答〉

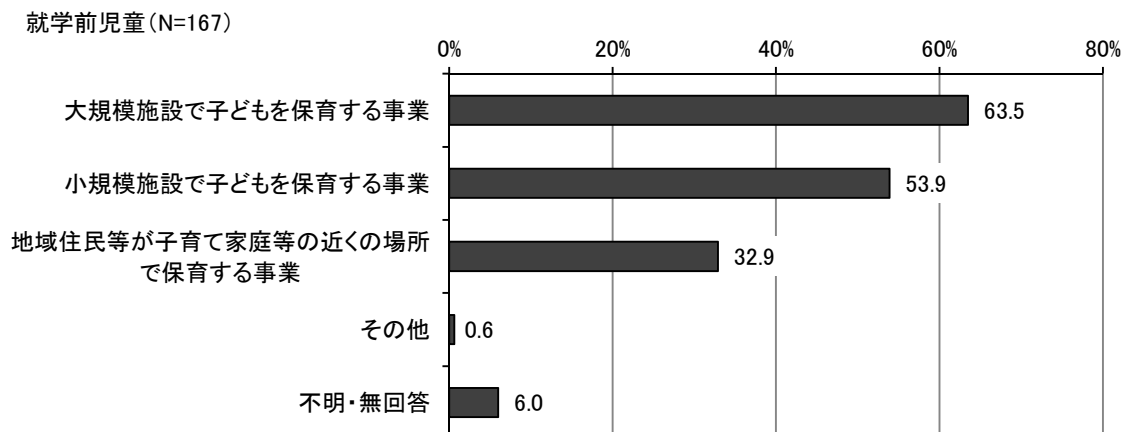
【就学前児童】 年間あたりの 利用日数	年間日数		私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的		冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等		不定期の就労		その他	
	N=167		N=102		N=100		N=55		N=11	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	3	1.8	3	2.9	9	9.0	0	0.0	3	27.3
2日	10	6.0	5	4.9	17	17.0	1	1.8	3	27.3
3日	8	4.8	12	11.8	11	11.0	4	7.3	1	9.1
4日	2	1.2	2	2.0	2	2.0	0	0.0	0	0.0
5日	17	10.2	15	14.7	20	20.0	6	10.9	1	9.1
6日	6	3.6	8	7.8	3	3.0	0	0.0	0	0.0
7日	6	3.6	2	2.0	5	5.0	3	5.5	0	0.0
8日	4	2.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	1	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	51	30.5	38	37.3	22	22.0	14	25.5	1	9.1
20～29日	18	10.8	4	3.9	2	2.0	8	14.5	0	0.0
30～39日	7	4.2	0	0.0	0	0.0	3	5.5	1	9.1
40～49日	6	3.6	4	3.9	0	0.0	1	1.8	1	9.1
50日以上	15	9.0	4	3.9	1	1.0	5	9.1	0	0.0
不明・無回答	13	7.8	5	4.9	8	8.0	10	18.2	0	0.0

（２）で「利用したい」を選ばれた方

（２）－１ （２）の目的でお子さんを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

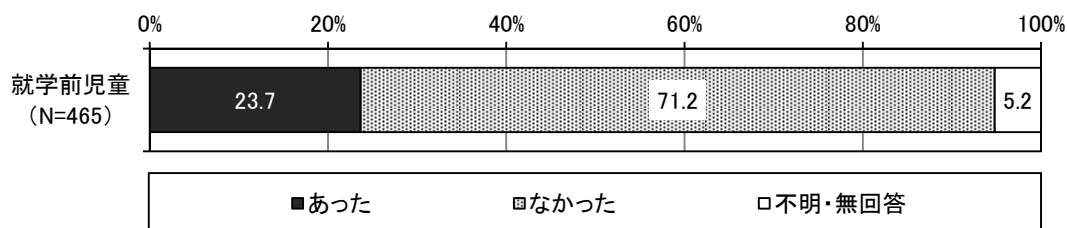
〔就学前児童調査…問 27－1〕

利用したい方のお子さんを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「大規模施設で子どもを保育する事業」が63.5%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が53.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が32.9%となっています。



（３）この１年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで預けなければならないことはありませんでしたか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 28〕

お子さんを泊りがけで預けなければならないことはありませんでしたかについてみると、「あった」が23.7%、「なかった」が71.2%となっています。

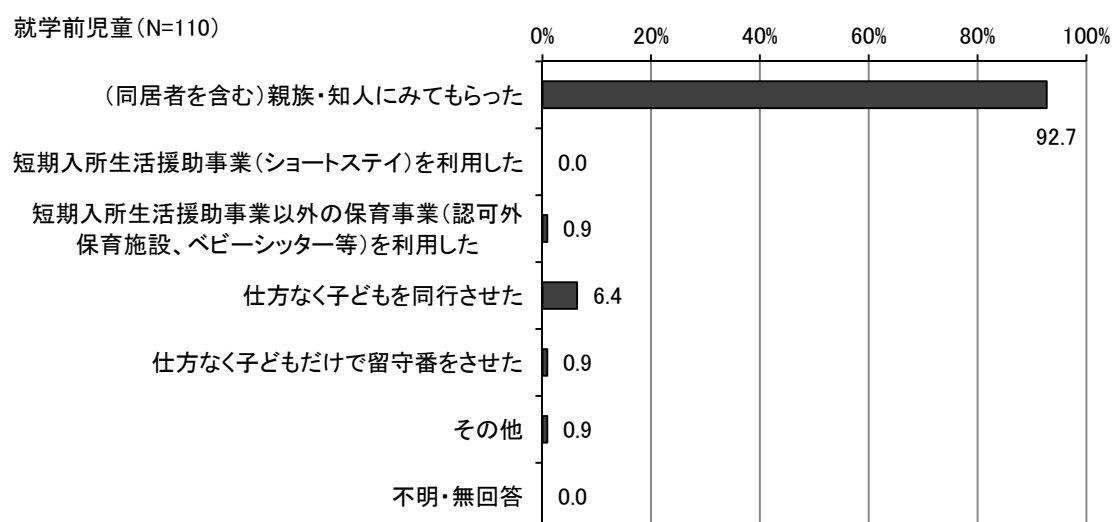


(3)で「あった」を選ばれた方

(3)－1 この1年間の対処方法〈複数回答〉〔就学前児童調査…問28〕

1年間の対処方法についてみると、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が92.7%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が6.4%となっています。

対処方法の日数では、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」で「1泊」の割合が最も高くなっています。



* 『短期入所生活援助事業』以外の保育事業（認可外保育施設等を利用した）の項目は就学前児童のみ

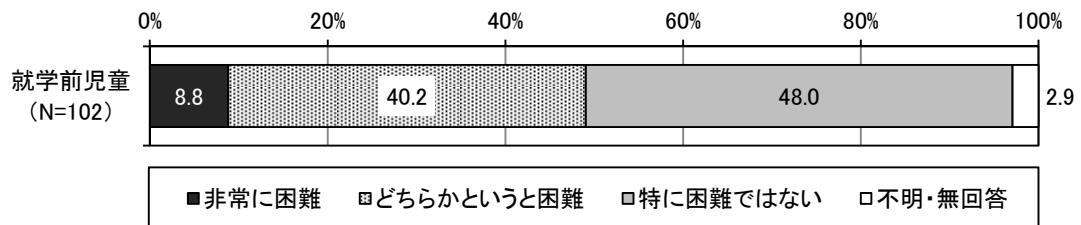
◎対処方法の日数〈数量回答〉《「あった」を選んだ方》

【就学前児童】 対応日数	にむ（預）同 け親居 た族者 ・を 知含 人		用ト助短 しス事期 たテ業入 イ（所） シ生 をヨ活 利！援		用保育助短 し育事事期 た施業業入 （設（以所 等認外生 を可の活 利外保援		も仕 同方 行なく さく子 せだ も		さだ仕 せけ方 たでな 留く 守子 番ど をも		そ の 他	
	N=102		N=0		N=1		N=7		N=1		N=1	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	29	28.4	0	0.0	0	0.0	1	14.3	1	100.0	0	0.0
2泊	14	13.7	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0
3泊	6	5.9	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0
4泊	7	6.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5泊	12	11.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6泊	5	4.9	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0
7泊	5	4.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10泊以上	15	14.7	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	9	8.8	0	0.0	0	0.0	3	42.9	0	0.0	1	100.0

(3)で「あった（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」を選ばれた方

(3)－2 親族・知人にみてもらった場合の困難度〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 28-1〕

親族・知人にみてもらった場合の困難度についてみると、「特に困難ではない」が48.0%と最も高く、次いで「どちらかというと困難」が40.2%となっています。

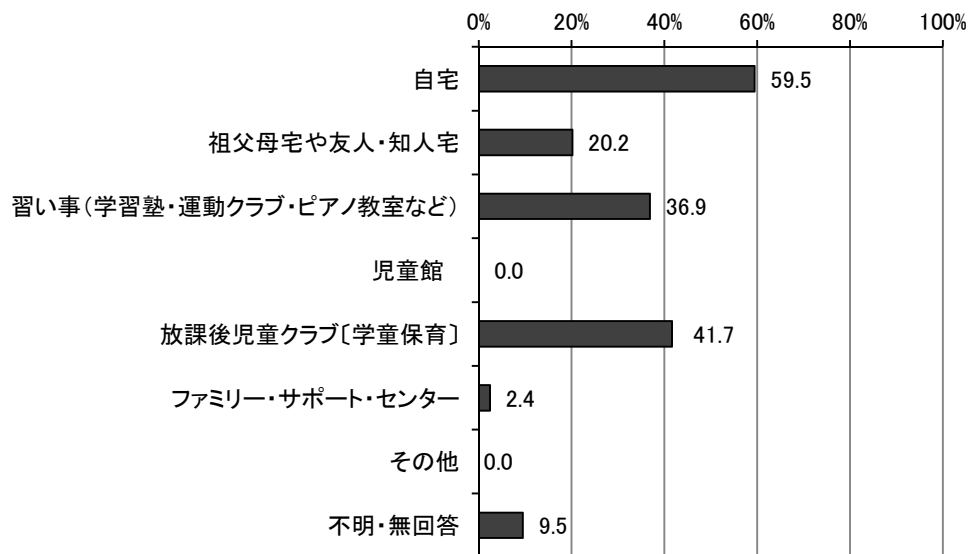


10 放課後の過ごし方について

(1) 小学校低学年(1～3年生)で希望する放課後(平日の小学校終了後)の過ごし方〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 29〕

小学校低学年での、希望する放課後の過ごし方についてみると、「自宅」が59.5%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が41.7%、「習い事(学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など)」が36.9%となっています。

就学前児童(N=84)



● 1 週当たりの利用したい日数〈小学校低学年（1～3年生）〉

1 週あたりの利用したい日数についてみると、「自宅」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」で『5日』の割合がそれぞれ最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを利用したい時間では、「18 時」の割合が最も高くなっています。

① 1 週当たりの利用日数〈数量回答〉

1週あたりの 利用したい 日数 【就学前児童】	自 宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ラ（習 ど ブ学い 〜 ・習事 ピ 塾 ア ・運 教 動 室 ク		児 童 館		ハ 放 学 課 童 後 保 児 育 ク ラ ブ		セ サ フ ン ポ ア タ ー ミ ー リ ・		そ の 他	
	N=50		N=17		N=31		N=0		N=35		N=2		N=0	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	6	12.0	8	47.1	15	48.4	0	0.0	1	2.9	0	0.0	0	0.0
2日	10	20.0	5	29.4	10	32.3	0	0.0	1	2.9	1	50.0	0	0.0
3日	7	14.0	2	11.8	5	16.1	0	0.0	5	14.3	0	0.0	0	0.0
4日	6	12.0	0	0.0	1	3.2	0	0.0	1	2.9	0	0.0	0	0.0
5日	16	32.0	2	11.8	0	0.0	0	0.0	23	65.7	1	50.0	0	0.0
6日	1	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.9	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	4	8.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	8.6	0	0.0	0	0.0

② 「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

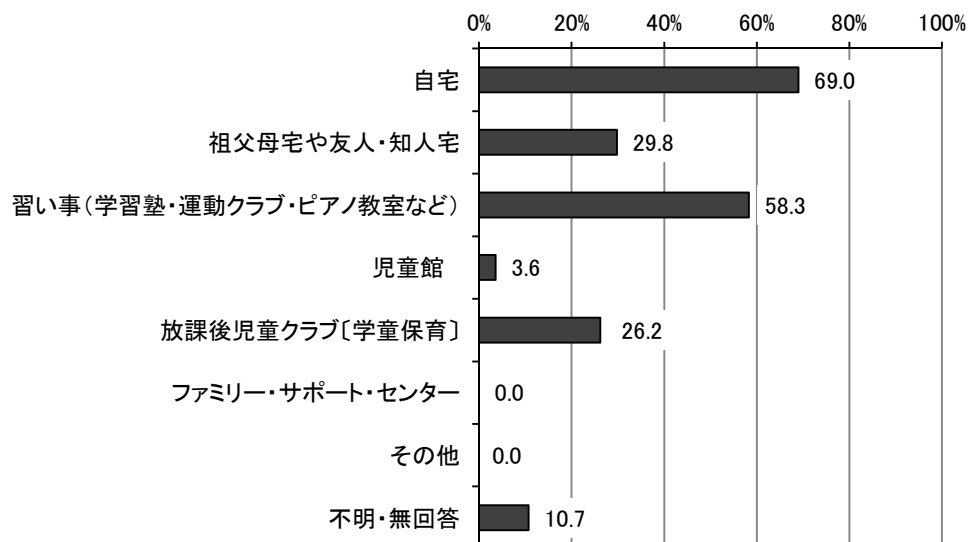
《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

【就学前児童】 利用したい時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=35)	
	件数	%
15時	0	0.0
16時	2	5.7
17時	10	28.6
18時	15	42.9
19時	5	14.3
不明・無回答	3	8.6

（２）小学校高学年（４～６年生）で希望する放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 30〕

小学校高学年での、希望する放課後の過ごし方についてみると、「自宅」が69.0%と最も高く、次いで「習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）」が58.3%、「祖父母宅や友人・知人宅」が29.8%となっています。

就学前児童(N=84)



● 1 週当たりの利用したい日数〈小学校高学年（4～6年生）〉

1 週あたりの利用したい日数についてみると、「自宅」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」で『5日』の割合がそれぞれ最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを利用したい時間では、「18 時」の割合が最も高くなっています。

① 1 週当たりの利用日数〈数量回答〉

1週あたりの 利用したい 日数 【就学前児童】	自 宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ラ（ 習 ど ブ 学 ） ・ 事 ピ 塾 ア ・ ノ 運 教 動 室 ク		児 童 館		ハ 放 学 課 童 後 保 児 育 ク ラ ブ		セ サ フ ン ポ ア タ ー ミ ー リ ・		そ の 他	
	N=58		N=25		N=49		N=3		N=22		N=0		N=0	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	7	12.1	10	40.0	21	42.9	1	33.3	3	13.6	0	0.0	0	0.0
2日	8	13.8	8	32.0	15	30.6	0	0.0	4	18.2	0	0.0	0	0.0
3日	5	8.6	2	8.0	6	12.2	1	33.3	5	22.7	0	0.0	0	0.0
4日	8	13.8	0	0.0	2	4.1	0	0.0	2	9.1	0	0.0	0	0.0
5日	18	31.0	3	12.0	0	0.0	0	0.0	7	31.8	0	0.0	0	0.0
6日	1	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	11	19.0	2	8.0	5	10.2	1	33.3	1	4.5	0	0.0	0	0.0

② 「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

【就学前児童】 利用したい時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=22)	
	件数	%
15時	0	0.0
16時	1	4.5
17時	6	27.3
18時	11	50.0
19時	3	13.6
不明・無回答	1	4.5

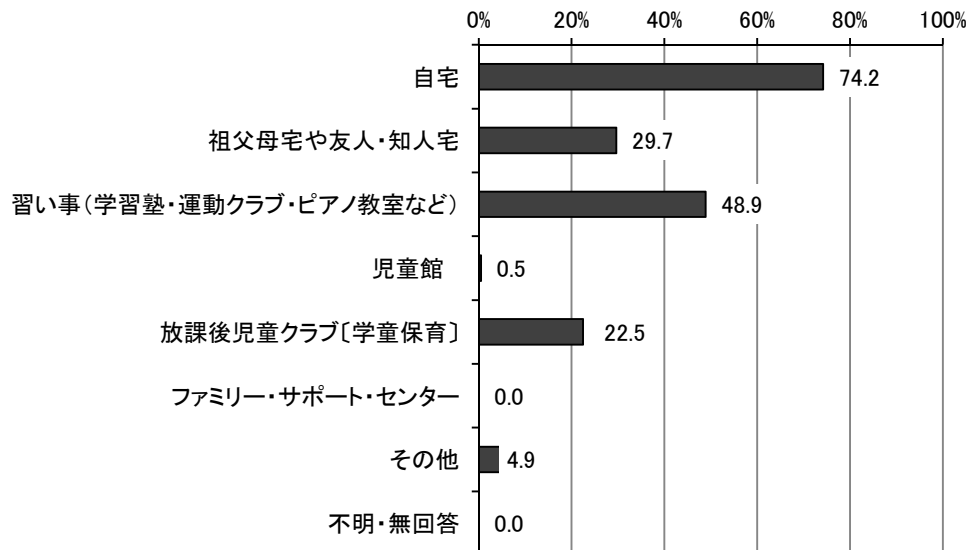
子どもが小学校低学年（１～３年生）の方

（３）小学校低学年（１～３年生）での放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方

〈複数回答〉〔小学生児童調査…問 17〕

小学校低学年での、放課後の過ごし方についてみると、「自宅」が74.2%と最も高く、次いで「習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）」が48.9%、「祖父母宅や友人・知人宅」が29.7%となっています。

小学生児童(N=182)



● 1 週当たりの利用している日数〈小学校低学年（1～3年生）〉

1 週あたりの利用している日数についてみると、「自宅」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」で『5 日』の割合がそれぞれ最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを利用している時間では、「18 時」の割合が最も高くなっています。

① 1 週当たりの利用日数〈数量回答〉

1週あたりの 利用している 日数 【小学生児童】	自 宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ラ（習 ど ブ学い ～ ・習事 ピ 塾 ア ・運 教 動 室 ク		児 童 館		ハ 放 学 課 童 後 保 児 育 ク ラ ブ		セ サ フ ン ポ ア タ ー ミ ー ト リ ー ・		そ の 他	
	N=135		N=54		N=89		N=1		N=41		N=0		N=9	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1 日	15	11.1	23	42.6	34	38.2	1	100.0	0	0.0	0	0.0	2	22.2
2 日	15	11.1	13	24.1	33	37.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	11.1
3 日	22	16.3	7	13.0	15	16.9	0	0.0	1	2.4	0	0.0	3	33.3
4 日	19	14.1	4	7.4	4	4.5	0	0.0	6	14.6	0	0.0	0	0.0
5 日	56	41.5	6	11.1	1	1.1	0	0.0	33	80.5	0	0.0	3	33.3
6 日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.4	0	0.0	0	0.0
7 日	3	2.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	5	3.7	1	1.9	2	2.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

② 「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

【小学生児童】 利用している時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=41)	
	件数	%
17時	17	41.5
18時	24	58.5
19時	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

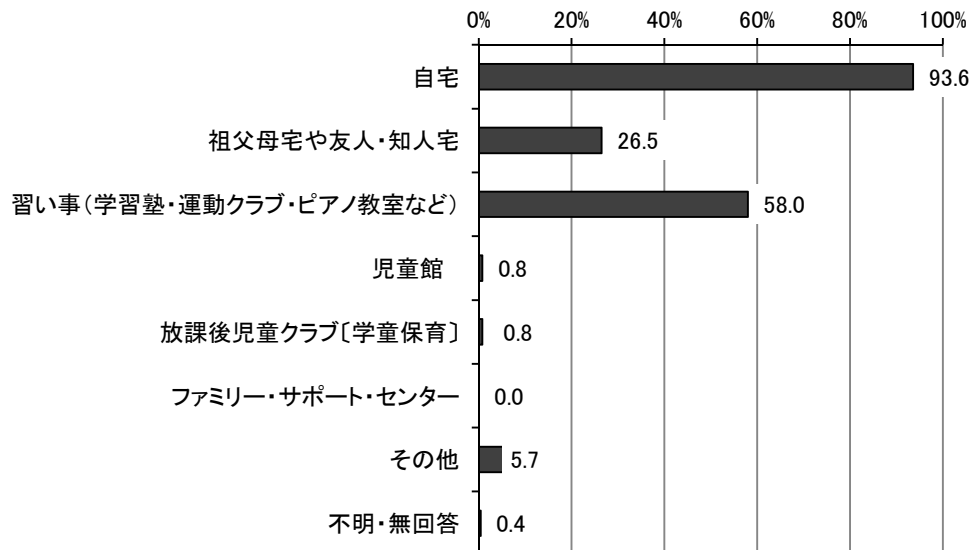
子どもが小学校高学年（４～６年生）の方

（４）小学校高学年（４～６年生）での放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方

〈複数回答〉〔小学生児童調査…問 18〕

小学校高学年での、放課後の過ごし方についてみると、「自宅」が93.6%と最も高く、次いで「習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）」が58.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」が26.5%となっています。

小学生児童(N=264)



● 1 週当たりの利用している日数〈小学校高学年（４～６年生）〉

１週あたりの利用日数についてみると、「自宅」で『５日』、「祖父母宅や友人・知人宅」、「習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）」で『１日』の割合がそれぞれ最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを利用している時間では、「１８時」の割合が最も高くなっています。

① １週当たりの利用日数〈数量回答〉

1週あたりの 利用している 日数 【小学生児童】	自 宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ラ ・ 習 ど ブ ・ 事 〜 ・ 塾 ピ ア ・ ア ノ 運 教 動 室 ク		児 童 館		ハ 放 学 課 童 後 保 児 育 童 ク ラ ブ		セ サ フ ン ポ ア タ ー ミ ー ト リ ー ・		そ の 他	
	N=247		N=70		N=153		N=2		N=2		N=0		N=15	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	24	9.7	34	48.6	39	25.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	6.7
2日	34	13.8	19	27.1	48	31.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	33.3
3日	44	17.8	6	8.6	38	24.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	33.3
4日	44	17.8	4	5.7	17	11.1	1	50.0	0	0.0	0	0.0	3	20.0
5日	82	33.2	4	5.7	8	5.2	0	0.0	2	100.0	0	0.0	1	6.7
6日	0	0.0	0	0.0	3	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	7	2.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	12	4.9	3	4.3	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

② 「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

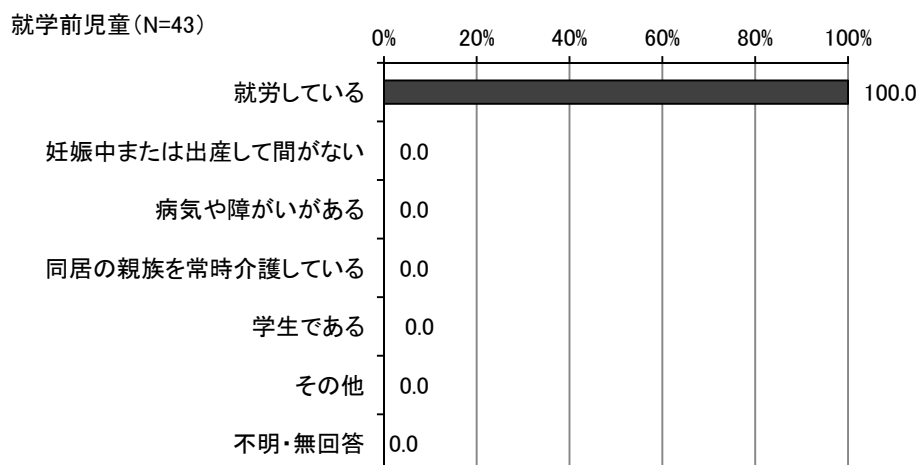
《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

【小学生児童】 利用している時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=2)	
	件数	%
17時	0	0.0
18時	2	100.0
19時	0	0.0
不明・無回答	0	0.0

（３）または（４）で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選ばれた方

（５）放課後児童クラブを利用している理由〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 19〕

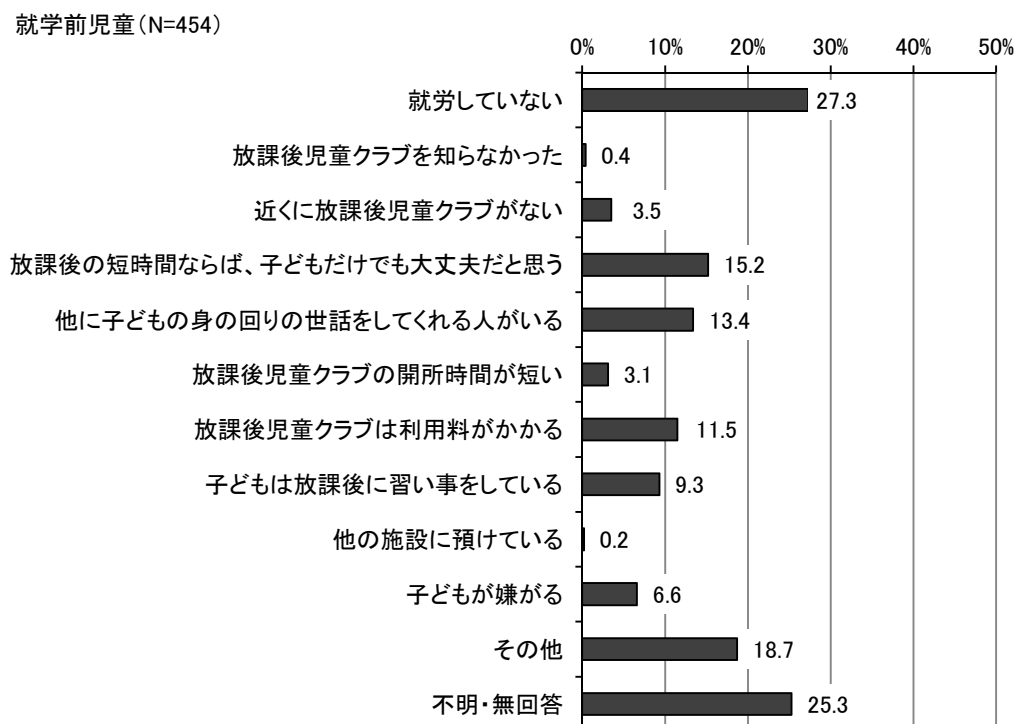
放課後児童クラブを利用している理由についてみると、「就労している」が100.0%となっています。



（３）または（４）で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選ばれた方

（６）放課後児童クラブを利用していない理由〈複数回答〉〔小学生児童調査…問 20〕

放課後児童クラブを利用していない理由についてみると、「就労していない」が27.3%と最も高く、次いで「その他」が18.7%、「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」が15.2%となっています。

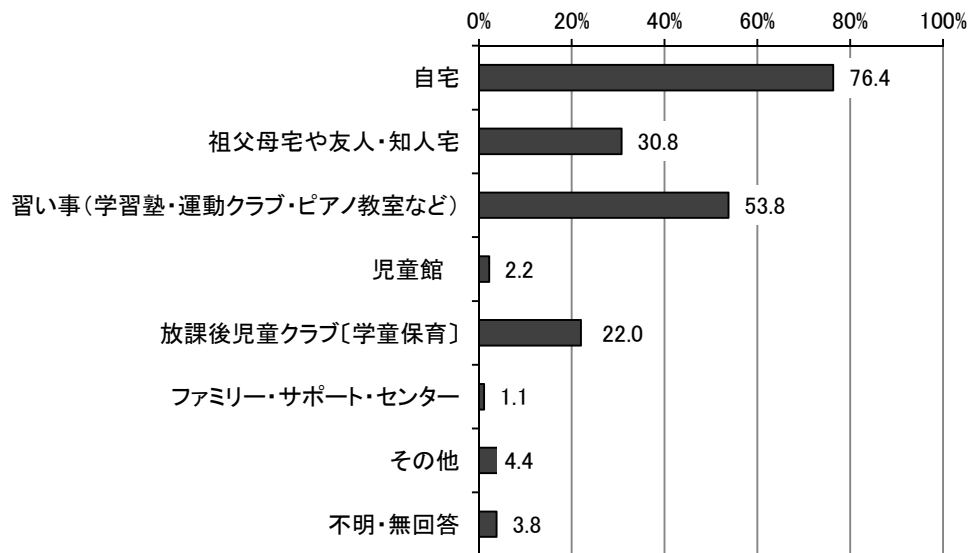


子どもが小学校低学年（１～３年生）の方

（７）小学校低学年（１～３年生）で希望する放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方〈複数回答〉 小学生児童調査…問 21]

小学校低学年での、希望する放課後の過ごし方についてみると、「自宅」が76.4%と最も高く、次いで「習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）」が53.8%、「祖父母宅や友人・知人宅」が30.8%となっています。

小学生児童(N=182)



● 1 週当たりの利用したい日数〈小学校低学年（１～３年生）〉

１週あたりの利用したい日数についてみると、「自宅」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」で『５日』の割合がそれぞれ最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを利用したい時間では、「１８時」の割合が最も高くなっています。

① １週当たりの利用日数〈数量回答〉

1週あたりの 利用したい 日数 【小学生児童】	自 宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ラ（ 習 ど ブ（ 事 ） ・ 塾 ピ ア ・ ノ 運 教 動 室 ク		児 童 館		ハ 放 学 課 童 後 保 児 育 童 ク ラ ブ		セ サ フ ン ポ ア タ ー ミ ー ト リ ー ・		そ の 他	
	N=139		N=56		N=98		N=4		N=40		N=2		N=8	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	9	6.5	21	37.5	33	33.7	1	25.0	0	0.0	1	50.0	1	12.5
2日	21	15.1	22	39.3	43	43.9	2	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
3日	38	27.3	6	10.7	14	14.3	1	25.0	6	15.0	0	0.0	3	37.5
4日	16	11.5	1	1.8	3	3.1	0	0.0	3	7.5	0	0.0	0	0.0
5日	41	29.5	3	5.4	0	0.0	0	0.0	28	70.0	0	0.0	2	25.0
6日	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.5	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	13	9.4	3	5.4	5	5.1	0	0.0	2	5.0	0	0.0	2	25.0

② 「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

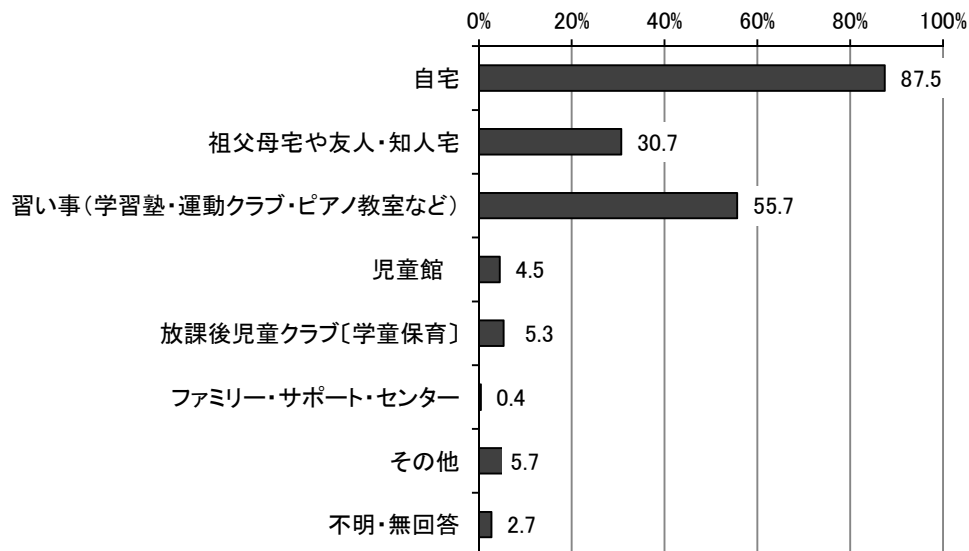
【小学生児童】 利用したい時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=40)	
	件数	%
17時	17	42.5
18時	19	47.5
19時	3	7.5
不明・無回答	1	2.5

子どもが小学校高学年（４～６年生）の方

（８）小学校高学年（４～６年生）で希望する放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方〈複数回答〉〔小学生児童調査…問 22〕

小学校高学年での、希望する放課後の過ごし方についてみると、「自宅」が87.5%と最も高く、次いで「習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）」が 55.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が 30.7%となっています。

小学生児童(N=264)



● 1 週当たりの利用したい日数〈小学校高学年（4～6年生）〉

1 週あたりの利用したい日数についてみると、「自宅」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」で『5日』の割合がそれぞれ最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを利用したい時間では、「18 時」の割合が最も高くなっています。

①一週当たりの利用日数〈数量回答〉

1週あたりの 利用したい 日数 【小学生児童】	自 宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ラ ヘ 習 ど ブ 学 い ー ・ 塾 事 ピ ア ・ ア ノ 運 教 動 室 ク		児 童 館		へ 放 学 課 童 後 保 児 育 童 ー ク ラ ブ		セ サ フ ン ポ ア タ ー ミ ー ト リ ・		そ の 他	
	N=231		N=81		N=147		N=12		N=14		N=1		N=15	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	19	8.2	29	35.8	29	19.7	4	33.3	0	0.0	0	0.0	4	26.7
2日	44	19.0	30	37.0	55	37.4	5	41.7	0	0.0	1	100.0	5	33.3
3日	46	19.9	5	6.2	37	25.2	1	8.3	3	21.4	0	0.0	3	20.0
4日	31	13.4	4	4.9	11	7.5	1	8.3	1	7.1	0	0.0	0	0.0
5日	64	27.7	2	2.5	5	3.4	0	0.0	9	64.3	0	0.0	3	20.0
6日	0	0.0	0	0.0	1	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	4	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	23	10.0	11	13.6	9	6.1	1	8.3	1	7.1	0	0.0	0	0.0

②「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

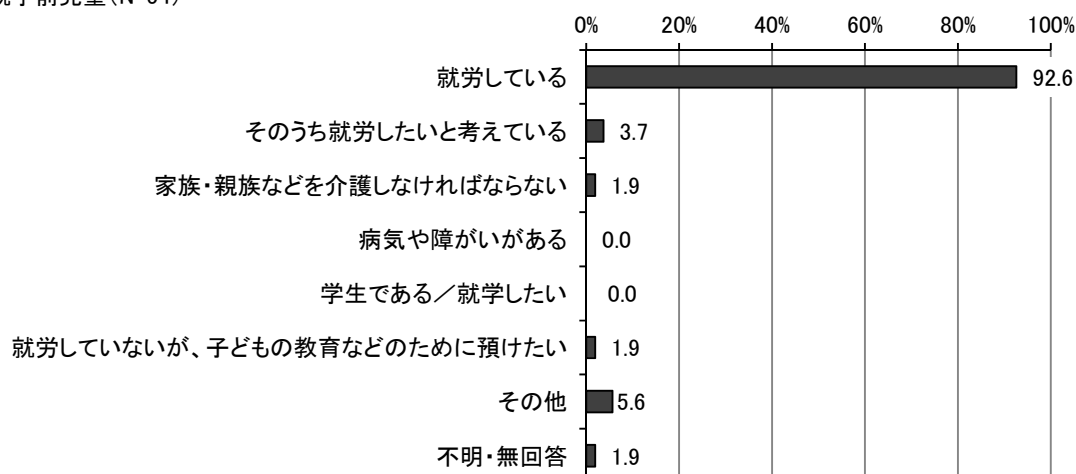
【小学生児童】 利用したい時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=14)	
	件数	%
17時	1	7.1
18時	6	42.9
19時	6	42.9
不明・無回答	1	7.1

(7) または (8) で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選ばれた方

(9) 放課後児童クラブを利用したい理由〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 23〕

放課後児童クラブを利用したい理由についてみると、「就労している」が92.6%と最も高く、次いで「その他」が5.6%、「そのうち就労したいと考えている」が3.7%となっています。

就学前児童(N=54)

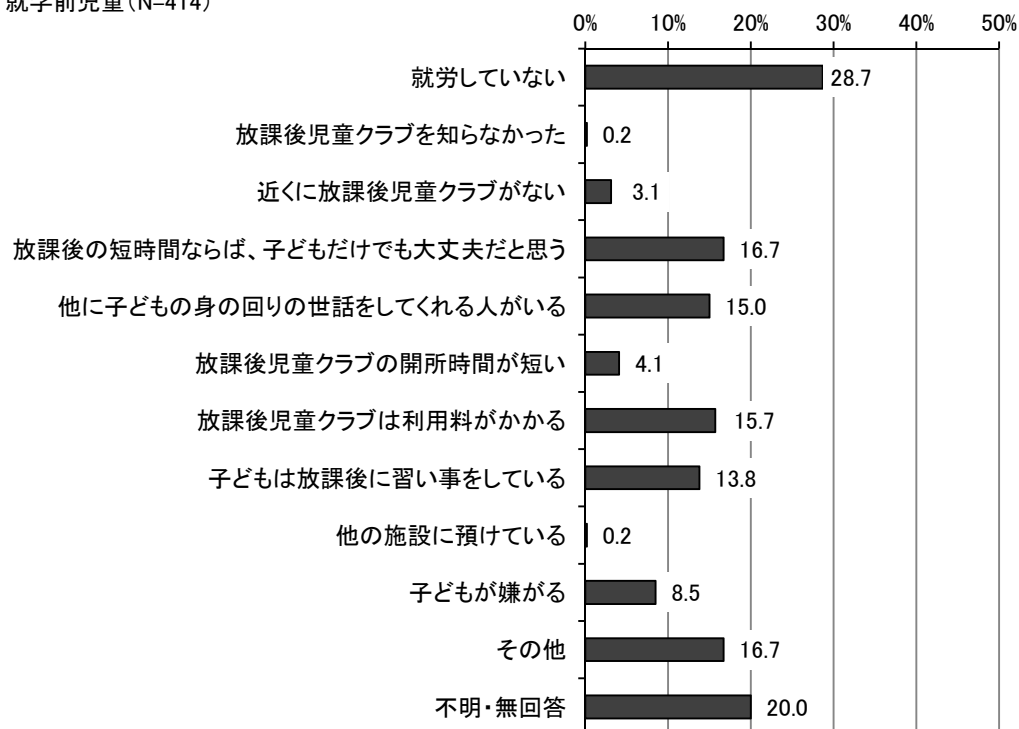


(3) または (4) で「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選ばれた方

(10) 放課後児童クラブを利用しない理由〈複数回答〉〔小学生児童調査…問 24〕

放課後児童クラブを利用しない理由についてみると、「就労していない」が28.7%と最も高く、次いで「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う」、「その他」が同率で16.7%、「放課後児童クラブは利用料がかかる」が15.7%となっています。

就学前児童(N=414)

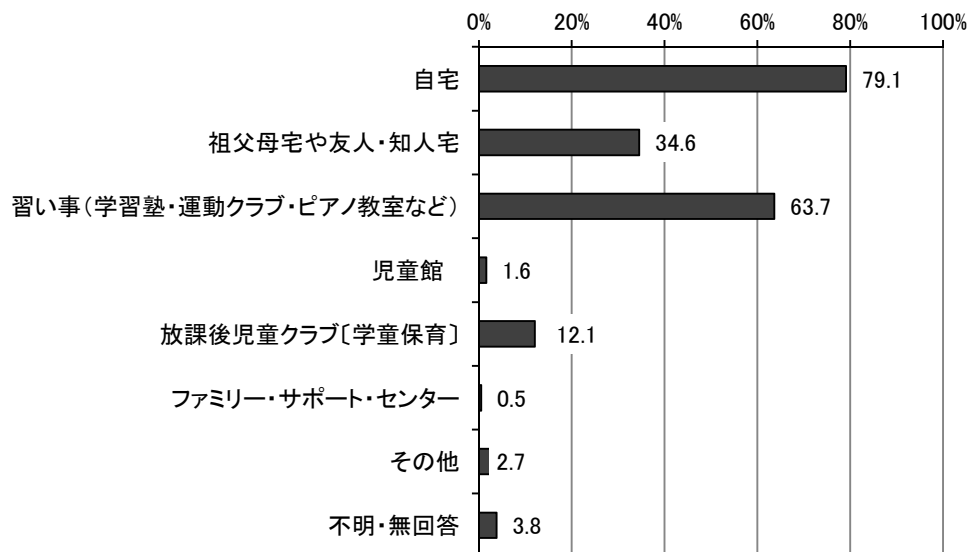


子どもが小学校低学年（１～３年生）の方

（１１）小学校高学年（４～６年生）で希望する放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方〈複数回答〉〔小学生児童調査…問 25〕

小学校高学年での、希望する放課後の過ごし方についてみると、「自宅」が79.1%と最も高く、次いで「習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）」が63.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が34.6%となっています。

小学生児童(N=182)



● 1 週あたりの利用したい日数〈小学校高学年（4～6年生）〉

1 週あたりの利用したい日数についてみると、「自宅」、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」で『5日』の割合がそれぞれ最も高くなっています。

また、放課後児童クラブを利用したい時間では、「18 時」の割合が最も高くなっています。

① 週あたりの利用日数〈数量回答〉

1週あたりの 利用したい 日数 【小学生児童】	自 宅		知 祖 人 父 宅 母 や 友 人 ・		な ラ ・ 習 ど ブ ・ 事 〜 ・ 塾 ピ ・ ア ・ ノ 運 教 動 室 ク		児 童 館		ハ 放 学 課 童 後 保 児 育 童 ク ラ ブ		セ サ フ ン ポ ア タ ー ミ ー ト リ ー ・		そ の 他	
	N=144		N=63		N=116		N=3		N=22		N=1		N=5	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	14	9.7	22	34.9	23	19.8	2	66.7	0	0.0	1	100.0	0	0.0
2日	25	17.4	20	31.7	57	49.1	1	33.3	1	4.5	0	0.0	0	0.0
3日	24	16.7	7	11.1	21	18.1	0	0.0	3	13.6	0	0.0	3	60.0
4日	18	12.5	2	3.2	6	5.2	0	0.0	4	18.2	0	0.0	0	0.0
5日	49	34.0	6	9.5	2	1.7	0	0.0	14	63.6	0	0.0	1	20.0
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	14	9.7	6	9.5	7	6.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0

② 「放課後児童クラブ」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

《「放課後児童クラブ〔学童保育〕」を選んだ方》

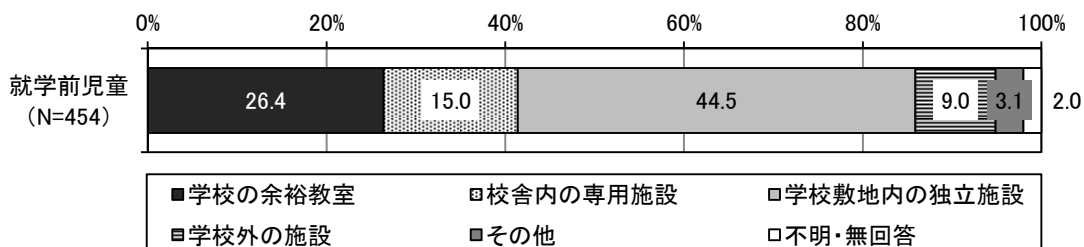
【小学生児童】 利用したい時間	放課後児童クラブ 〔学童保育〕 (N=22)	
	件数	%
17時	8	36.4
18時	13	59.1
19時	1	4.5
不明・無回答	0	0.0

すべての方

(12) 放課後児童クラブはどこにあればいいと思いますか〈単数回答〉

〔小学生児童調査…問 26〕

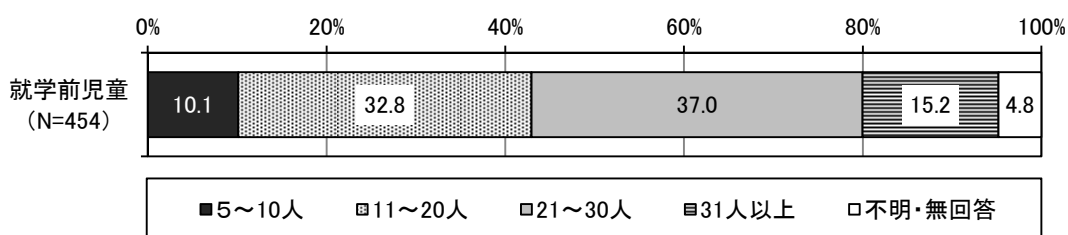
放課後児童クラブはどこにあればいいと思いますかについてみると、「学校敷地内の独立施設」が44.5%と最も高く、次いで「学校の余裕教室」が26.4%、「校舎内の専用施設」が15.0%となっています。



(13) 放課後児童クラブはどの程度の定員で運営するのがよいと思いますか〈単数回答〉

〔小学生児童調査…問 27〕

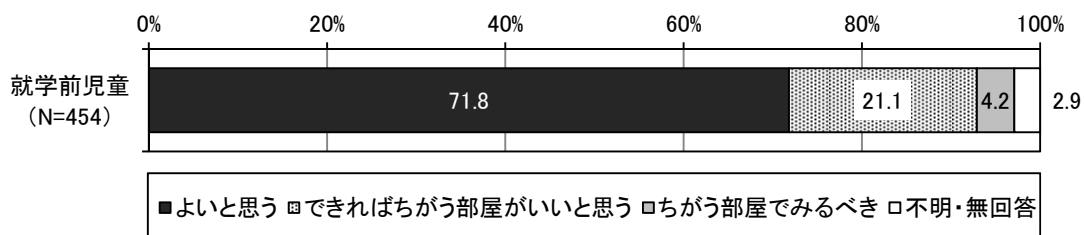
放課後児童クラブはどの程度の定員で運営するのがよいと思いますかについてみると、「21～30人」が37.0%と最も高く、次いで「11～20人」が32.8%、「31人以上」が15.2%となっています。



(14) 放課後児童クラブで1～6年生が同じ部屋で過ごすことをどう思いますか

〈単数回答〉〔小学生児童調査…問 28〕

放課後児童クラブで1～6年生が同じ部屋で過ごすことをどう思いますかについてみると、「よいと思う」が71.8%と最も高く、次いで「できればちがう部屋がいいと思う」が21.1%、「ちがう部屋でみるべき」が4.2%となっています。



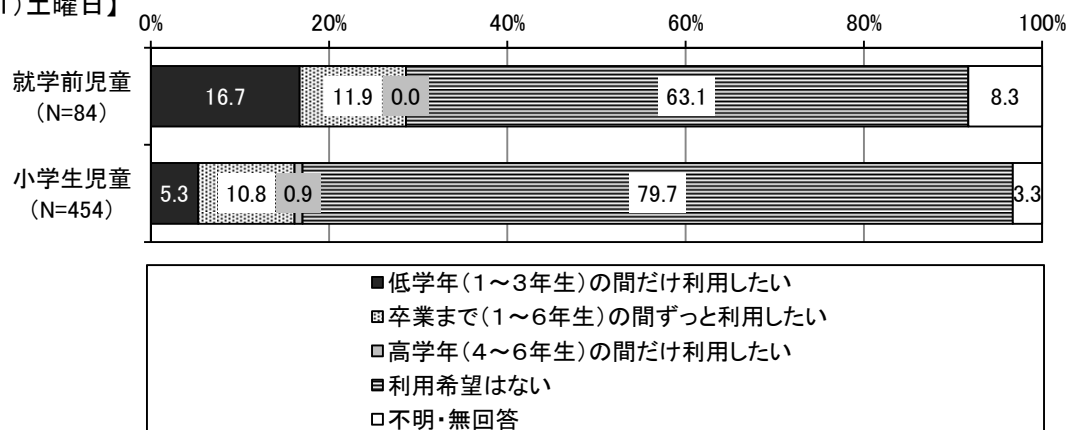
(15) 土曜日や日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 31(1)(2)・小学生児童調査…問 29(1)(2)〕

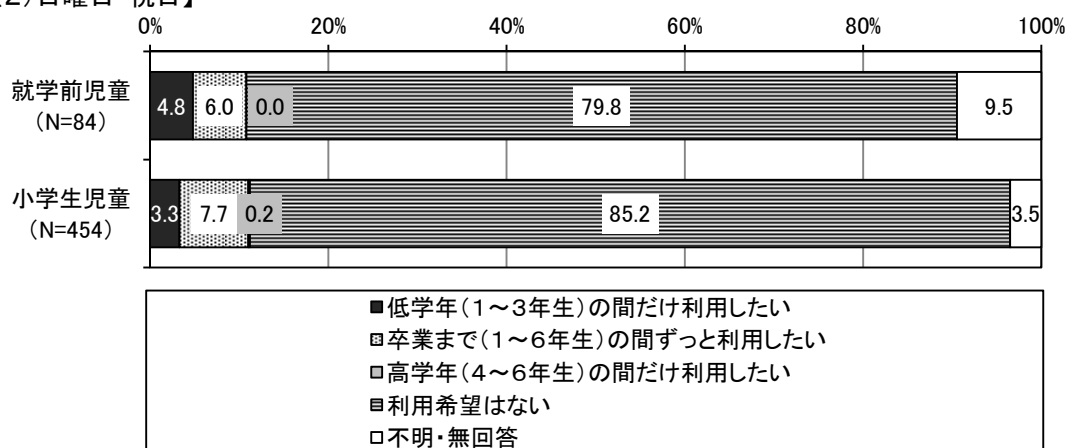
土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望についてみると、土曜日では、就学前児童・小学生児童ともに、「利用希望はない」がそれぞれ 63.1%、79.7%と最も高く、次いで就学前児童で「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」が 16.7%、小学生児童で「卒業まで（1～6年生）の間ずっと利用したい」が 10.8%となっています。日曜日・祝日では、就学前児童・小学生児童ともに、「利用希望はない」がそれぞれ 79.8%、85.2%と最も高く、次いで就学前児童・小学生児童ともに、「卒業まで（1～6年生）の間ずっと利用したい」がそれぞれ 6.0%、7.7%となっています。

利用開始時間では、就学前児童・小学生児童ともに、土曜日、日曜日・休日で「8時」の割合がそれぞれ最も高くなっています。また、終了時間では、就学前児童・小学生児童ともに、土曜日、日曜日・休日で「18時」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

【(1) 土曜日】



【(2) 日曜日・祝日】



◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

【(1)土曜日】 開始時間	就学前児童 (N=24)		小学生児童 (N=77)	
	件数	%	件数	%
6時以前	1	4.2	0	0.0
7時	1	4.2	8	10.4
8時	11	45.8	31	40.3
9時	8	33.3	31	40.3
10時	1	4.2	4	5.2
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時	0	0.0	0	0.0
14時以降	1	4.2	1	1.3
不明・無回答	1	4.2	2	2.6

【(1)土曜日】 終了時間	就学前児童 (N=24)		小学生児童 (N=77)	
	件数	%	件数	%
12時以前	0	0.0	3	3.9
13時	0	0.0	2	2.6
14時	2	8.3	0	0.0
15時	4	16.7	6	7.8
16時	3	12.5	10	13.0
17時	2	8.3	22	28.6
18時	10	41.7	26	33.8
19時	3	12.5	5	6.5
20時以降	0	0.0	1	1.3
不明・無回答	0	0.0	2	2.6

【(2)日曜日・ 祝日】 開始時間	就学前児童 (N=9)		小学生児童 (N=51)	
	件数	%	件数	%
6時以前	1	11.1	0	0.0
7時	0	0.0	8	15.7
8時	4	44.4	21	41.2
9時	3	33.3	16	31.4
10時	1	11.1	2	3.9
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時	0	0.0	1	2.0
14時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	3	5.9

【(2)日曜日・ 祝日】 終了時間	就学前児童 (N=9)		小学生児童 (N=51)	
	件数	%	件数	%
12時以前	0	0.0	2	3.9
13時	0	0.0	1	2.0
14時	0	0.0	0	0.0
15時	1	11.1	1	2.0
16時	0	0.0	8	15.7
17時	2	22.2	14	27.5
18時	4	44.4	18	35.3
19時	2	22.2	3	5.9
20時以降	0	0.0	1	2.0
不明・無回答	0	0.0	3	5.9

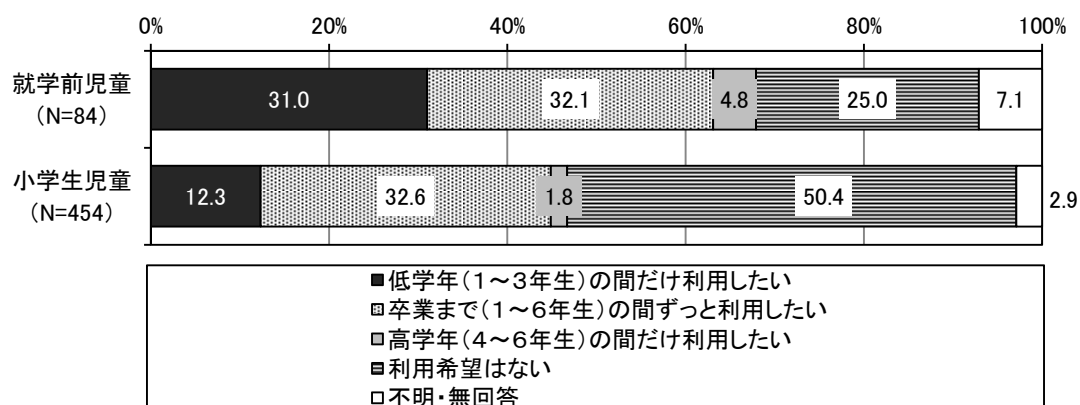
(16) 夏休み・冬休み等の長期の休暇期間の放課後児童クラブの利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 32・小学生児童調査…問 30〕

夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望についてみると、就学前児童では「卒業まで（１～６年生）の間ずっと利用したい」が 32.1%、小学生児童で「利用希望はない」が 50.4%と最も高く、次いで就学前児童では「低学年（１～３年生）の間だけ利用したい」が 31.0%、小学生児童で「卒業まで（１～６年生）の間ずっと利用したい」が 32.6%となっています。

利用開始時間では、就学前児童・小学生児童ともに、「８時」の割合がそれぞれ最も高くなっています。また、終了時間では、就学前児童・小学生児童ともに、「１８時」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

【夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間】



◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

【夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間】 開始時間	就学前児童 (N=57)		小学生児童 (N=212)	
	件数	%	件数	%
6時以前	1	1.8	0	0.0
7時	4	7.0	25	11.8
8時	25	43.9	106	50.0
9時	24	42.1	66	31.1
10時	1	1.8	5	2.4
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	1	0.5
13時	0	0.0	1	0.5
14時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	3.5	8	3.8

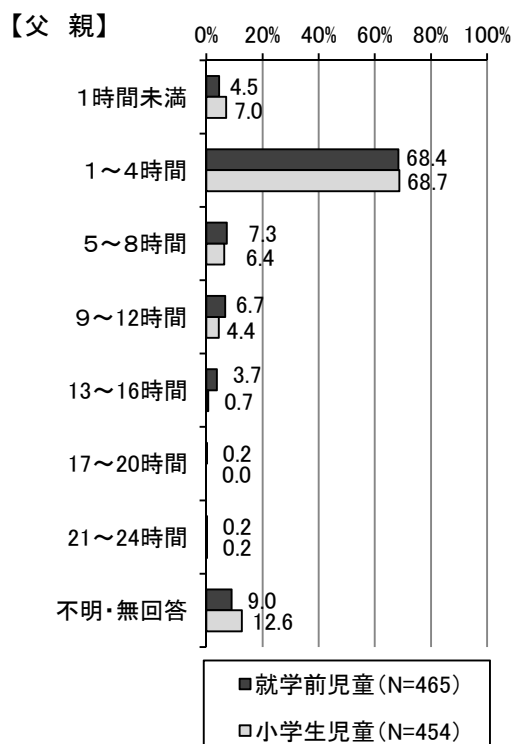
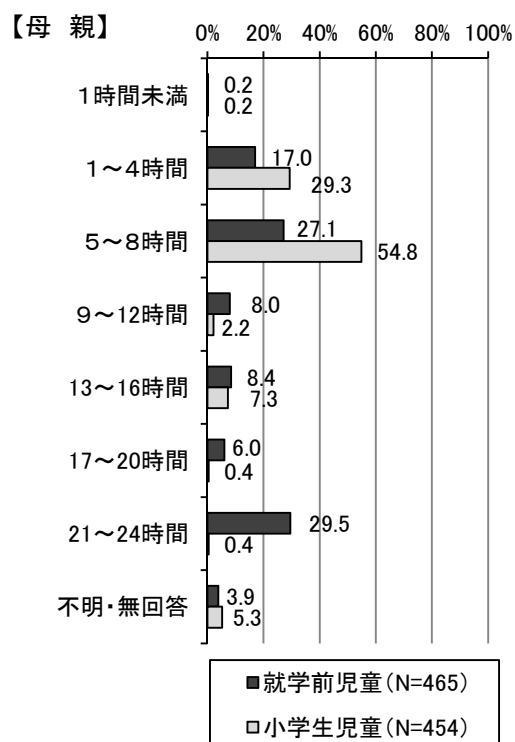
【夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間】 終了時間	就学前児童 (N=57)		小学生児童 (N=212)	
	件数	%	件数	%
12時以前	0	0.0	5	2.4
13時	2	3.5	1	0.5
14時	0	0.0	6	2.8
15時	5	8.8	19	9.0
16時	9	15.8	19	9.0
17時	12	21.1	59	27.8
18時	21	36.8	74	34.9
19時	7	12.3	21	9.9
20時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	1.8	8	3.8

11 育児休業や短時間勤務制度など子育てと仕事の両立支援について

(1) 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間〈数量回答〉

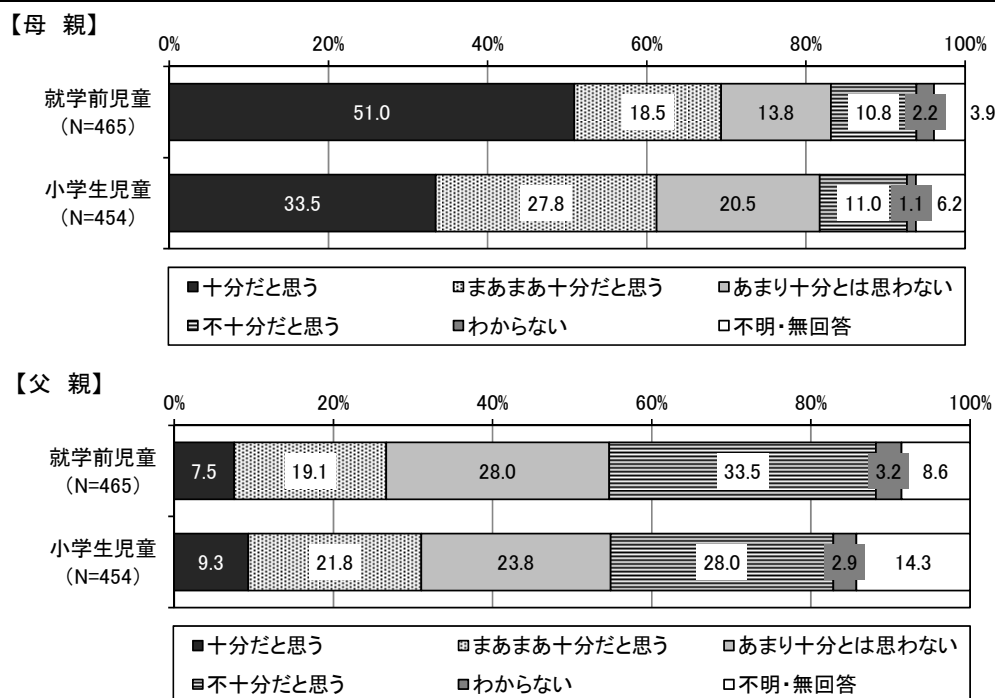
〔就学前児童調査…問 33・小学生児童調査…問 31〕

1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間についてみると、母親では就学前児童で「21～24時間」が29.5%、小学生児童で「5～8時間」が54.8%、父親では就学前児童・小学生児童ともに「1～4時間」が68.4%、68.7%と最も高くなっています。



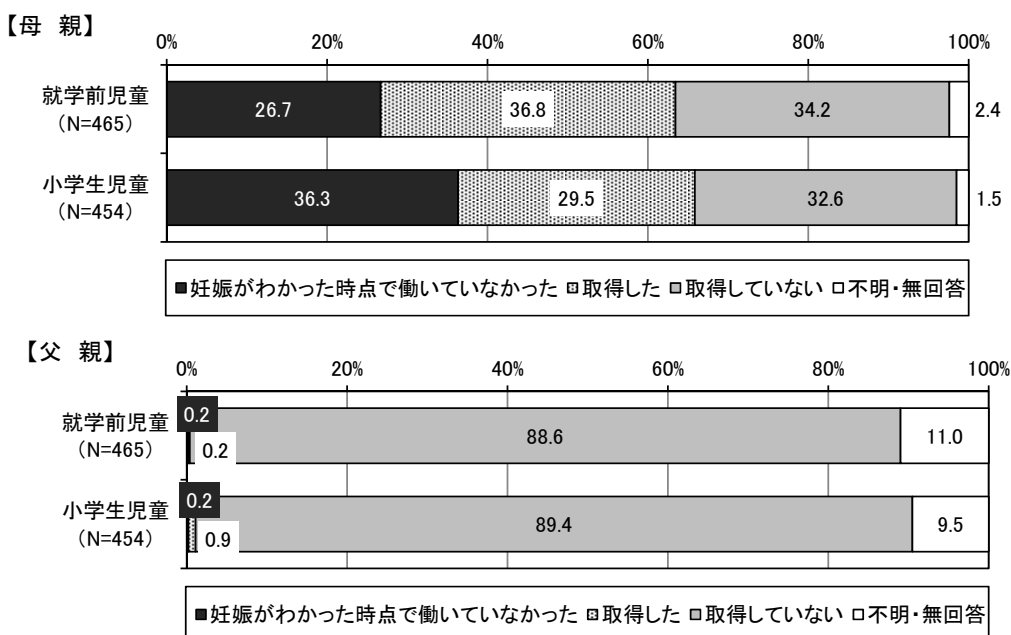
◎その時間は十分だと思うか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 33・小学生児童調査…問 31〕

その時間は十分だと思うかについては、母親では、就学前児童・小学生児童ともに「十分だと思う」がそれぞれ51.0%、33.5%、父親では、就学前児童・小学生児童ともに「不十分だと思う」がそれぞれ33.5%、28.0%と最も高くなっています。



（２）子どもが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか 〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 34・小学生児童調査…問 32〕

育児休業を取得の有無についてみると、母親では、就学前児童で「取得した」が36.8%、小学生児童で「妊娠がわかった時点で働いていなかった」が36.3%、父親では、就学前児童・小学生児童ともに「取得していない」がそれぞれ88.6%、89.4%と最も高くなっています。



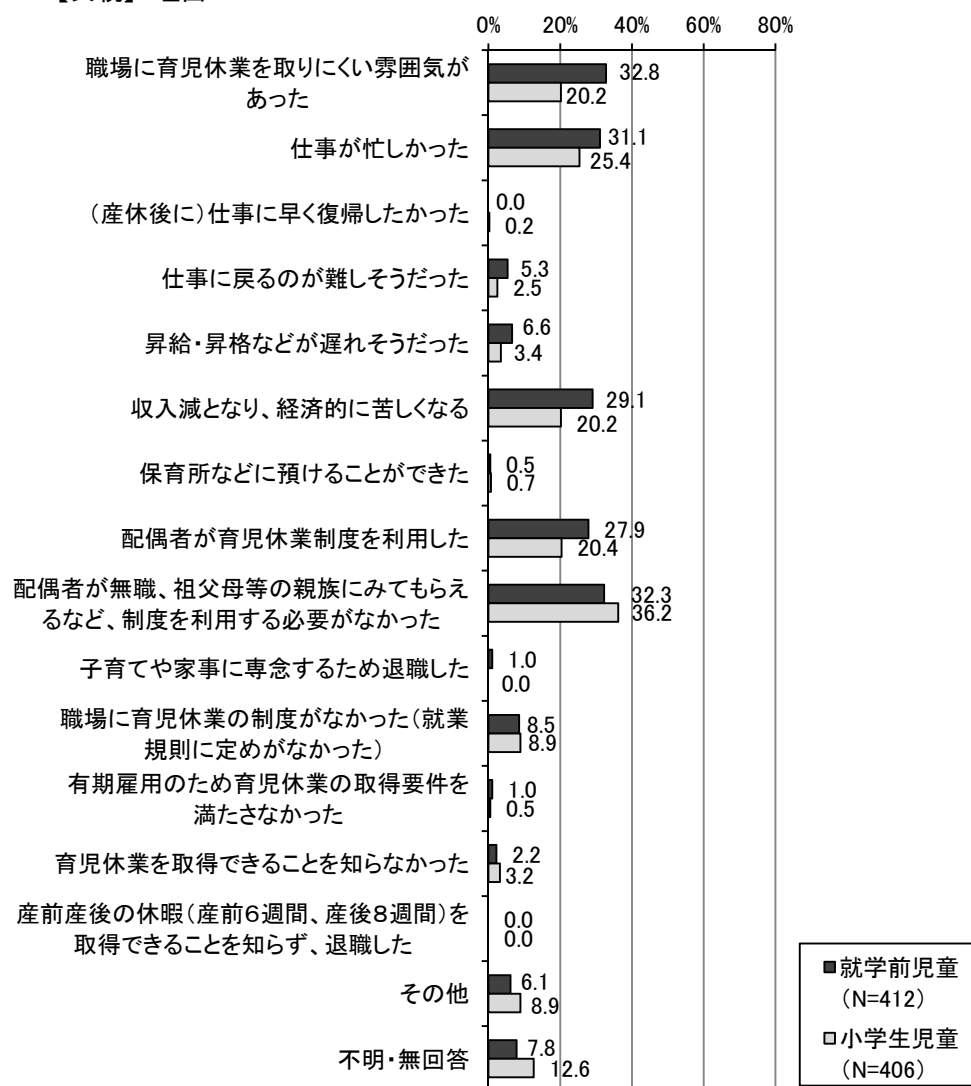
◎取得していない理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 34・小学生児童調査…問 32〕

取得していない理由についてみると、母親では、就学前児童・小学生児童ともに「子育てや家事に専念するため退職した」がそれぞれ 53.5%、50.0%、父親では、就学前児童で「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 32.8%、小学生児童で「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 36.2%と最も高くなっています。

【母親】理由



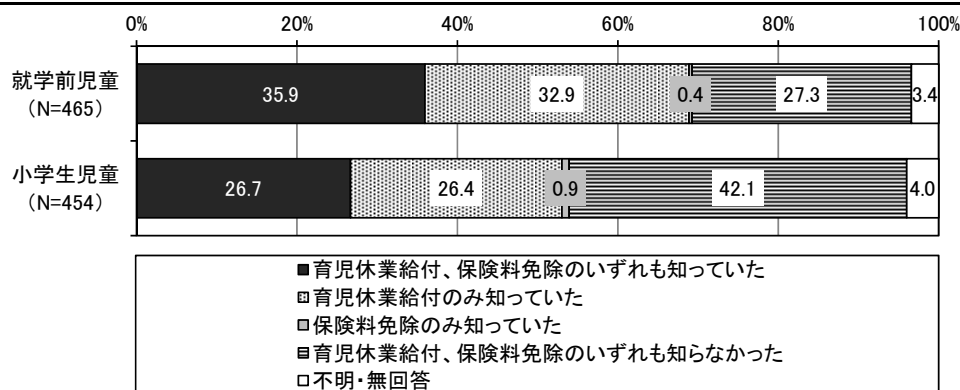
【父親】理由



（２）－１ 育児休業給付・健康保険及び厚生年金保険の保険料免除の仕組みの認知度

〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 34-1・小学生児童調査…問 32-1〕

保険料が免除になる仕組みの認知度についてみると、就学前児童で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 35.9%、小学生児童で「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 42.1%、次いで、就学前児童が「育児休業給付のみ知っていた」が 32.9%、小学生児童が「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が 26.7%となっています。



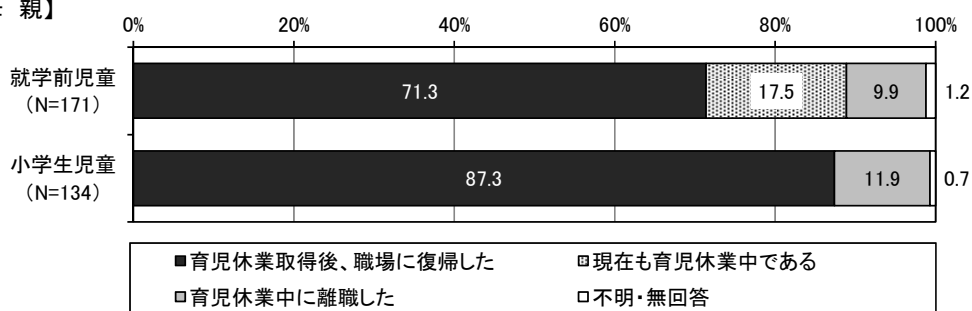
（２）で「取得した（取得中である）」を選ばれた方

（２）－２ 育児休業取得後、職場復帰の有無〈単数回答〉

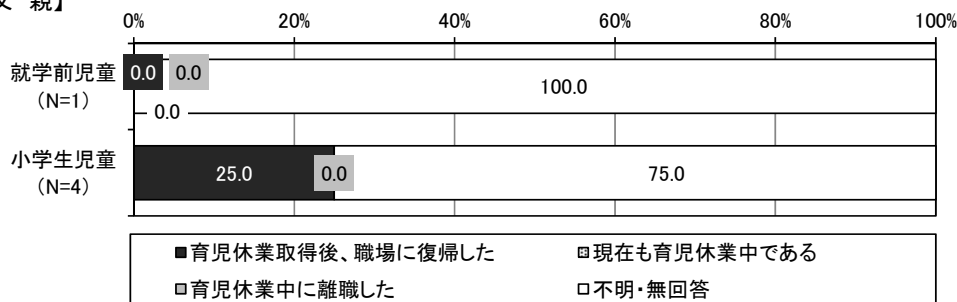
〔就学前児童調査…問 34-2・小学生児童調査…問 32-2〕

育児休業取得後、職場復帰の有無についてみると、母親では、就学前児童・小学生児童ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」がそれぞれ 71.3%、87.3%、父親では、小学生児童で「育児休業取得後、職場に復帰した」が 25.0%と最も高くなっています。父親の就学前児童では「不明・無回答」が 1 名となっています。

【母親】



【父親】



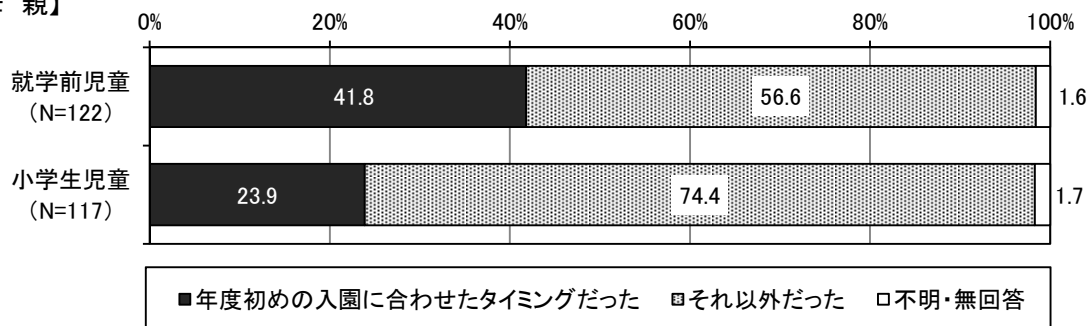
* 「現在も育児休業中である」の項目は就学前児童のみ

(2) - 2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方

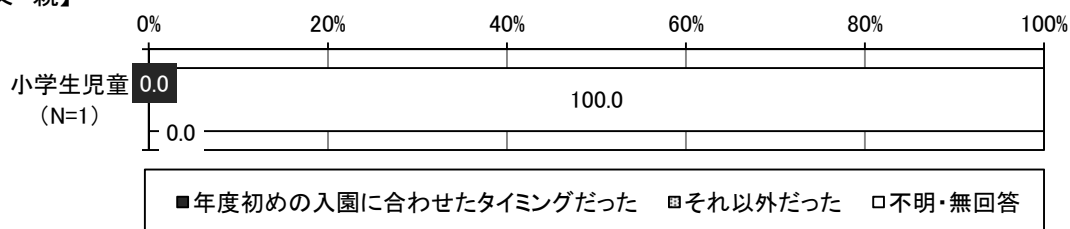
(2) - 3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 34-3・小学生児童調査…問 32-3〕

育児休業から職場に復帰したタイミングについてみると、母親では、就学前児童・小学生児童ともに「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」がそれぞれ 41.8%、23.9%、「それ以外だった」がそれぞれ 56.6%、74.4%となっています。父親では、就学前児童で「回答者なし」、小学生児童で「不明・無回答」が1名となっています。

【母 親】



【父 親】



* 就学前児童の父親は回答者なし

(2) - 2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方

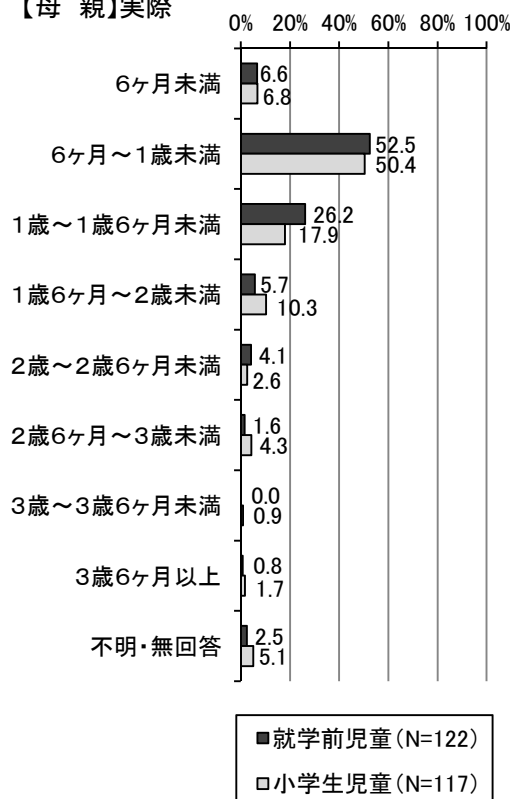
(2) - 4 実際の取得期間及び希望の取得期間〈数量回答〉

〔就学前児童調査…問 34-4・小学生児童調査…問 32-4〕

実際の取得期間についてみると、母親では、就学前児童・小学生児童ともに「6ヶ月～1歳未満」がそれぞれ 52.5%、50.4%と最も高くなっています。父親では、就学前児童で「回答者なし」、小学生児童で「不明・無回答」が1名となっています。

【実際】

【母親】実際

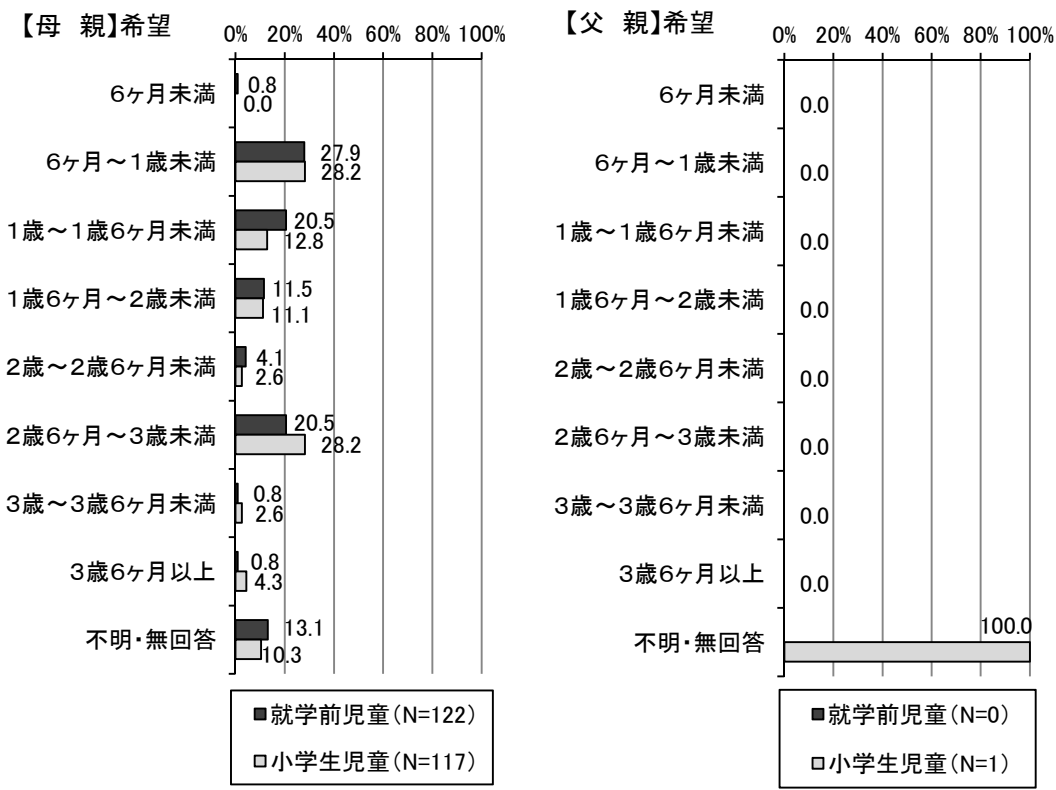


【父親】実際



希望の取得期間についてみると、母親では、就学前児童で「6ヶ月～1歳未満」が27.9%、小学生児童で「6ヶ月～1歳未満」、「2歳6ヶ月～3歳未満」が同率で28.2%と最も高くなっています。父親では、就学前児童で「回答者なし」、小学生児童で「不明・無回答」が1名となっています。

【希望】



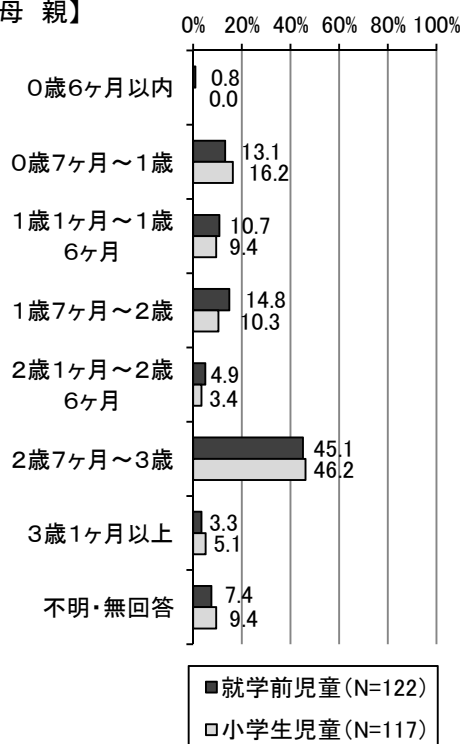
(2) - 2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方

(2) - 5 3歳まで休暇を取得できる制度があれば希望として取りたかった月齢

〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 34-5・小学生児童調査…問 32-5〕

希望として取りたかった月齢についてみると、母親では、就学前児童・小学生児童ともに「2歳7ヶ月～3歳」がそれぞれ45.1%、46.2%が最も高くなっています。父親では、就学前児童で「回答者なし」、小学生児童で「不明・無回答」が1名となっています。

【母親】



【父親】



(2) - 4で実際の復帰と異なる方

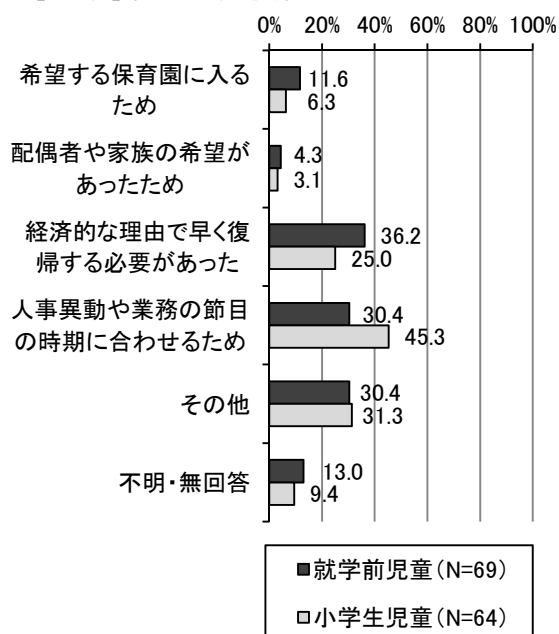
(2) - 6 希望の時期に職場復帰しなかった理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 34-6・小学生児童調査…問 32-6〕

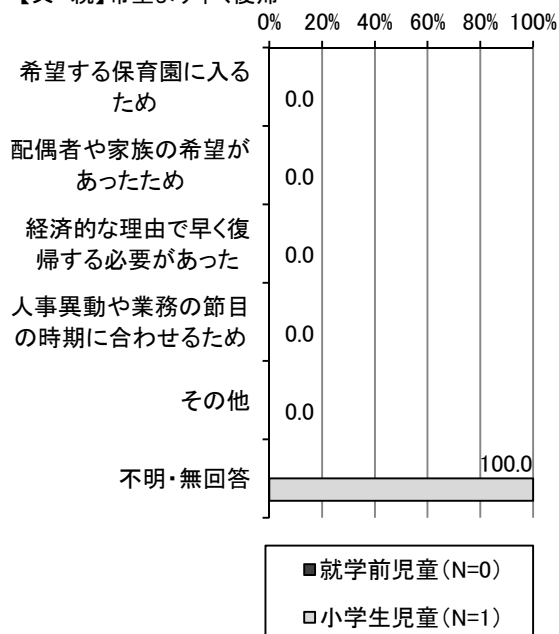
希望の時期に職場復帰しなかった理由で「希望」より早く復帰した方についてみると、母親では、就学前児童で「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が36.2%、小学生児童で「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が45.3%と最も高くなっています。父親では、就学前児童で「回答者なし」、小学生児童で「不明・無回答」が1名となっています。

①「希望」より早く復帰した方

【母親】希望より早く復帰



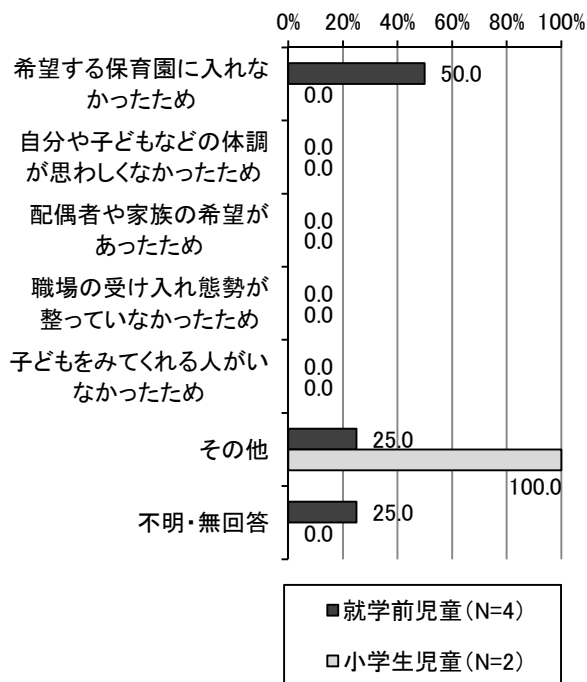
【父親】希望より早く復帰



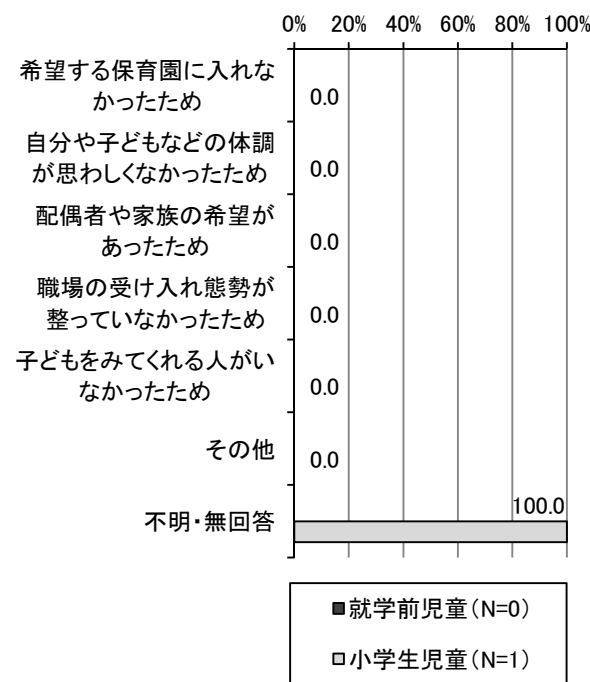
希望の時期に職場復帰しなかった理由で「希望」より遅く復帰した方についてみると、母親では、就学前児童で「希望する保育園に入れなかったため」が50.0%、小学生児童で「その他」が100.0%と高くなっています。父親では、就学前児童で「回答者なし」、小学生児童で「不明・無回答」が1名となっています。

②「希望」より遅く復帰した方

【母 親】希望より遅く復帰



【父 親】希望より遅く復帰



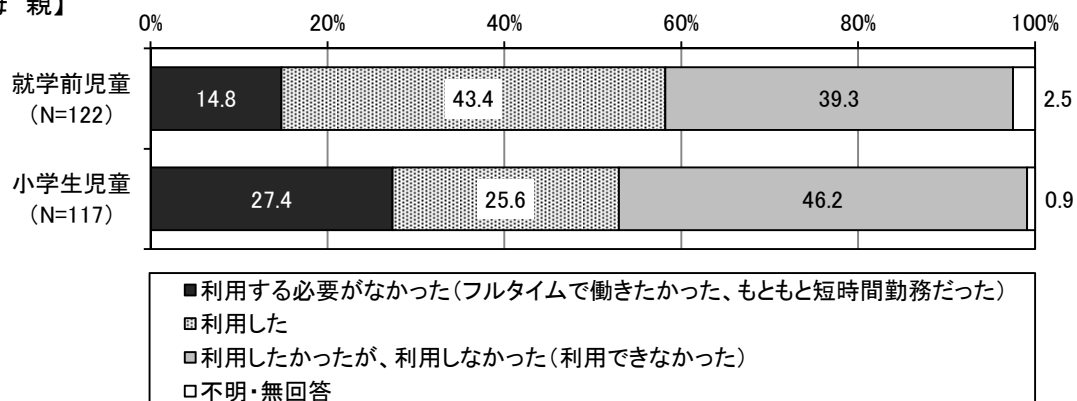
(2) - 2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選ばれた方

(2) - 7 育児休業からの職場復帰時、短時間勤務制度の利用の有無〈単数回答〉

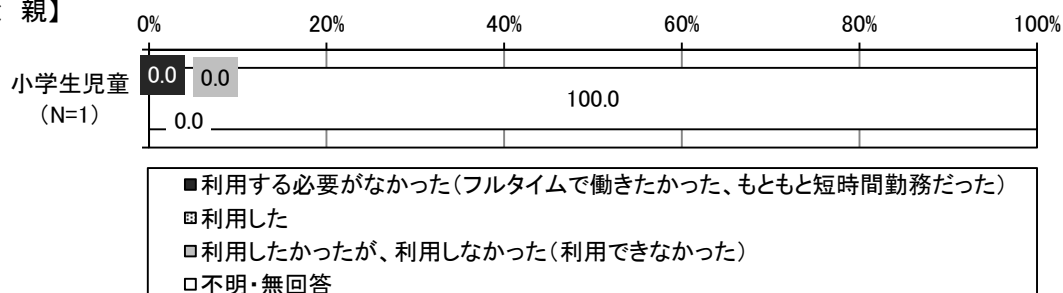
〔就学前児童調査…問 34-7・小学生児童調査…問 32-7〕

育児休業からの職場復帰時、短時間勤務制度の利用の有無についてみると、母親では、就学前児童で「利用した」が43.4%、小学生児童で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が46.2%と最も高くなっています。父親では、就学前児童で「回答者なし」、小学生児童で「不明・無回答」が1名となっています。

【母親】



【父親】



* 就学前児童の父親は回答者なし

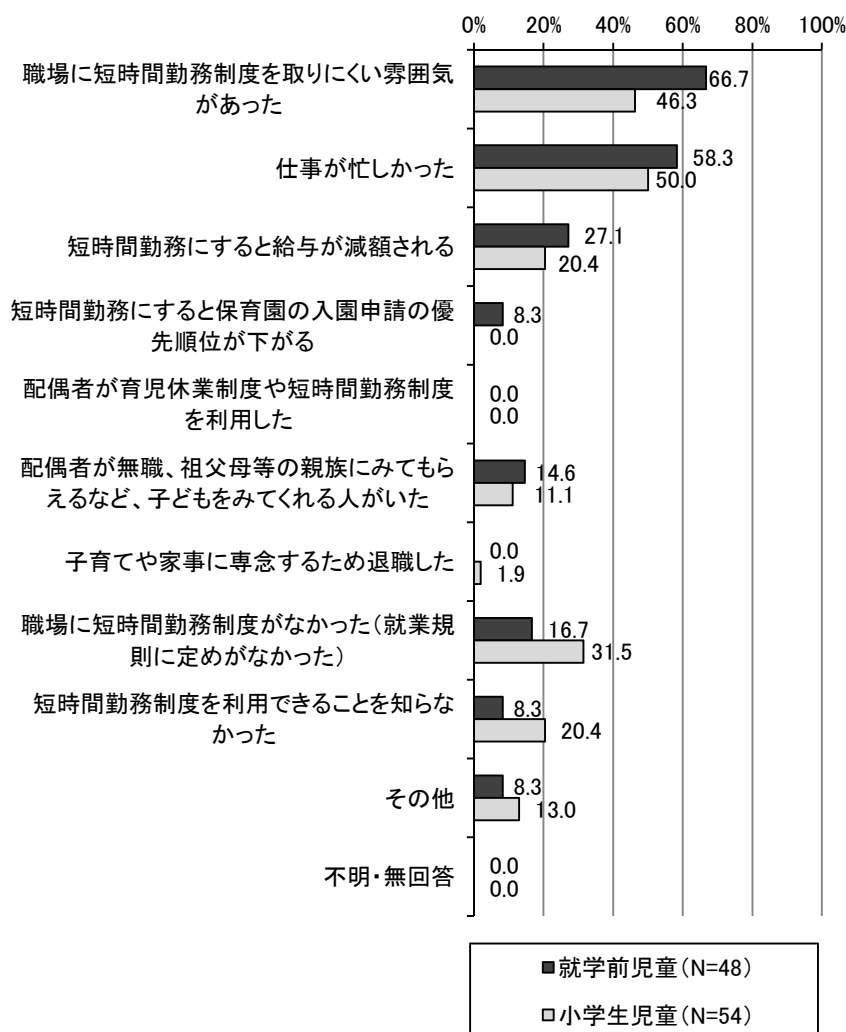
(2)－7で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」を選ばれた方

(2)－8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由〈複数回答〉

[就学前児童調査…問 34-8・小学生児童調査…問 32-8]

短時間勤務制度を利用しなかった理由についてみると、母親では、就学前児童で「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 66.7%、小学生児童で「仕事が忙しかった」が 50.0%と最も高くなっています。父親では、就学前児童・小学生児童ともに「回答者なし」となっています。

【母親】理由



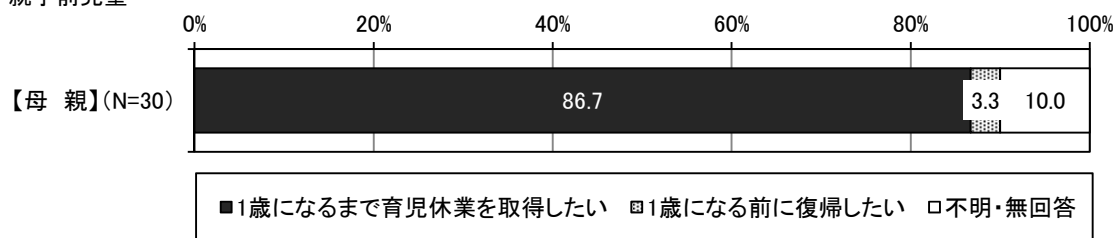
* 父親は、就学前児童、小学生児童ともに回答者なし

(2)－2で「現在も育児休業中である」を選ばれた方

(2)－9 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業(保育園など)があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 34-9〕

子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、利用できる事業があっても1歳になる前に復帰しますかについてみると、母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が86.7%、「1歳になる前に復帰したい」が3.3%となっています。父親では、「回答者なし」となっています。

就学前児童



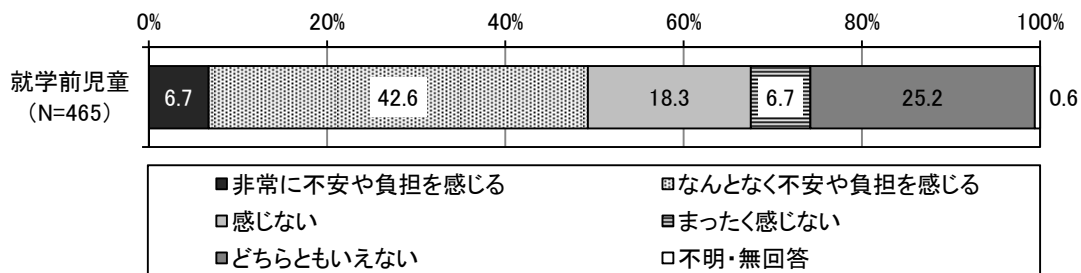
* 就学前児童の父親は回答者なし

12 地域の子育て支援や甲賀市の子育て支援サービスについて

（１）子育てに関して不安や負担に感じること〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 35〕

子育てに関して不安や負担についてみると、「なんとなく不安や負担を感じる」が42.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.2%、「感じない」が18.3%となっています。

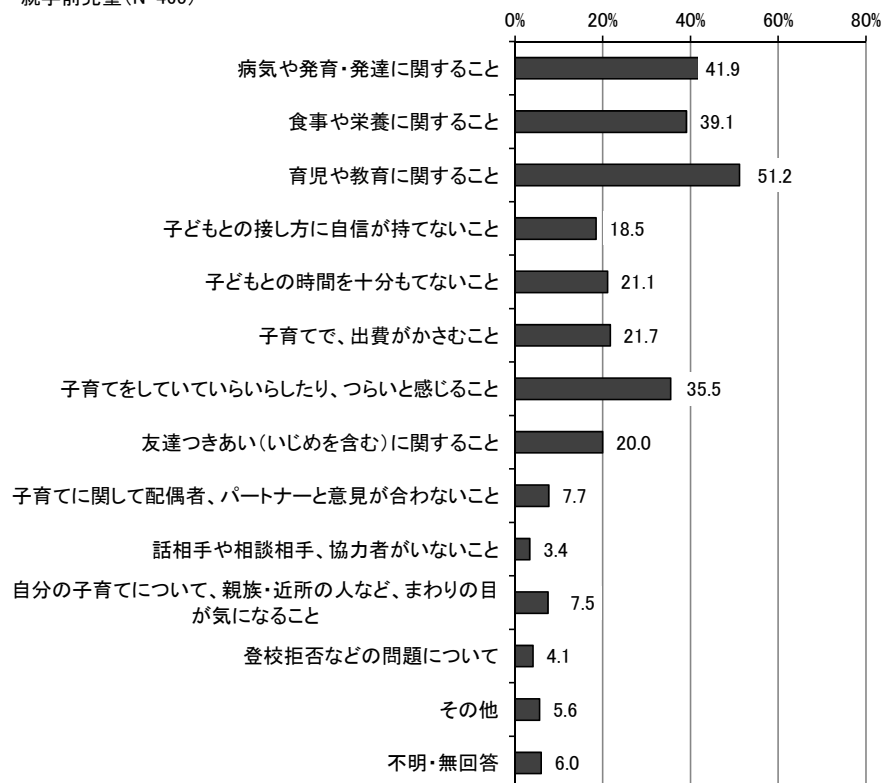


（２）子育てや教育に関して、日ごろ悩んでいること、または気になること〈複数回答〉

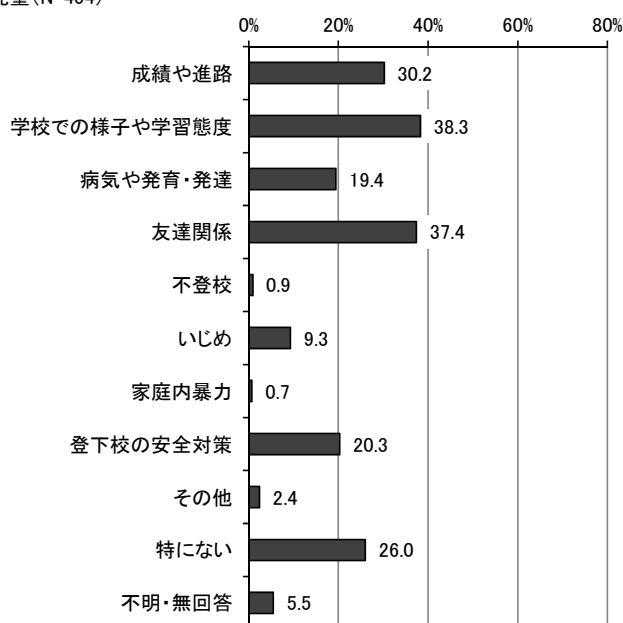
〔就学前児童調査…問 36・小学生児童調査…問 36〕

子育てや教育に関して、日ごろ悩んでいること、または気になることについてみると、就学前児童で「育児や教育に関すること」が 51.2%、小学生児童で「学校での様子や学習態度」が 38.3%と最も高く、次いで、就学前児童で「病気や発育・発達に関すること」が 41.9%、小学生児童で「友達関係」が 37.4%となっています。

就学前児童 (N=465)



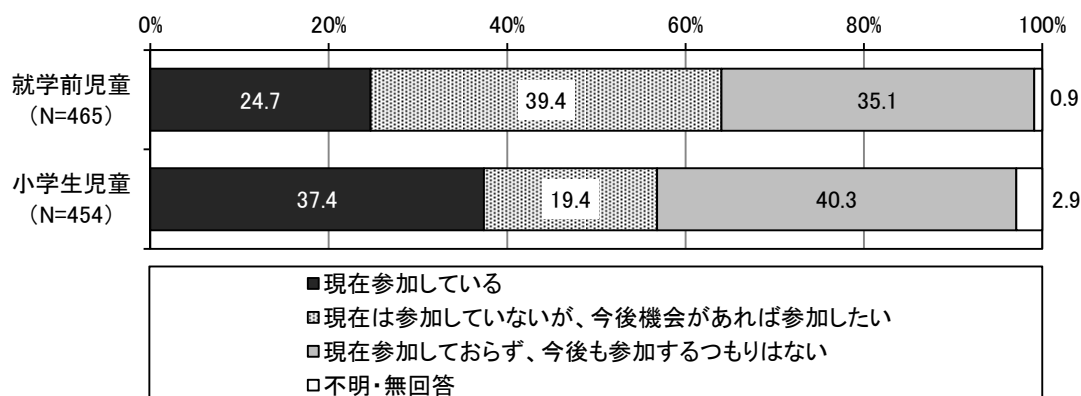
小学生児童 (N=454)



（３）子育てや教育に関するサークルなど、子どもに関する地域の活動に参加の有無

〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 37・小学生児童調査…問 33〕

子育てや教育に関するサークルなど、子どもに関する地域の活動に参加の有無についてみると、就学前児童で「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 39.4%、小学生児童で「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が 40.3%と最も高く、次いで、就学前児童で「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が 35.1%、小学生児童で「現在参加している」37.4%となっています。

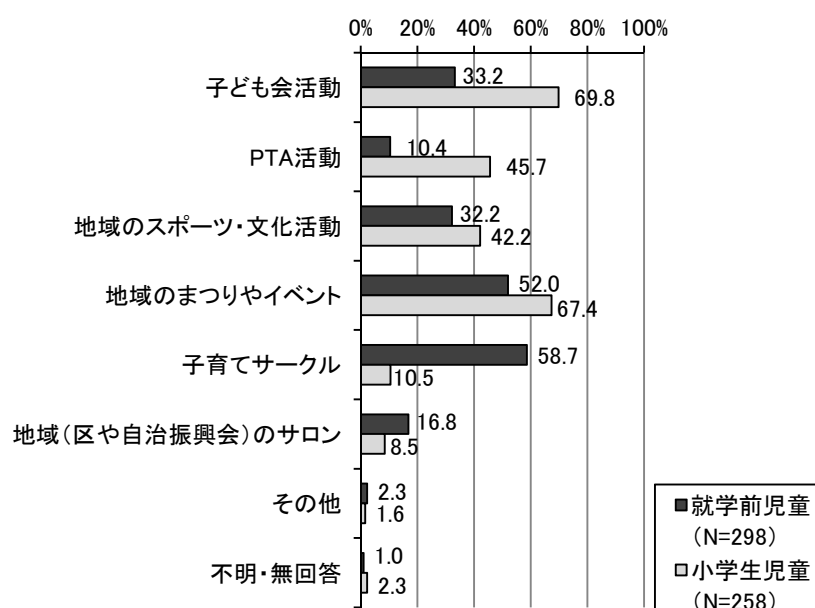


（３）で「現在参加している」または「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」を選ばれた方

（３）－１ どのような活動に参加していますか、また参加したいですか〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 37-1・小学生児童調査…問 33-1〕

どのような活動に参加していますか、また参加したいですかについてみると、就学前児童で「子育てサークル」が 58.7%、小学生児童で「子ども会活動」が 69.8%と最も高く、次いで、就学前児童・小学生児童ともに「地域のまつりやイベント」がそれぞれ 52.0%、67.4%となっています。

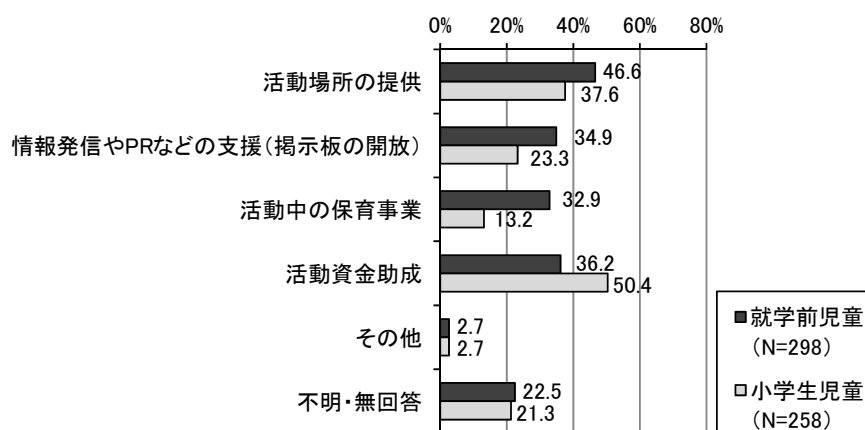


(3)で「現在参加している」または「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」を選ばれた方

(3)－2 活動を進めていく上で、行政に行ってほしい支援〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 37-2・小学生児童調査…問 33-2〕

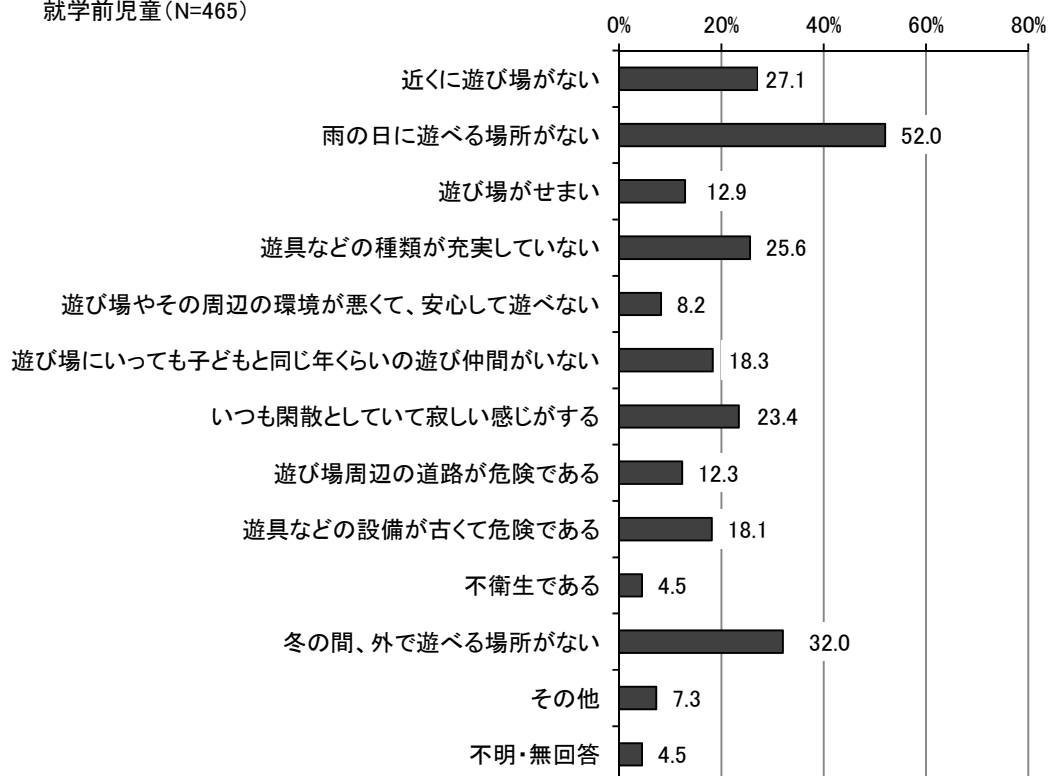
活動を進めていく上で、行政に行ってほしい支援についてみると、就学前児童で「活動場所の提供」が46.6%、小学生児童で「活動資金助成」が50.4%と最も高く、次いで、就学前児童で「活動資金助成」が36.2%、小学生児童で「活動場所の提供」が37.6%となっています。



(4) 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場について、感じていることはありますか〈3つ回答〉〔就学前児童調査…問 38〕

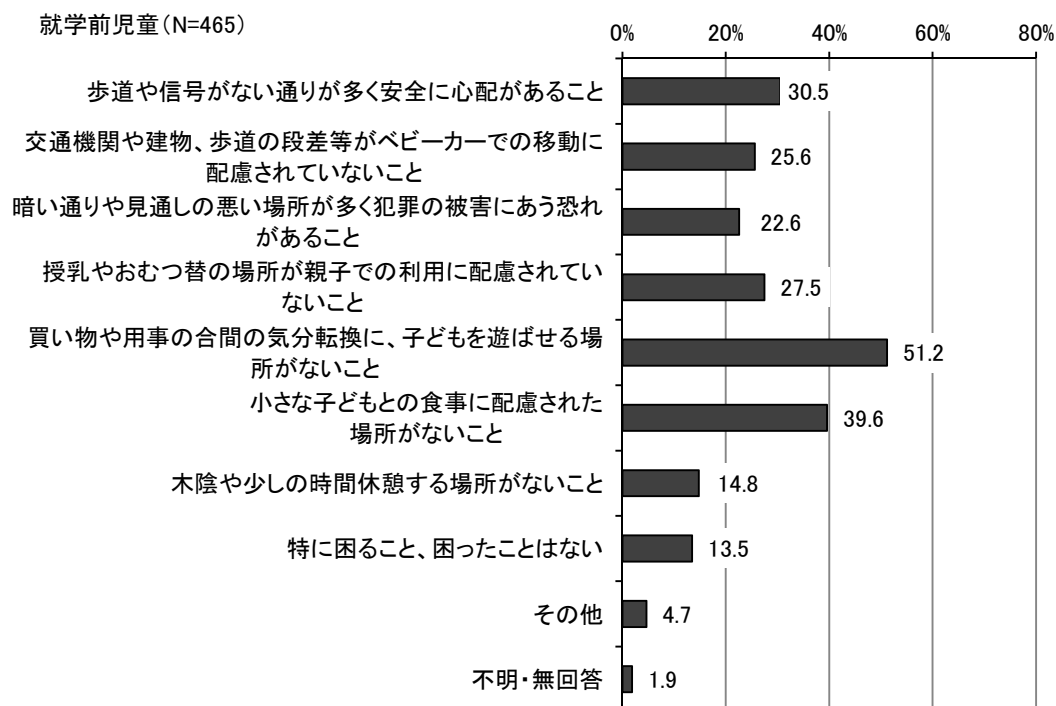
身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場について、感じていることはありますかについてみると、「雨の日に遊べる場所がない」が52.0%と最も高く、次いで「冬の間、外で遊べる場所がない」が32.0%、「近くに遊び場がない」が27.1%となっています。

就学前児童 (N=465)



（５）市内で子どもと外出の際に困ること、困ったこと〈３つ回答〉〔就学前児童調査…問 39〕

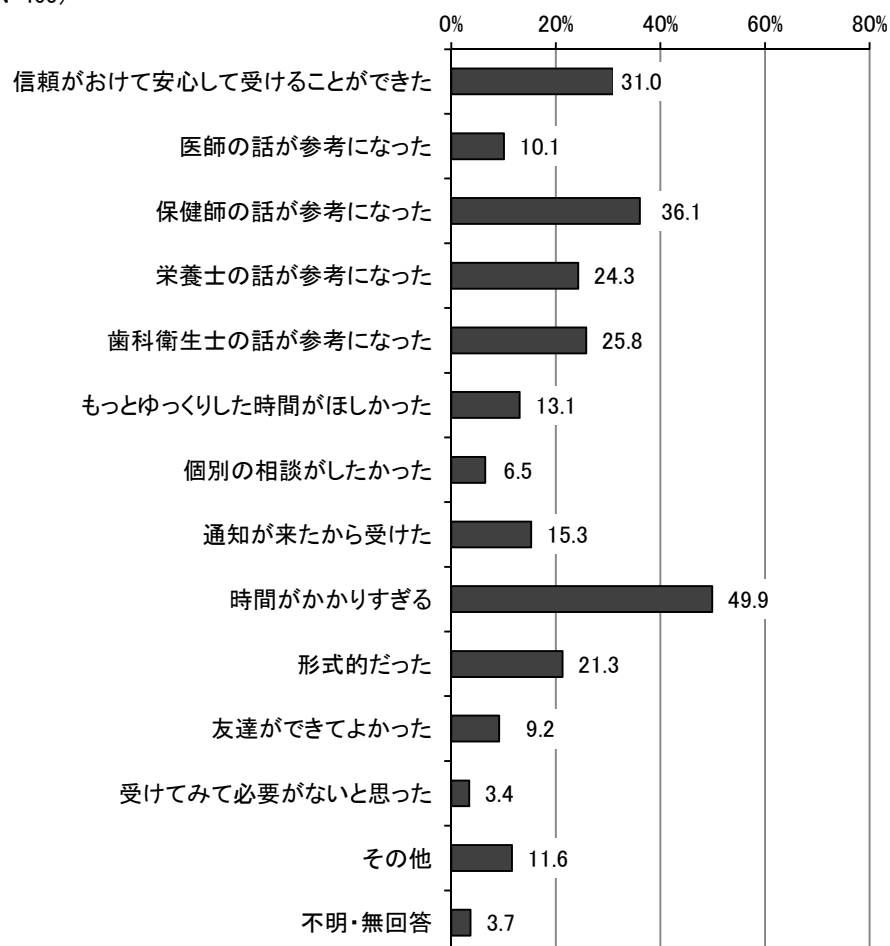
市内で子どもと外出の際に困ること、困ったことについてみると、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が 51.2%と最も高く、次いで「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」が 39.6%、「歩道や信号がない通りが多く安全に心配があること」が 30.5%となっています。



（６）乳幼児健診を受けた感想〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 40〕

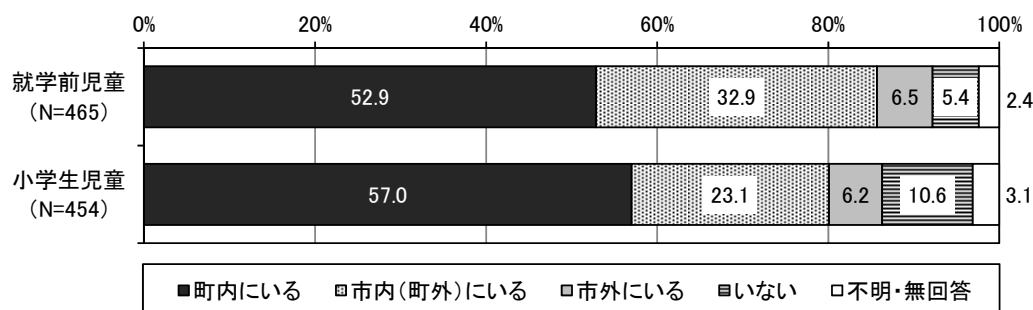
乳幼児健診を受けた感想についてみると、「時間がかかりすぎる」が49.9%と最も高く、次いで「保健師の話が参考になった」が36.1%、「信頼がおけて安心して受けることができた」が31.0%となっています。

就学前児童(N=465)



（７）かかりつけ医の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 41・小学生児童調査…問 34〕

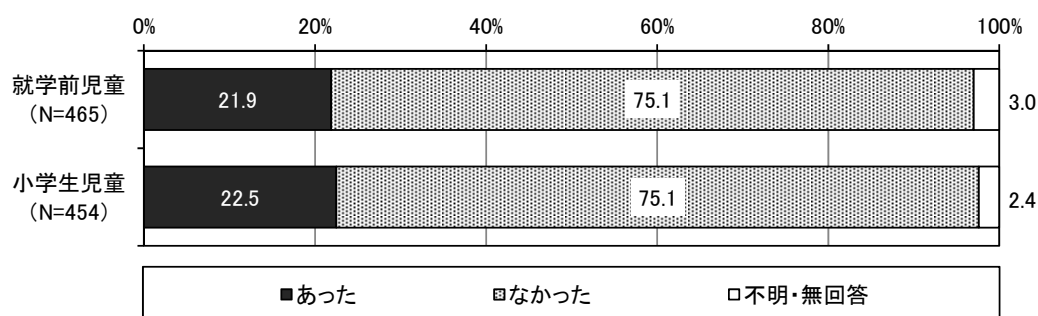
かかりつけ医の有無についてみると、就学前児童・小学生児童ともに「町内にいる」がそれぞれ 52.9%、57.0%と最も高く、次いで、就学前児童・小学生児童ともに「市内（町外）にいる」がそれぞれ 32.9%、23.1%となっています。



（８）高熱を出すなど急病の場合、すぐに見てもらえる医療機関が見つからず困ったこと

〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 42・小学生児童調査…問 35〕

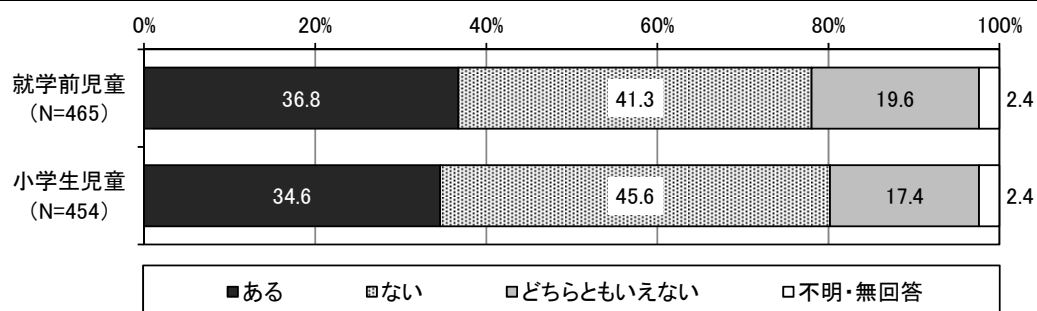
高熱を出すなど急病の場合、すぐに見てもらえる医療機関が見つからず困ったことについてみると、就学前児童・小学生児童ともに「あった」がそれぞれ 21.9%、22.5%、就学前児童・小学生児童ともに「なかった」がそれぞれ 75.1%、75.1%となっています。



（９）しつけのためにお子さんをたたくことはありますか〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 43・小学生児童調査…問 37〕

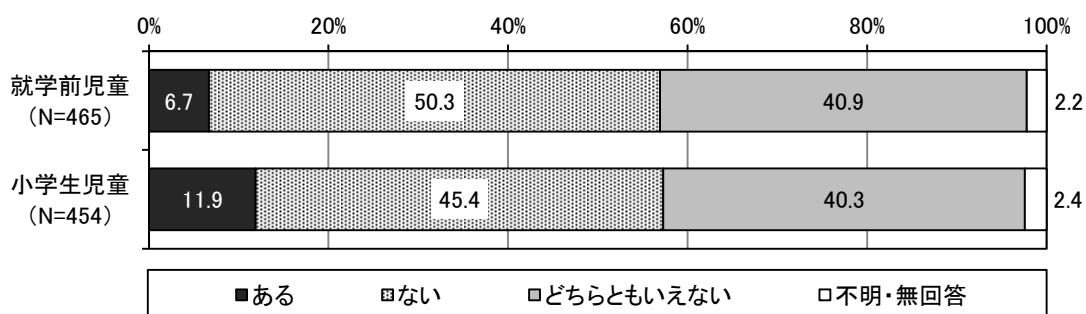
しつけのためにお子さんをたたくことはありますかについてみると、就学前児童・小学生児童ともに「ない」がそれぞれ 41.3%、45.6%と最も高く、次いで、就学前児童・小学生児童ともに「ある」がそれぞれ 36.8%、34.6%となっています。



（10）しつけのために体罰が必要だと思いますか 〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 44・小学生児童調査…問 38〕

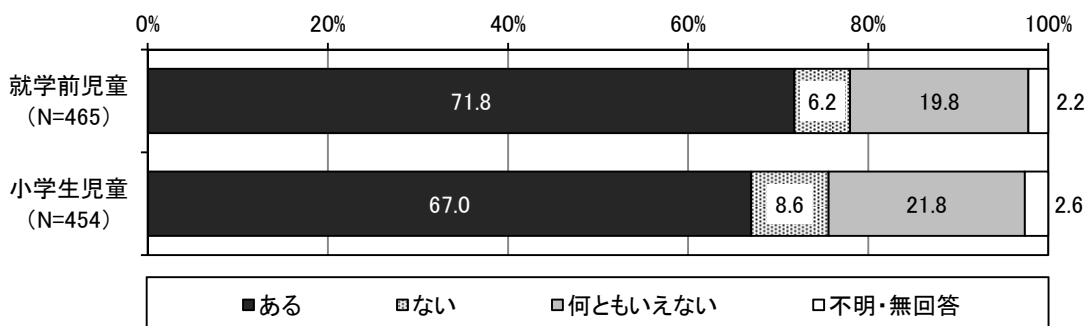
しつけのために体罰が必要だと思いますかについてみると、就学前児童・小学生児童ともに「ない」がそれぞれ 50.3%、45.4%と最も高く、次いで、就学前児童・小学生児童ともに「どちらともいえない」がそれぞれ 40.9%、40.3%となっています。



（11）ゆっくりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか 〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 45・小学生児童調査…問 39〕

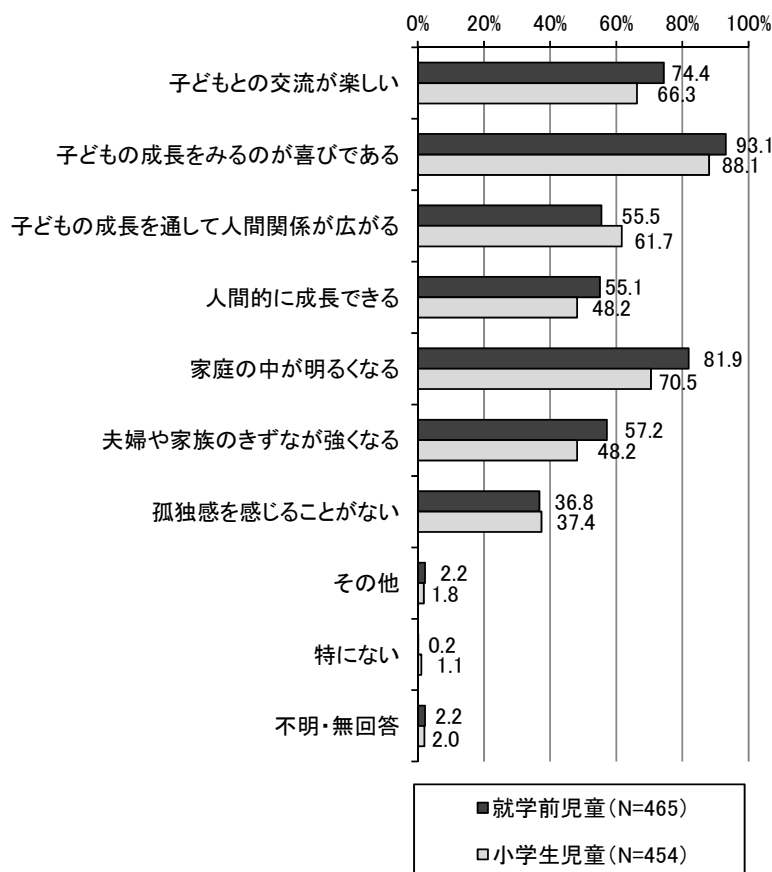
ゆっくりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますかについてみると、就学前児童・小学生児童ともに「ある」がそれぞれ 71.8%、67.0%と最も高く、次いで、就学前児童・小学生児童ともに「何ともいえない」がそれぞれ 19.8%、21.8%となっています。



（12）子育てをしていて良かったことや喜びを感じたこと〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 46・小学生児童調査…問 40〕

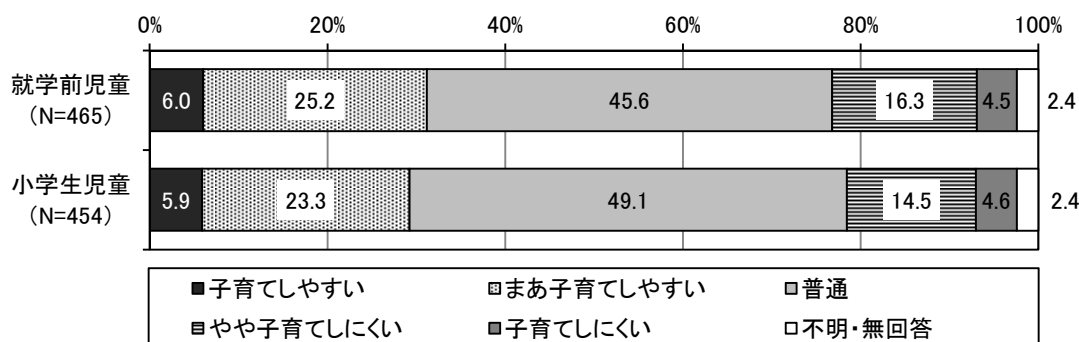
子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことについてみると、就学前児童・小学生児童ともに「子どもの成長をみるのが喜びである」がそれぞれ 93.1%、88.1%と最も高く、次いで、就学前児童・小学生児童ともに「家庭の中が明るくなる」がそれぞれ 81.9%、70.5%となっています。



（13）甲賀市は子育てしやすいと思いますか〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 47・小学生児童調査…問 41〕

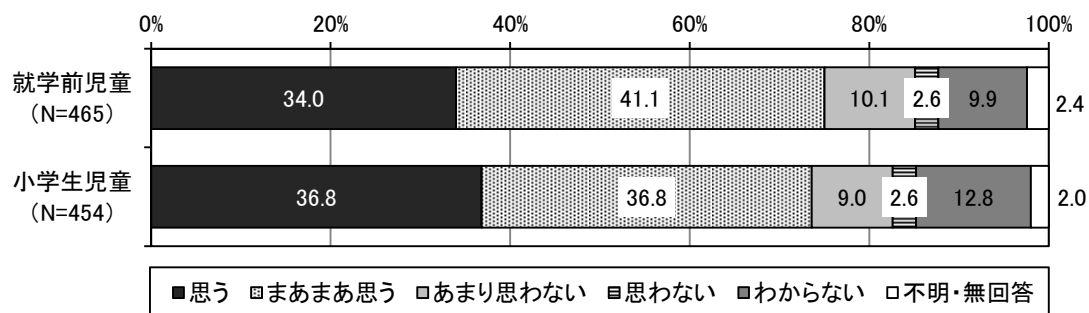
甲賀市は子育てしやすいと思いますかについてみると、就学前児童・小学生児童ともに「普通」がそれぞれ 45.6%、49.1%と最も高く、次いで、就学前児童・小学生児童ともに「まあ子育てしやすい」がそれぞれ 25.2%、23.3%となっています。



(14) 甲賀市に住み続けたいと思いますか〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 48・小学生児童調査…問 42〕

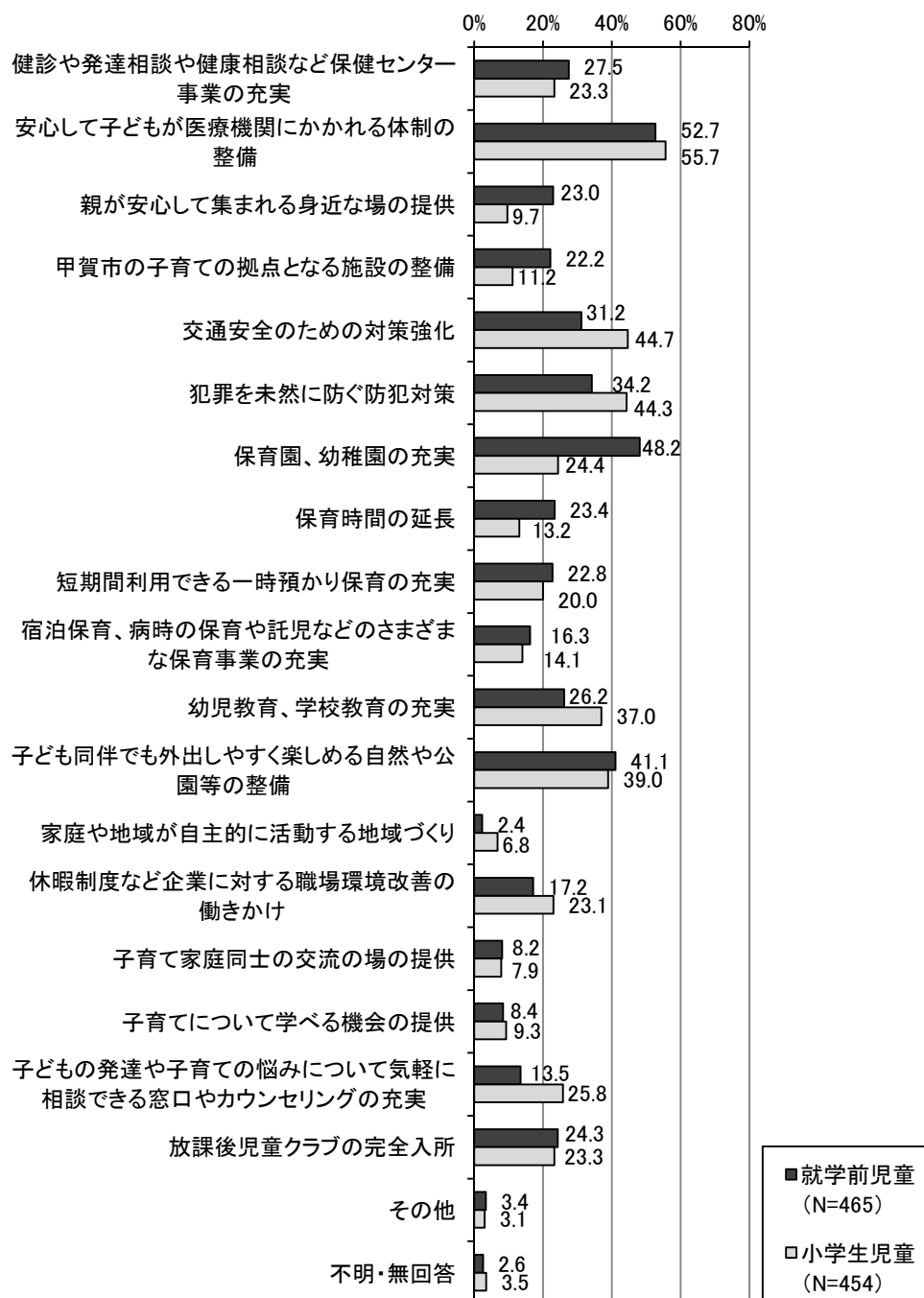
甲賀市に住み続けたいと思いますかについてみると、就学前児童で「まあまあ思う」が 41.1%、小学生児童で「思う」、「まあまあ思う」が同率で 36.8%と最も高く、次いで、就学前児童で「思う」が 34.0%、小学生児童で「わからない」が 12.8%となっています。



(15) 甲賀市の子育て支援において今後重要と思われること〈5つ回答〉

〔就学前児童調査…問 49・小学生児童調査…問 43〕

甲賀市の子育て支援において今後重要と思われることについてみると、就学前児童・小学生児童ともに「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」がそれぞれ 52.7%、55.7%と最も高く、次いで、就学前児童で「保育園、幼稚園の充実」が 48.2%、小学生児童で「交通安全のための対策強化」が 44.7%となっています。

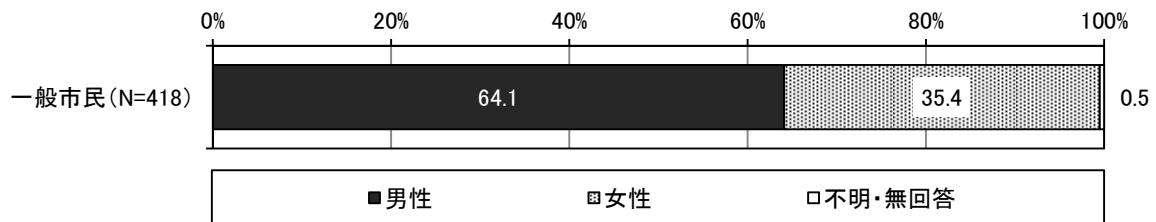


Ⅲ. 調査結果（一般市民アンケート調査）

1 あなたと家族のことについて

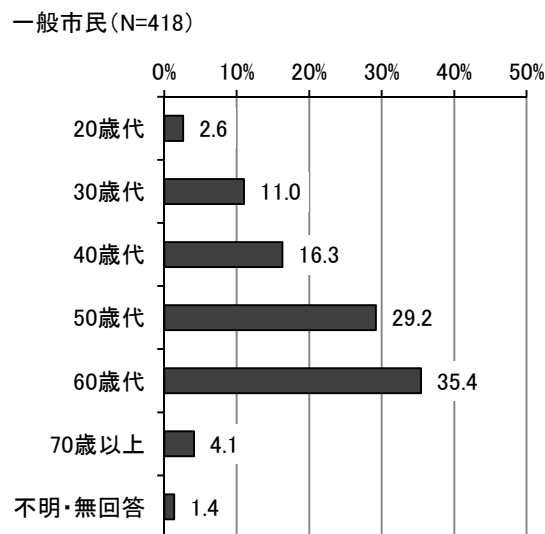
（１）性別〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問１〕

性別についてみると、「男性」が64.1%、「女性」が35.4%となっています。



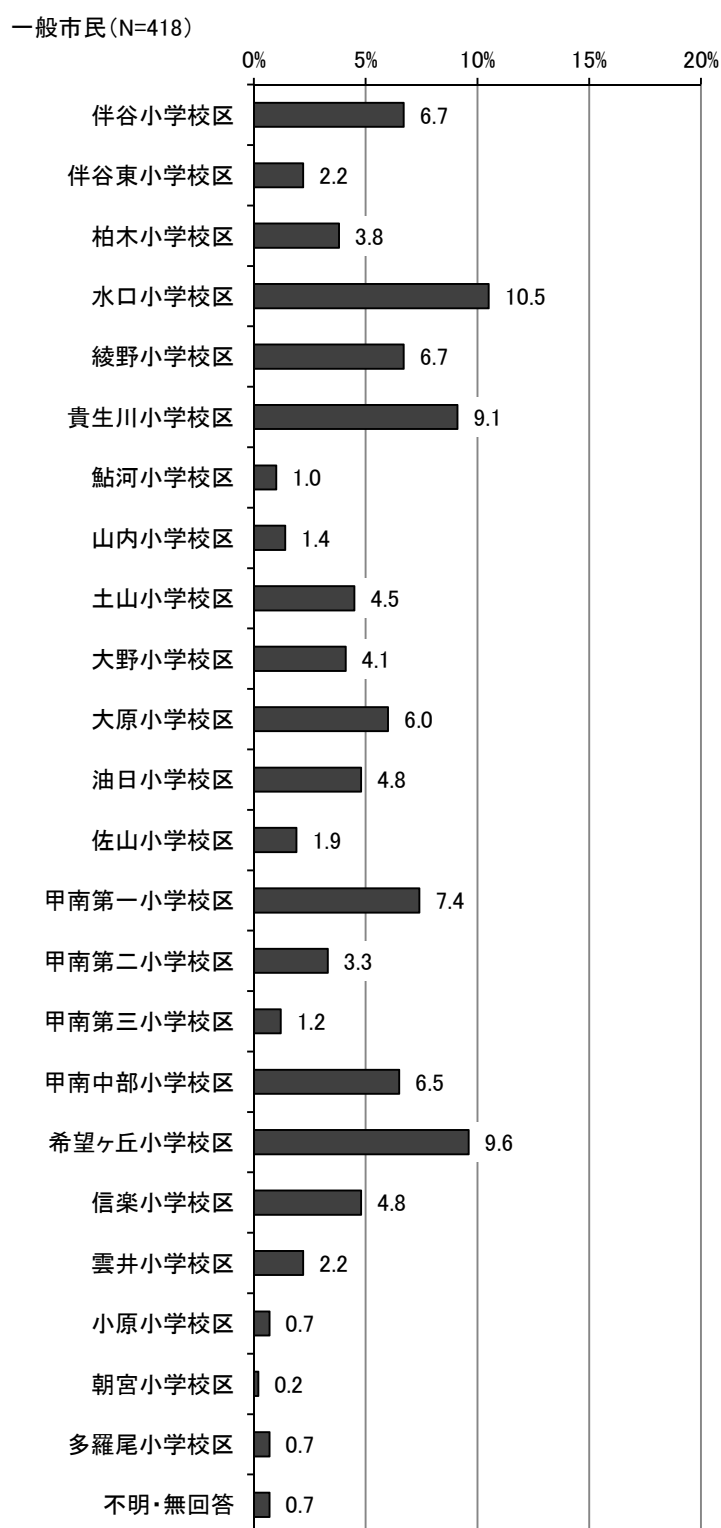
（２）年齢〈数量回答〉〔市民アンケート調査…問１〕

年齢についてみると、「60 歳代」が 35.4%と最も高く、次いで「50 歳代」が 29.2%、「40 歳代」が 16.3%となっています。



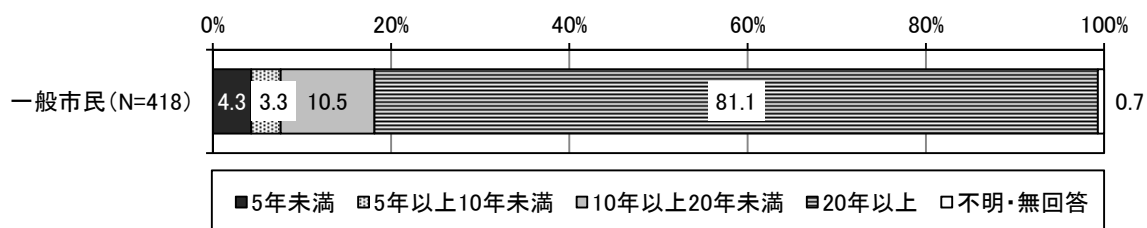
（３）居住学区〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問２〕

居住学区についてみると、「水口小学校区」が10.5%と最も高く、次いで「希望ヶ丘小学校区」が9.6%、「貴生川小学校区」が9.1%となっています。



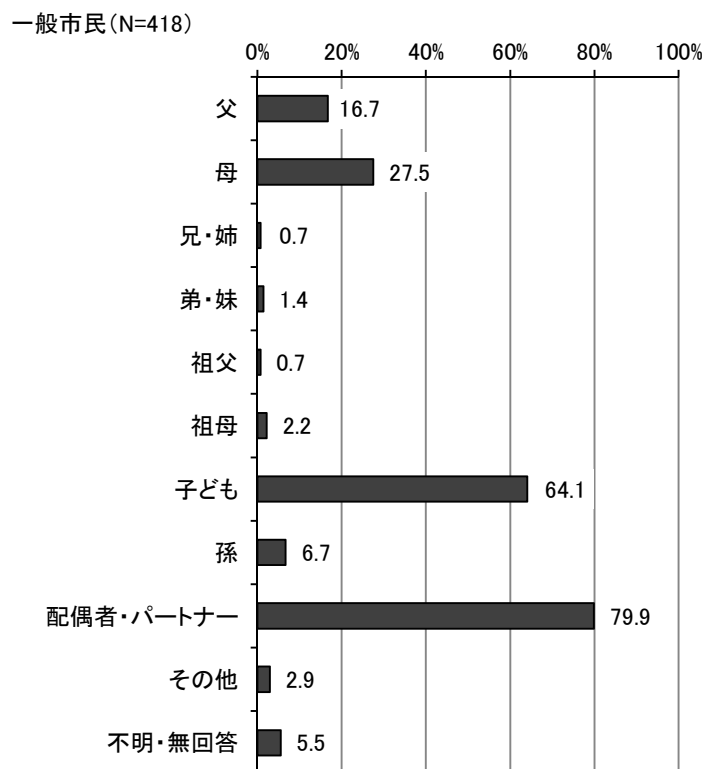
（４）居住年数〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問3〕

居住年数についてみると、「20年以上」が81.1%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が10.5%、「5年未満」が4.3%となっています。



（５）家族構成〈複数回答〉〔市民アンケート調査…問4〕

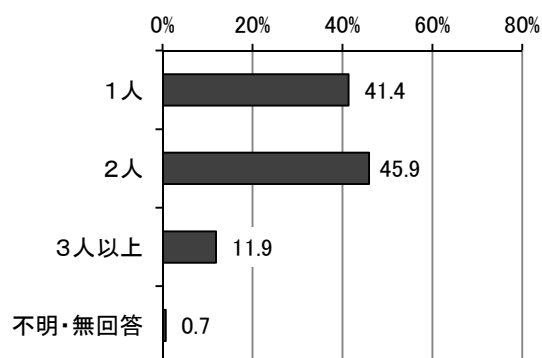
家族構成についてみると、「配偶者・パートナー」が79.9%と最も高く、次いで「子ども」が64.1%、「母」が27.5%となっています。



（５）－１ 子どもの数〈数量回答〉〔市民アンケート調査…問４〕

子どもの数についてみると、「２人」が 45.9%と最も高く、次いで「１人」が 41.4%、「３人以上」が 11.9%となっています。

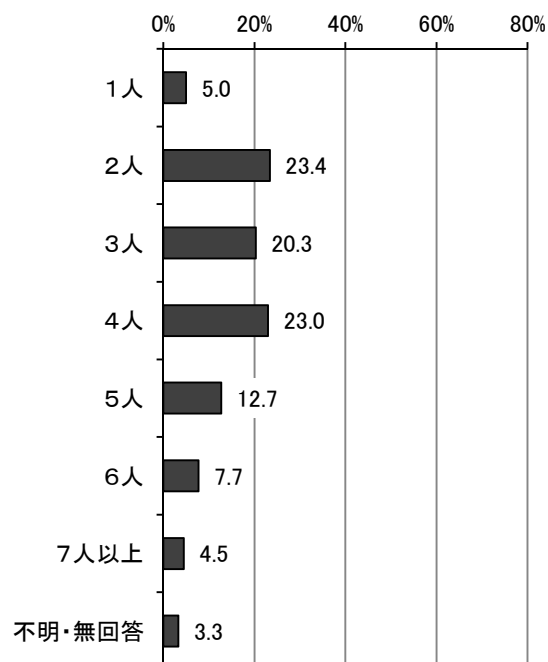
子どもの人数 (N=268)



（５）－２ 家族の人数〈数量回答〉〔市民アンケート調査…問４〕

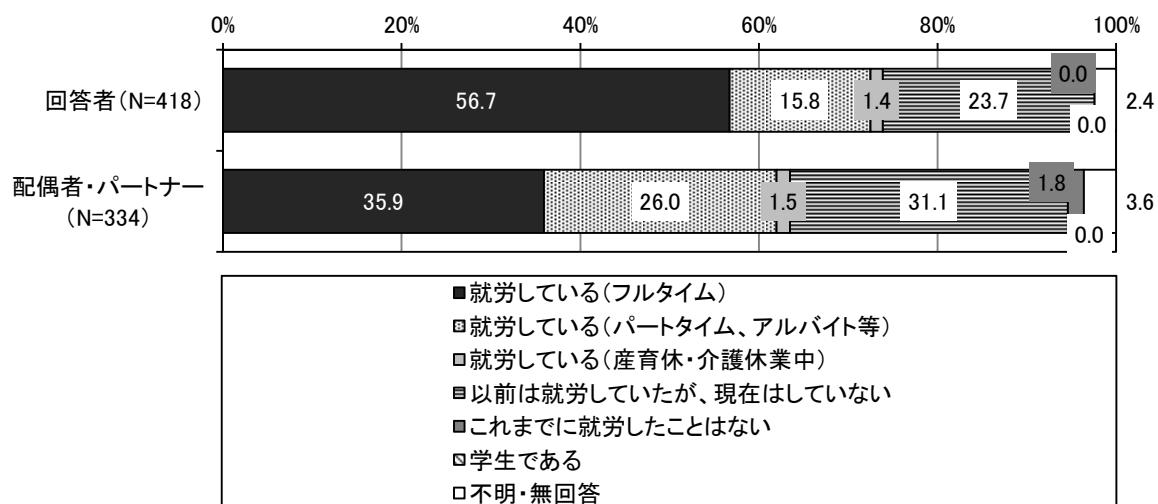
家族の人数についてみると、「２人」が 23.4%と最も高く、次いで「４人」が 23.0%、「３人」が 20.3%となっています。

家族合計数 (N=418)



（６）現在の就労状況〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問5〕

現在の就労状況についてみると、回答者、配偶者・パートナーともに「就労している（フルタイム）」がそれぞれ56.7%、35.9%と最も高く、次いで回答者、配偶者・パートナーともに「以前は就労していたが、現在はしていない」がそれぞれ23.7%、31.1%となっています。

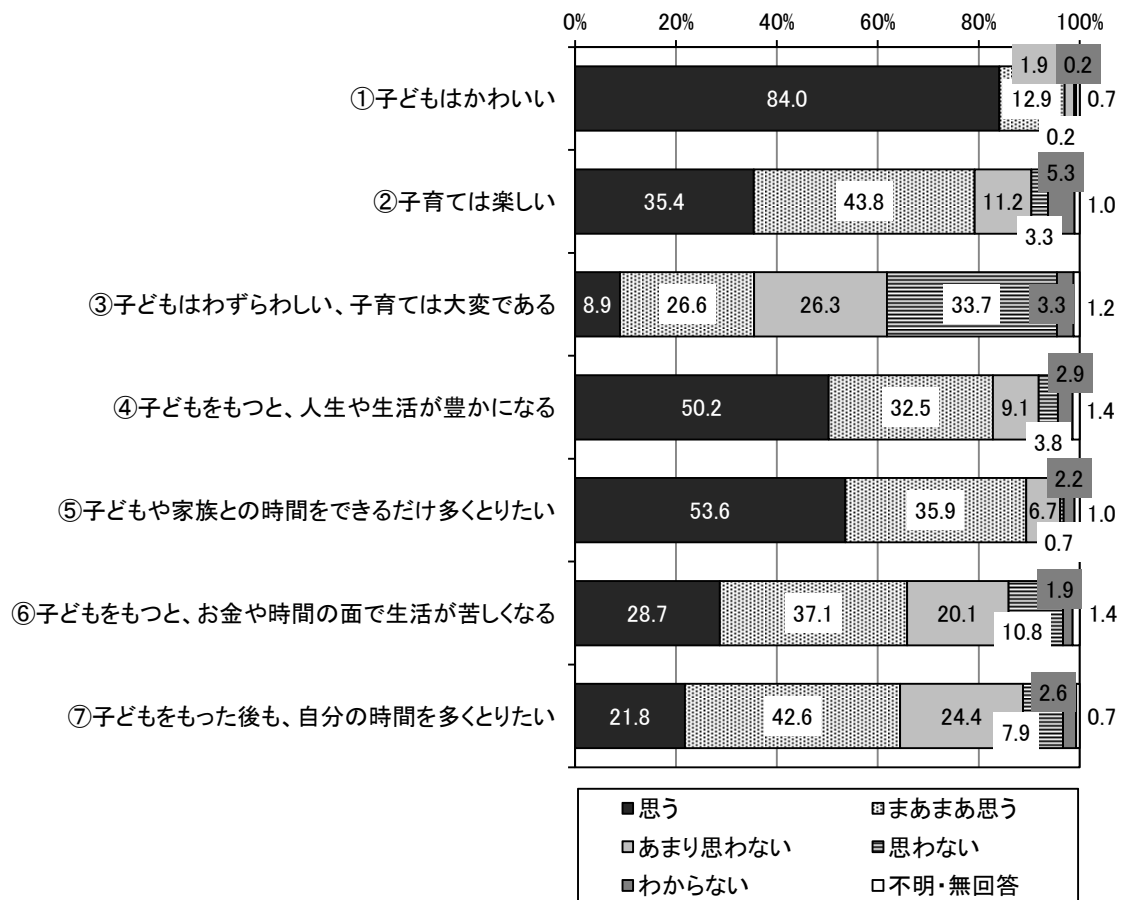


2 子育てや教育について

(1)「子育て」についてどのように感じていますか〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問6〕

「子育て」についてどのように感じていますかについてみると、「思う」で『①子どもはかわいい』、『④子どもをもつと、人生や生活が豊かになる』、『⑤子どもや家族との時間をできるだけ多くとりたい』がそれぞれ84.0%、50.2%、53.6%、「思わない」で『③子どもはわずらわしい、子育ては大変である』が33.7%と高くなっています。

一般市民(N=418)

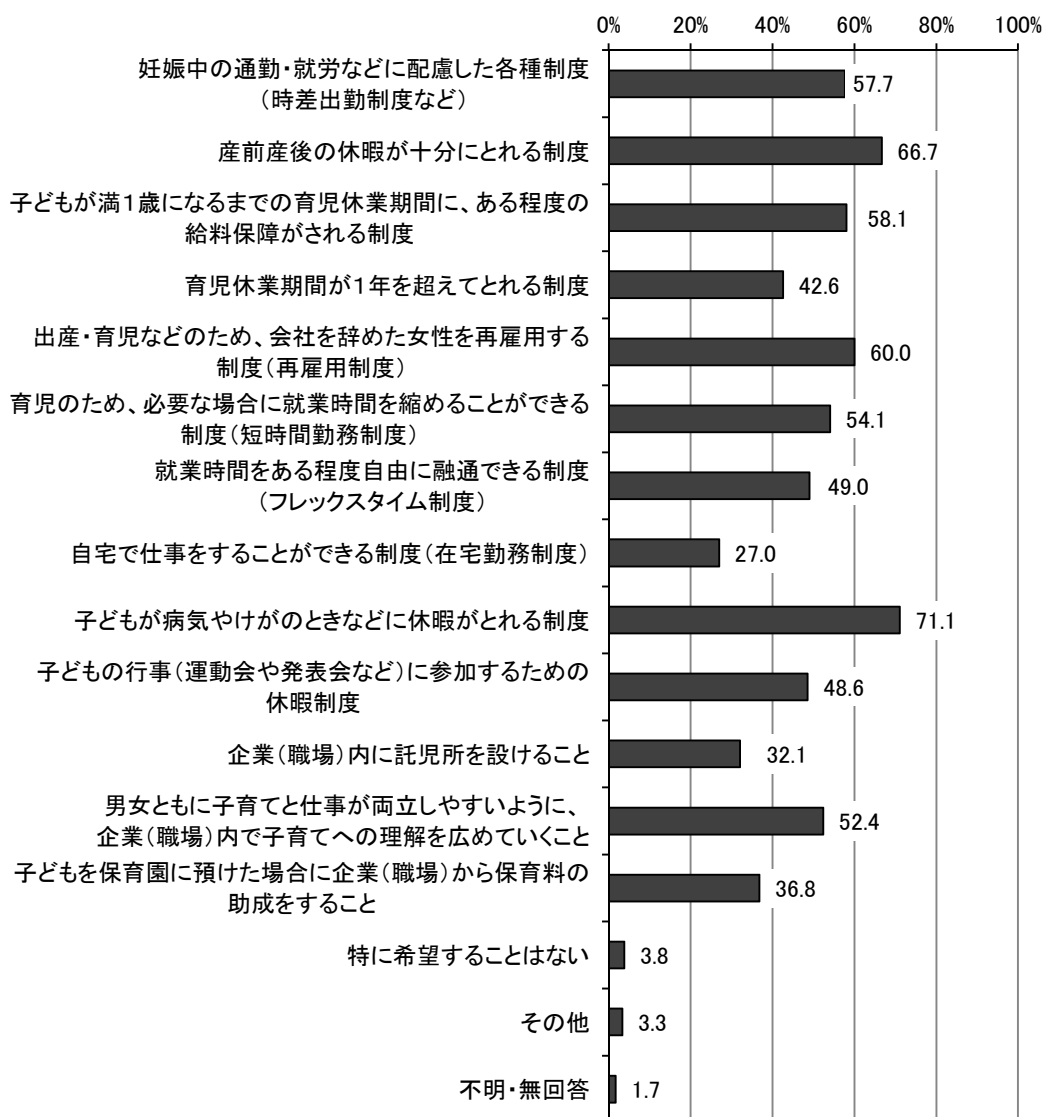


（２）男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など（職場）における環境整備としてどのようなものを望みますか〈複数回答〉

〔市民アンケート調査…問7〕

男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など（職場）における環境整備としてどのようなものを望みますかについてみると、「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度」が71.1%と最も高く、次いで「産前産後の休暇が十分にとれる制度」が66.7%、「出産・育児などのため、会社を辞めた女性を再雇用する制度（再雇用制度）」が60.0%となっています。

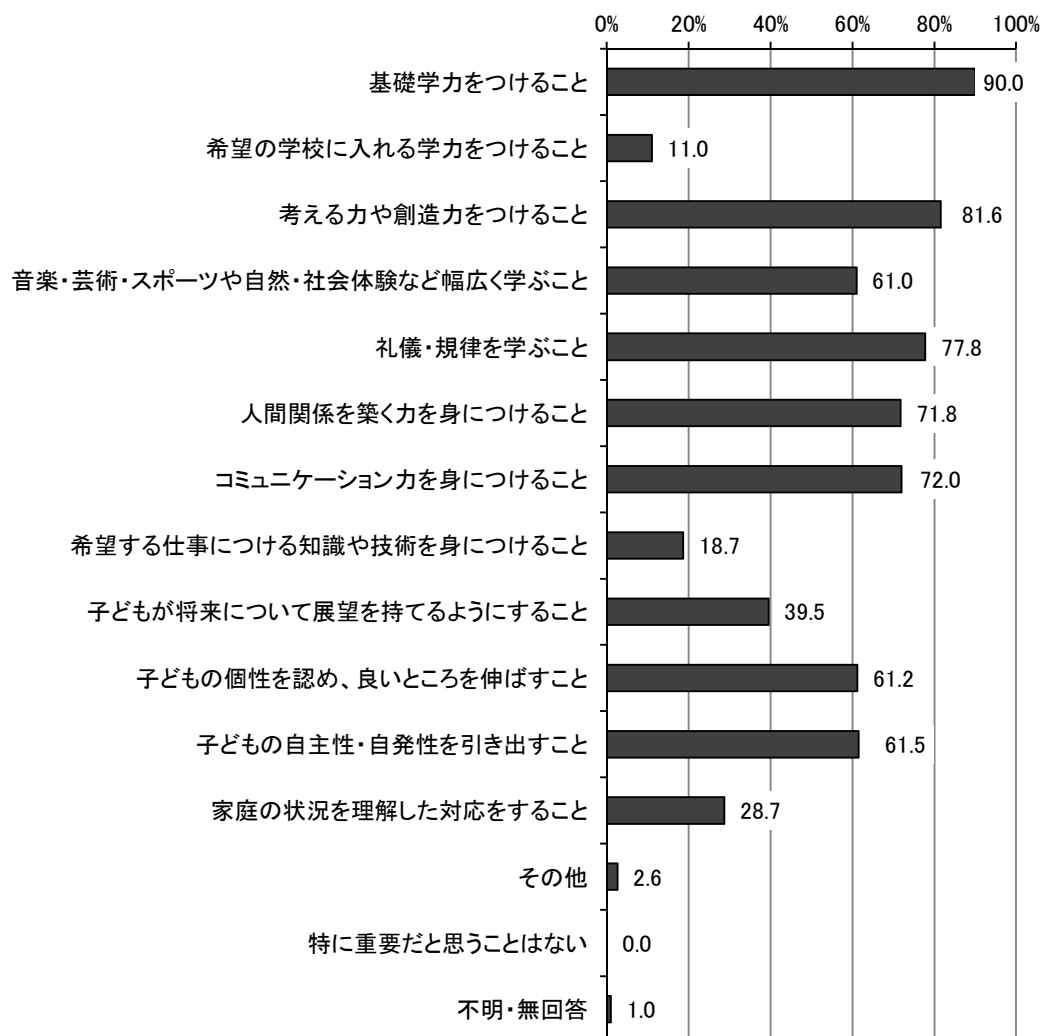
一般市民(N=418)



（３）義務教育で何が重要だと思いますか〈複数回答〉〔市民アンケート調査…問８〕

義務教育で何が重要だと思いますかについてみると、「基礎学力をつけること」が90.0%と最も高く、次いで「考える力や創造力をつけること」が81.6%、「礼儀・規律を学ぶこと」が77.8%となっています。

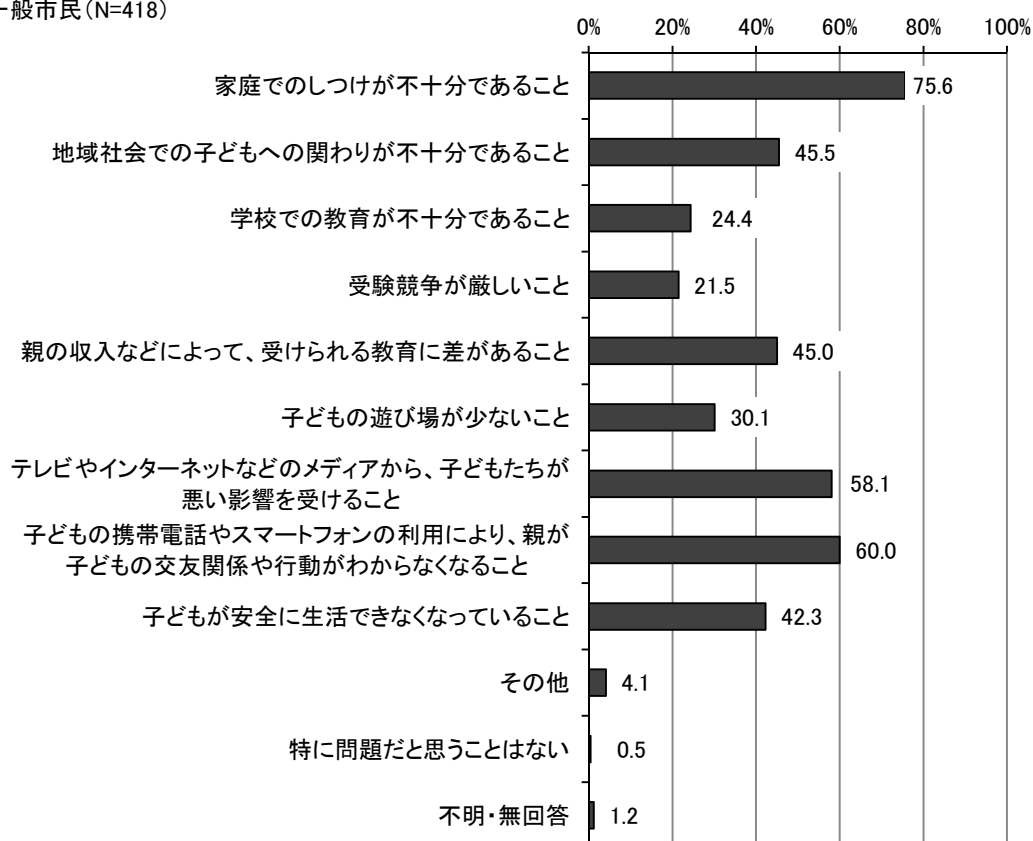
一般市民(N=418)



（４）最近の子育てや教育の現状について考えたとき、どのようなことが問題だと思いますか〈複数回答〉〔市民アンケート調査…問9〕

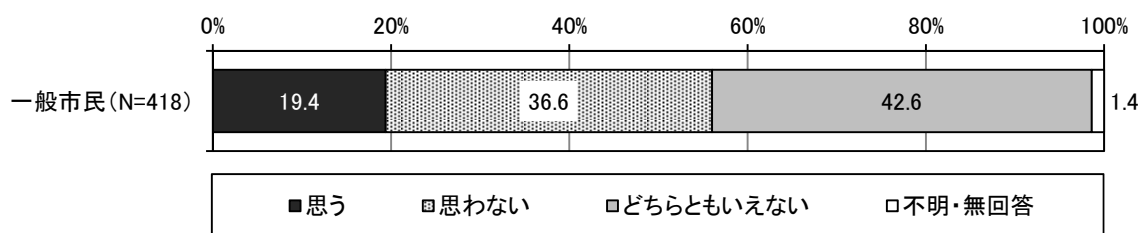
子育てや教育の現状についてどのようなことが問題だと思いますかについてみると、「家庭でのしつけが不十分であること」が75.6%と最も高く、次いで「子どもの携帯電話やスマートフォンの利用により、親が子どもの交友関係や行動がわからなくなること」が60.0%、「テレビやインターネットなどのメディアから、子どもたちが悪い影響を受けること」が58.1%となっています。

一般市民(N=418)



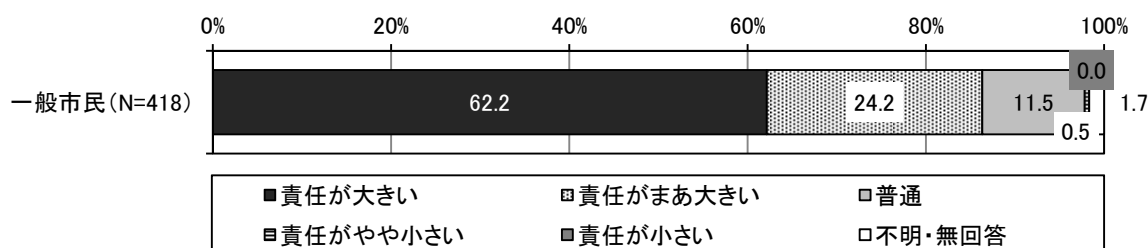
（５）しつけのために体罰が必要だと思いますか〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問 10〕

しつけのために体罰が必要だと思いますかについてみると、「どちらともいえない」が 42.6%と最も高く、次いで「思わない」が 36.6%、「思う」が 19.4%となっています。



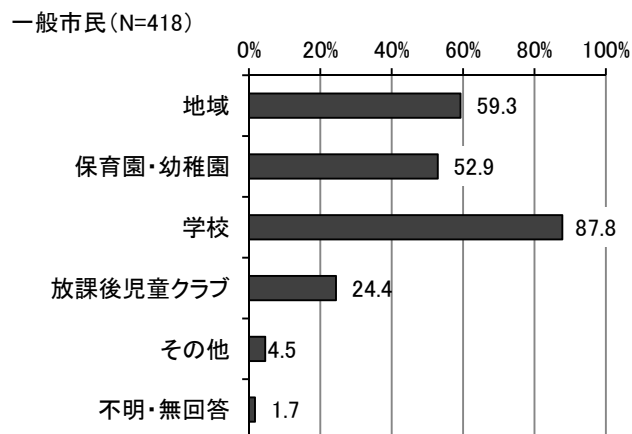
（６）甲賀市では、子育て支援をしていきたいと考えていますが、家庭の責任についてはどのように考えますか〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問 11〕

家庭の責任についてはどのように考えますかについてみると、「責任が大きい」が 62.2%と最も高く、次いで「責任がまあ大きい」が 24.2%、「普通」が 11.5%となっています。



（７）家庭以外に子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境はどれですか〈複数回答〉〔市民アンケート調査…問 12〕

家庭以外に子育て（教育を含む）に影響すると思われる環境はどれですかについてみると、「学校」が 87.8%と最も高く、次いで「地域」が 59.3%、「保育園・幼稚園」が 52.9%となっています。

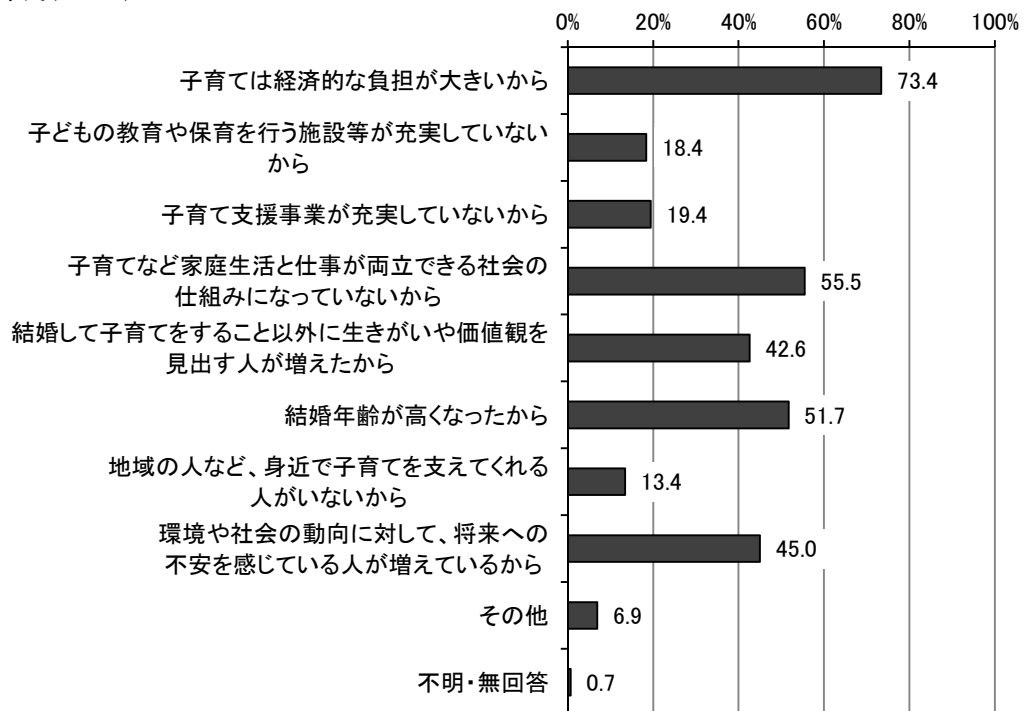


3 少子化について

(1) 1 人の女性が一生に産む子どもの平均数が低下しています。原因はどのようなことだと思いますか〈3つ回答〉〔市民アンケート調査…問 13〕

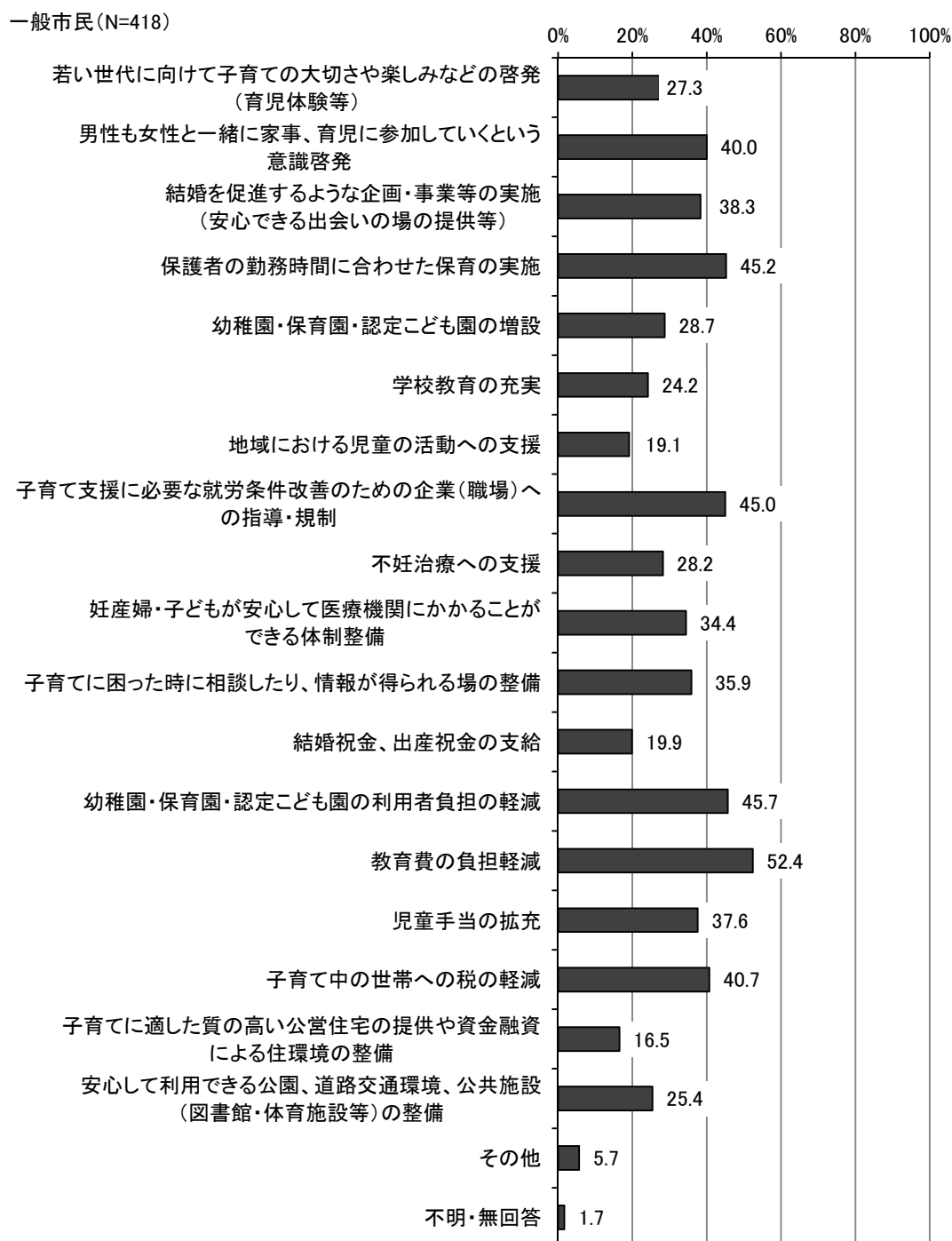
1 人の女性が一生に産む子どもの平均数が低下している原因についてみると、「子育ては経済的な負担が大きいから」が 73.4%と最も高く、次いで「子育てなど家庭生活と仕事が両立できる社会の仕組みになっていないから」が 55.5%、「結婚年齢が高くなったから」が 51.7%となっています。

一般市民(N=418)



（２）少子化に歯止めをかけるため、行政はどのような取り組みをすれば効果があると考えますか〈複数回答〉〔市民アンケート調査…問 14〕

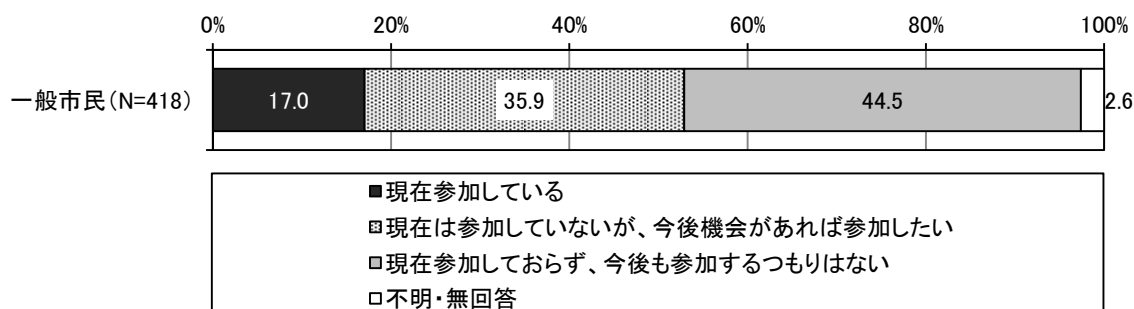
少子化に歯止めをかけるため、行政はどのような取り組みをすれば効果があると考えますかについてみると、「教育費の負担軽減」が52.4%と最も高く、次いで「幼稚園・保育園・認定こども園の利用者負担の軽減」が45.7%、「保護者の勤務時間に合わせた保育の実施」が45.2%となっています。



4 地域での子育てについて

（１）子育てや教育に関するサークルなど、子どもに関する地域の活動に参加していますか〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問 15〕

子どもに関する地域活動の参加の有無についてみると、「現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が 44.5%と最も高く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が 35.9%、「現在参加している」が 17.0%となっています。



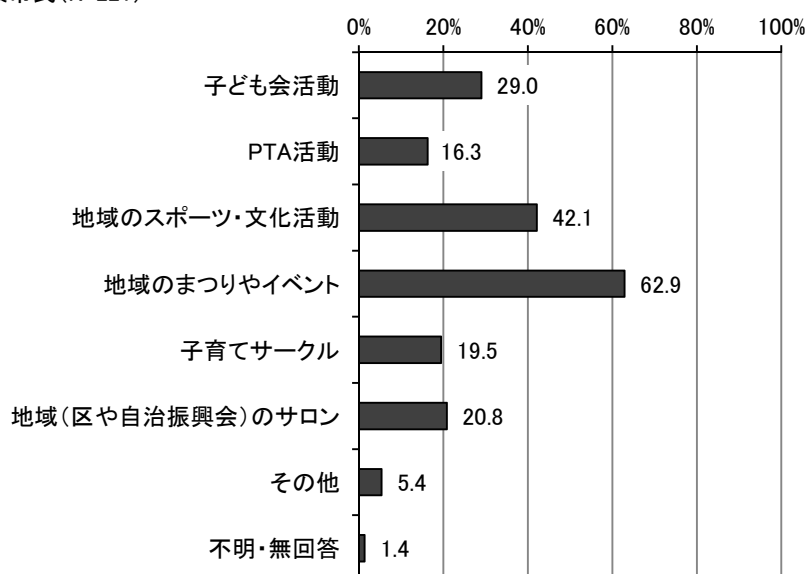
（１）で「現在参加している」または「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」を選んだ方

（１）－１ どのような活動に参加していますか、また参加したいですか〈複数回答〉

〔市民アンケート調査…問 15-1〕

どのような活動に参加していますか、また参加したいですかについてみると、「地域のまつりやイベント」が 62.9%と最も高く、次いで「地域のスポーツ・文化活動」が 42.1%、「子ども会活動」が 29.0%となっています。

一般市民 (N=221)



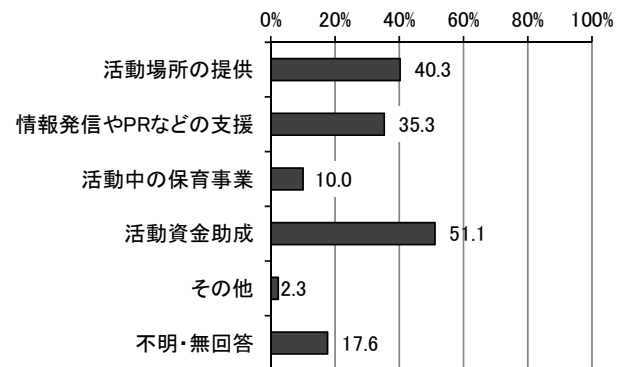
(1)で「現在参加している」または「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」を選んだ方

(1)ー2 活動を進めていく上で、行政に行ってほしい支援はどのようなことですか〈複数回答〉

〔市民アンケート調査…問 15-2〕

行政に行ってほしい支援についてみると、「活動資金助成」が51.1%と最も高く、次いで「活動場所の提供」が40.3%、「情報発信やPRなどの支援」が35.3%となっています。

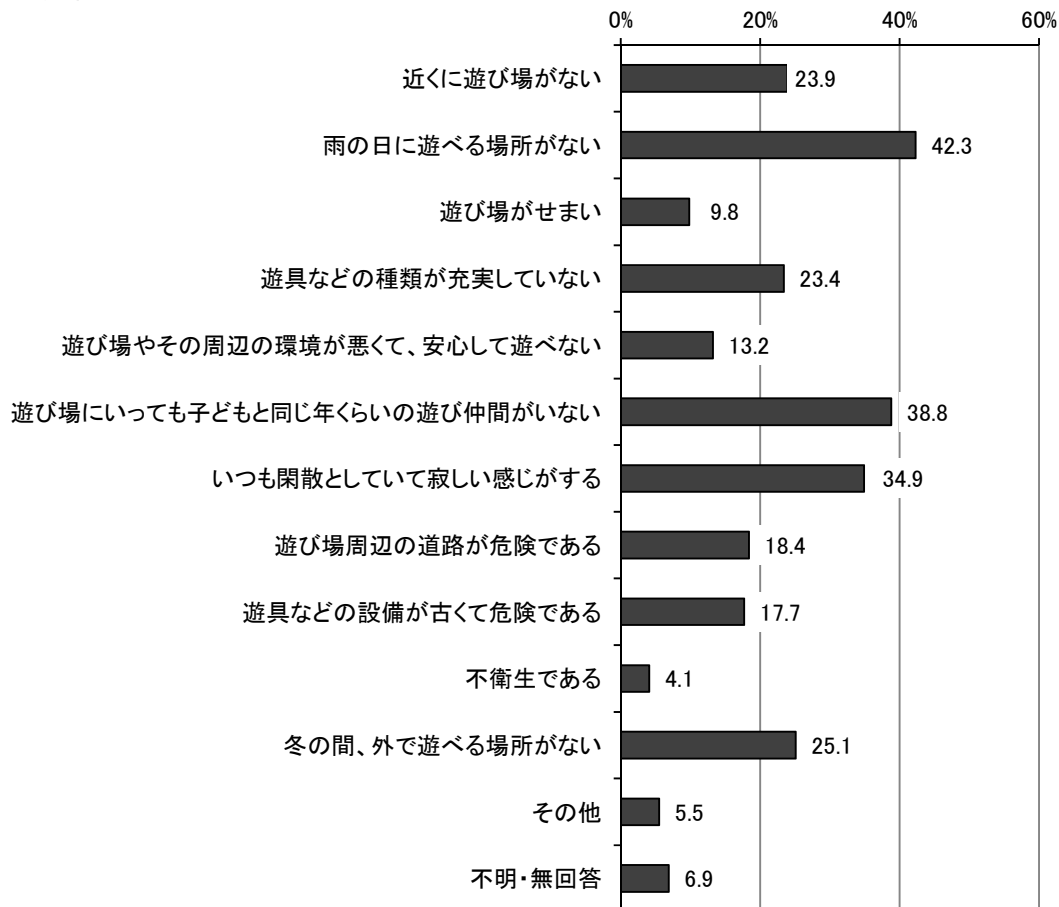
一般市民(N=221)



(2) 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場について、感じていることはありますか〈3つ回答〉〔市民アンケート調査…問 16〕

子ども同士が交流等を行うことができる場についてみると、「雨の日に遊べる場所がない」が42.3%と最も高く、次いで「遊び場においても子どもと同じ年くらいの遊び仲間がいない」が38.8%、「いつも閑散としていて寂しい感じがする」が34.9%となっています。

一般市民(N=418)

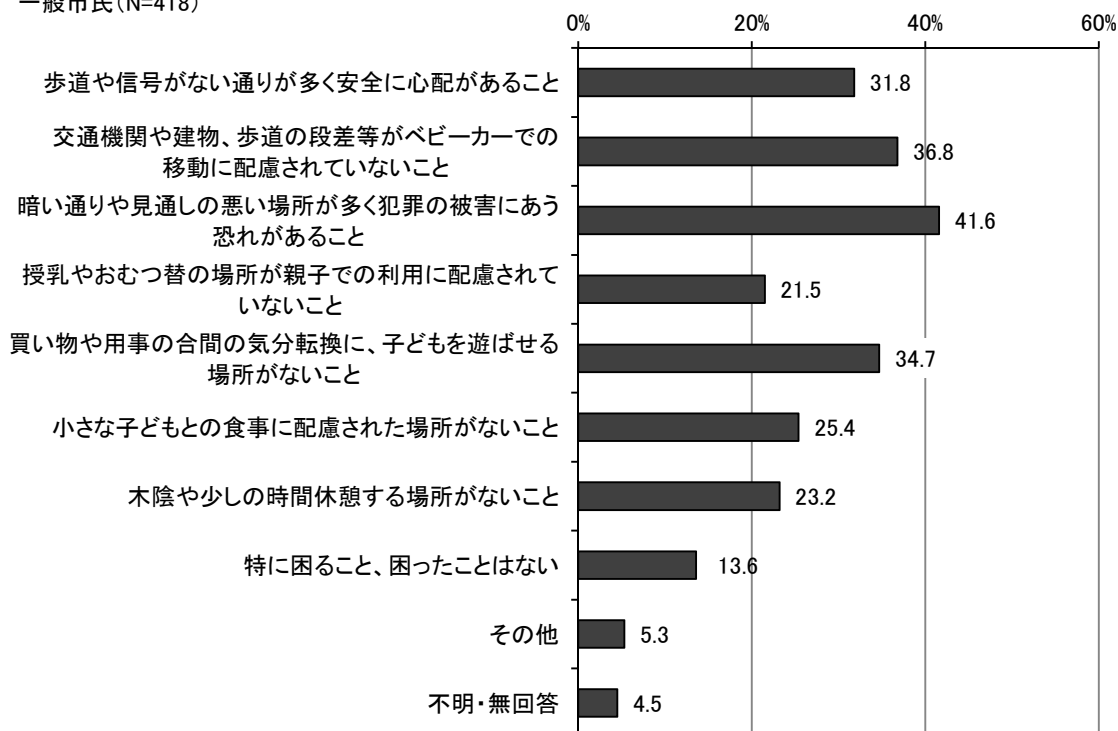


（３）市内で子どもと外出の際に困ると思うことは何ですか〈３つ回答〉

〔市民アンケート調査…問 17〕

市内で子どもと外出の際に困ると思うことについてみると、「暗い通りや見通しの悪い場所が多く犯罪の被害にあう恐れがあること」が 41.6%と最も高く、次いで「交通機関や建物、歩道の段差等がベビーカーでの移動に配慮されていないこと」が 36.8%、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が 34.7%となっています。

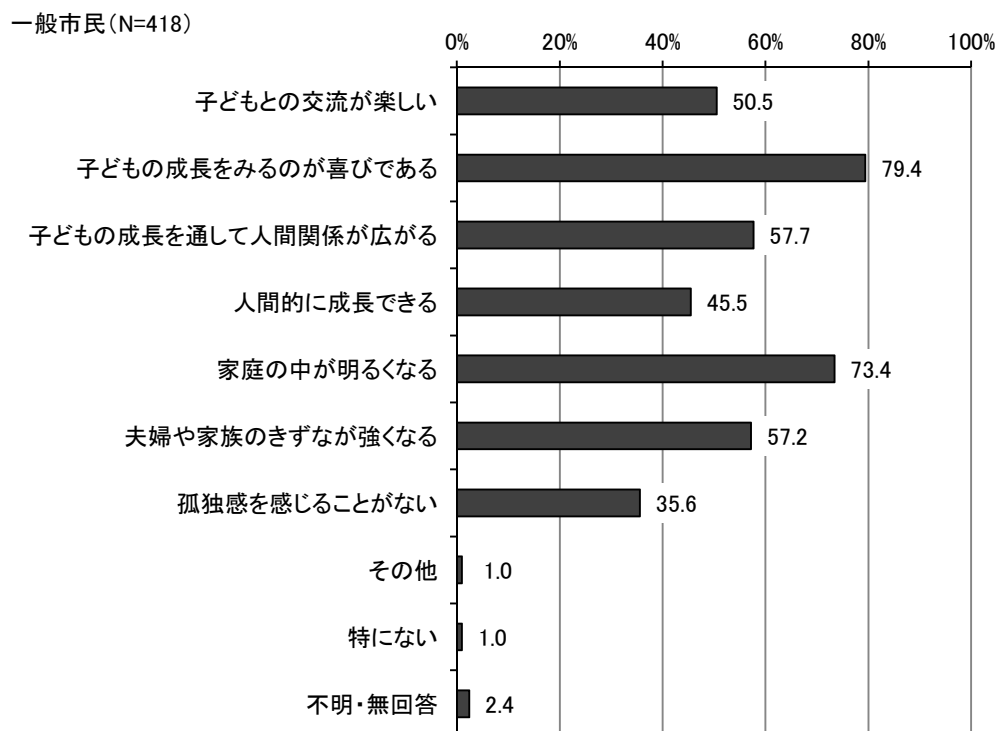
一般市民(N=418)



（４）子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはありますか〈複数回答〉

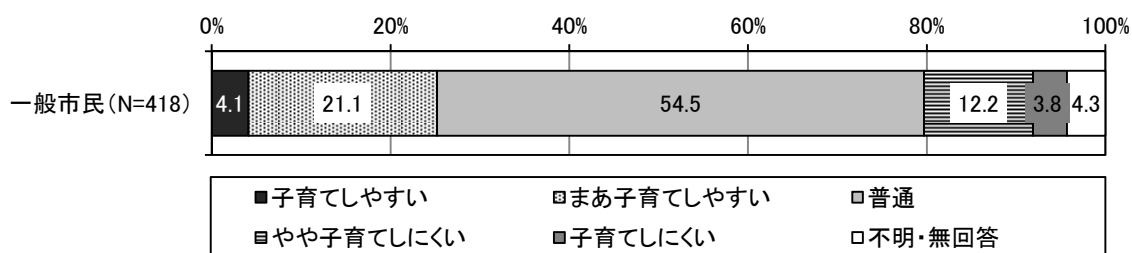
〔市民アンケート調査…問 18〕

子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことについてみると、「子どもの成長をみるのが喜びである」が79.4%と最も高く、次いで「家庭の中が明るくなる」が73.4%、「子どもの成長を通して人間関係が広がる」が57.7%となっています。



（５）甲賀市は子育てしやすいと思いますか〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問 19〕

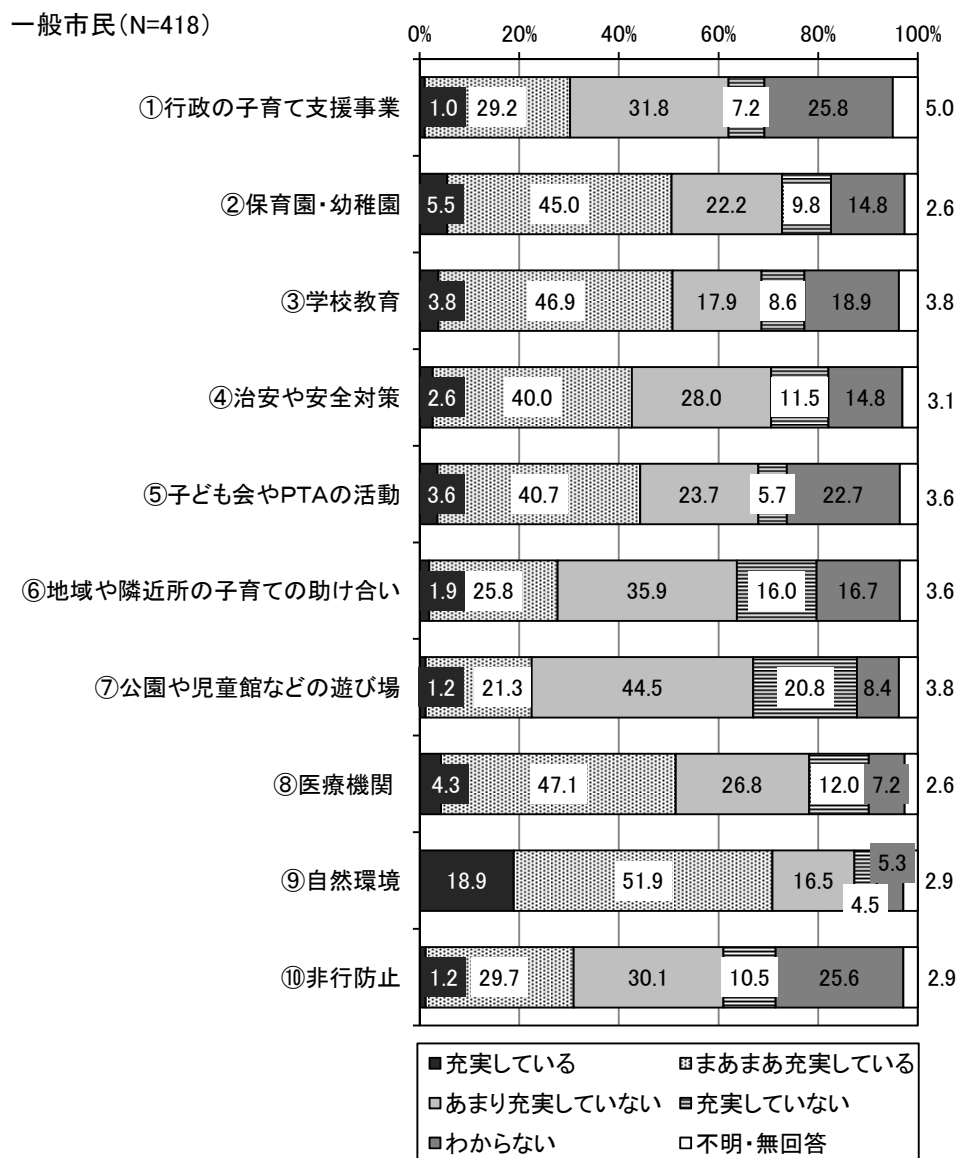
甲賀市は子育てしやすいと思いますかについてみると、「普通」が54.5%と最も高く、次いで「まあ子育てしやすい」が21.1%、「やや子育てしにくい」が12.2%となっています。



（６）甲賀市は、子どもが暮らしやすく健やかに育っていけるまちだと思いますか

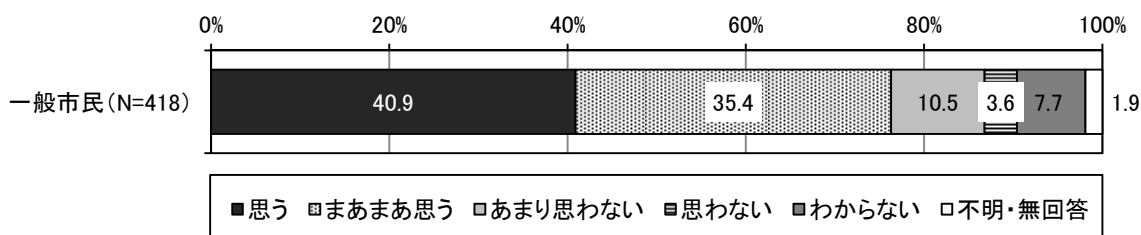
〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問 20〕

甲賀市は、子どもが暮らしやすく健やかに育っていけるまちだと思いますかについてみると、『⑨自然環境』で「まあまあ充実している」が51.9%、『⑦公園や児童館などの遊び場』で「あまり充実していない」が44.5%と高くなっています。



（７）甲賀市に住み続けたいと思いますか〈単数回答〉〔市民アンケート調査…問 21〕

甲賀市に住み続けたいと思いますかについてみると、「思う」が40.9%と最も高く、次いで「まあまあ思う」が35.4%、「あまり思わない」が10.5%となっています。

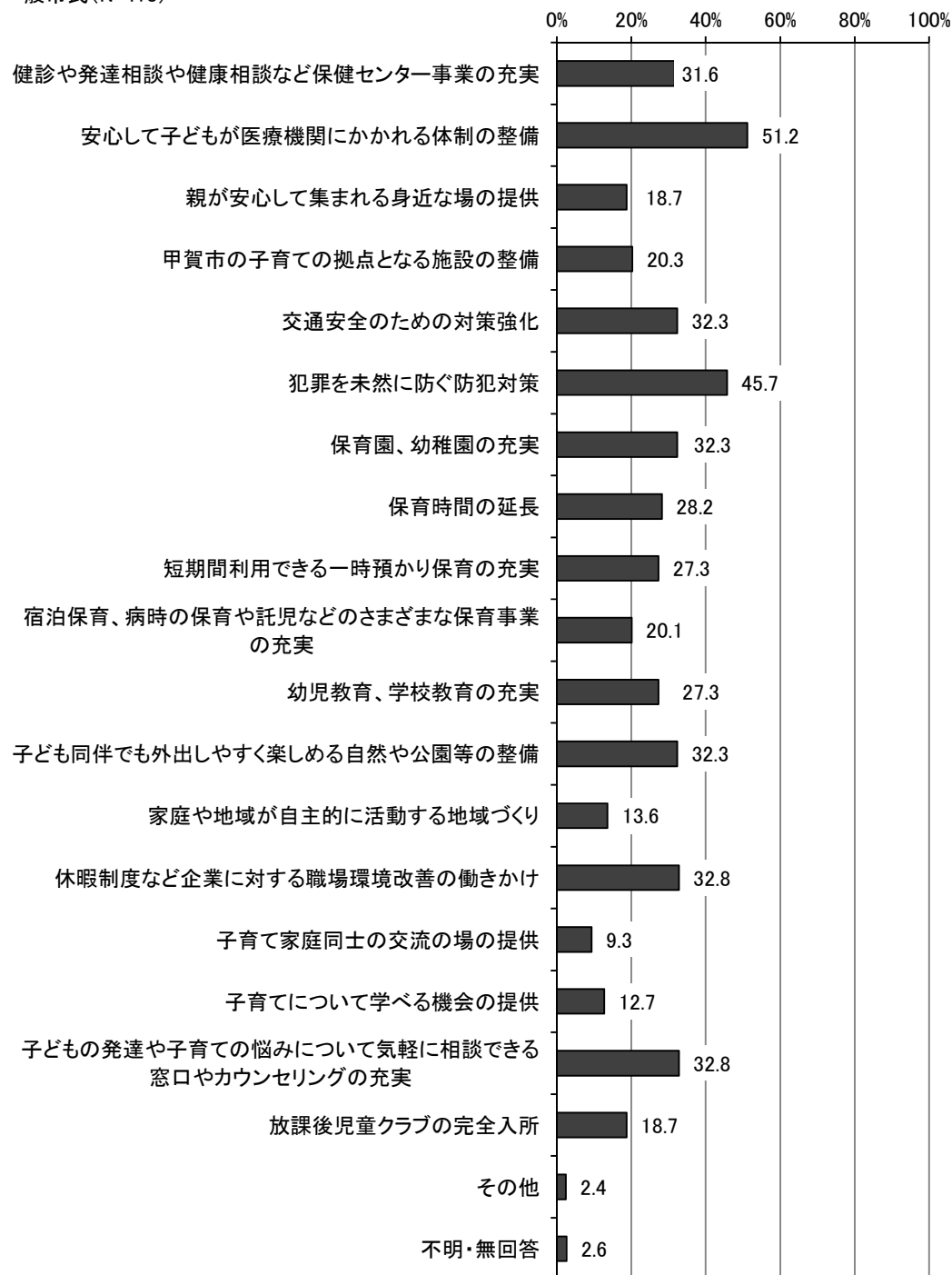


（８）甲賀市の子育て支援において今後重要と思われることはありますか〈５つ回答〉

〔市民アンケート調査…問 22〕

甲賀市の子育て支援において今後重要と思われることについてみると、「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」が 51.2%と最も高く、次いで「犯罪を未然に防ぐ防犯対策」が 45.7%となっています。

一般市民 (N=418)



IV. 資 料

1 調査票（就学前児童用）

1 お住まいの地域、居住年数についてうかがいます。

問 1 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 伴合小学校区	2. 伴合東小学校区	3. 柏木小学校区	4. 水口小学校区
5. 綾野小学校区	6. 貴生川小学校区	7. 鮎河小学校区	8. 山内小学校区
9. 土山小学校区	10. 大野小学校区	11. 大原小学校区	12. 畑日小学校区
13. 佐山小学校区	14. 甲南第一小学校区	15. 甲南第二小学校区	16. 甲南第三小学校区
17. 甲南中部小学校区	18. 希望ヶ丘小学校区	19. 信楽小学校区	20. 雲井小学校区
21. 小原小学校区	22. 朝宮小学校区	23. 多羅尾小学校区	

問 2 甲賀市に住んで何年になりますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 5年未満	2. 5年以上10年未満
3. 10年以上20年未満	4. 20年以上

2 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問 3 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

平成 () 年 () 月 生まれ

問 4 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を () 内に数字でご記入ください。お 2 人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数 () 人 末子の生年月 平成 () 年 () 月 生まれ

問 5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問 6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問 7 あて名のお子さんの子育て（給育を含む）を主にしているのはどなたですか。お子さんからみた関係で、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

「甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画」策定に係る
ニーズ調査
(就学前児童用)

調査ご協力をお願い

皆様には、日ごろより市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
甲賀市では、平成 27 年度から始まる「子ども・子育て支援新制度」に向けて、「子ども・子育て
応援団支援事業計画」を策定します。このため、市民の皆様に子育てに関する現状やニーズ、ご意
見などをおうかがいするアンケート調査を実施いたします。

子どもは甲賀市の将来を担う宝です。地域全体で子どもの成長を応援していただけるような施策やア
イデアを計画に反映させていきたいと考えています。調査の結果は、子どもが育ちやすい、子育て
しやすい環境づくりを進めるための計画策定に活用させていただきます。

つきましては、ご多忙のことは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいま
すようお願い申し上げます。

平成 26 年 1 月

甲賀市長 中嶋武嗣

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査は市内在住の就学前のお子さんの中から無作為に 1,000 人を抽出し、お願いす
るものです。調査は無記名であり、皆様からの回答はすべて統計的に処理し、個人が特
定されたり、他の目的で利用されることはありません。
- アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。特にことわりのある場合以外
は、封筒のあて名のお子さんのことについてご記入ください。
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入いただく場合が
ございます。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってくださ
い。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある () 内に具体的な内
容をご記入ください。
- 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24 時間制（例：午後 6 時→18 時）でご記
入ください。
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に
従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- ご記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて 1 月 22 日（水）
までにご投函ください。
- ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

甲賀市役所 健康福祉部 こども応援課 こども政策係
TEL : 0748-65-0729 FAX : 0748-63-4085

3 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問 8 あて名のおおさんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|-----------|-----------|-------|--------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 | 6. 保育園 |
| 7. 認定こども園 | 8. その他（ ） | | | | |

問 9 あて名のおおさんの子育て（教育を含む）に、影響するとと思われる環境はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|-----------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育園 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他（ ） | | | | |

問 10 日頃、あて名のおおさんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | ⇒ 問 10-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | ⇒ 問 10-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問 11へ |

問 10-1 問 10 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族におおさんを含めてもっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問 10-2 問 10 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人におおさんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある |
| 6. その他（ ） |

問 11 あて名のおおさんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|---------|
| 1. いる/ある | ⇒ 問 11-1へ | 2. いない/ない | ⇒ 問 12へ |
|----------|-----------|-----------|---------|

問 11-1 問 11 で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。おおさんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 子育て支援センター・つどいの広場、児童館 |
| 5. 保健所・保健センター | 6. 保育士 |
| 7. 幼稚園・教諭 | 8. 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 9. かかりつけの医師 | 10. 市役所の子育て関連担当窓口 |
| 11. その他【例】ベビーシッター | |

問 12 あて名のおおさんを妊娠中および出産後、困った時に相談できる人はいますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

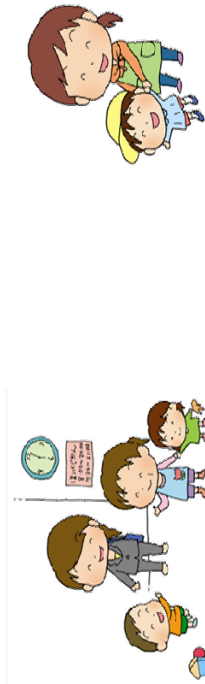
- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問 13 出産後 1 ヶ月の間に身近な人から支援を受けましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 夫 | 2. 父母 |
| 3. 夫の父母 | 4. 兄弟姉妹 |
| 5. 近所の人・友人 | 6. その他（ ） |

問 14 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

--



4 あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問15 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、専従従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「1～4」（就労している）で1つに○をつけた方で、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」「家を出る時間と帰宅時間」をお答えください。就労日数や就労時間、出勤・帰宅時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。専休・専休・介護休業中の場合は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内には数字をご記入ください。時間には、必ず（例）09時～18時のように、24時間制でお答えください。

選択肢	内容	1週当たり	1日当たり	家を出る時間	帰宅時間	備考
1	フルタイム	()	()	()	()	時 () 分 ()
2	フルタイム 【専休・専休・介護休業中である】	()	()	()	()	時 () 分 ()
3	パート・アルバイト等	()	()	()	()	時 () 分 ()
4	パート・アルバイト等 【専休・専休・介護休業中である】	()	()	()	()	時 () 分 ()
5	以前はフルタイム又はパート・アルバイト等で就労していたが、これまでに就労していない	現在就労していない方は問17へ				
6	これまでフルタイム・1週5日程度・1日8時間程度の就労	パート・アルバイト・フルタイム以外の就労				

※フルタイム…1週5日程度・1日8時間程度の就労

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「1～4」（就労している）で1つに○をつけた方で、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」「家を出る時間と帰宅時間」をお答えください。就労日数や就労時間、出勤・帰宅時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。専休・介護休業中の場合は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内には数字をご記入ください。時間には、必ず（例）09時～18時のように、24時間制でお答えください。

選択肢	内容	1週当たり	1日当たり	家を出る時間	帰宅時間	備考
1	フルタイム	()	()	()	()	時 () 分 ()
2	フルタイム 【専休・介護休業中である】	()	()	()	()	時 () 分 ()
3	パート・アルバイト等	()	()	()	()	時 () 分 ()
4	パート・アルバイト等 【専休・介護休業中である】	()	()	()	()	時 () 分 ()
5	以前はフルタイム又はパート・アルバイト等で就労していたが、これまでに就労していない	現在就労していない方は問17へ				
6	これまでフルタイム・1週5日程度・1日8時間程度の就労	パート・アルバイト・フルタイム以外の就労				

※フルタイム…1週5日程度・1日8時間程度の就労

問16 問15の(1)または(2)で「3. 4. 1」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問17へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。母親・父親それぞれについて当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

母親	父親	内容
1	1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等の就労を続けたい
4	4	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問17 問15の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問18へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・配号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり()日 1日当たり()時間

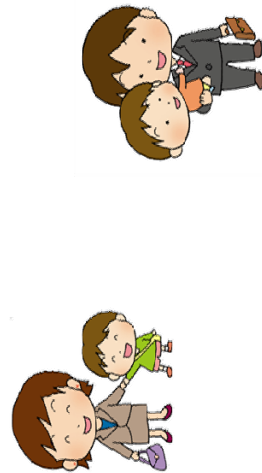
(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
→1週当たり()日 1日当たり()時間



5 あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
うかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的に
は、幼稚園や保育園など、問18-1に示している事業が含まれます。

問18 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていま
すか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している	⇒ 問18-1へ	2. 利用していない	⇒ 問18-5へ
-----------	----------	------------	----------

問18-1 問18-1～問18-4は、問18で「1.利用している」に○をつけた方にうかがいます。
あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的
に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業 のうち定期的な利用のみ)
3. 保育園 (国が定める最低基準に適合した施設で 都道府県等の認可を受けたもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 家庭的保育 (保育ママ) (保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	6. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)
7. その他の認可外の保育施設	8. 居宅訪問型保育 (ベビシッターのような保育者が 子どもの家庭で保育する事業)
9. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	10. その他 ()

問18-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、期
望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間 (何時から何時ま
で) かを、() 内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず (例) 09 時～18 時のように
24 時間制でご記入ください。

(1) 現在	1週当たり () 日	1日当たり () 時間	() 時～ () 時
(2) 希望	1週当たり () 日	1日当たり () 時間	() 時～ () 時

問18-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号すべてに○
をつけてください。

1. 町内	2. 市内 (町外)	3. 市外
-------	------------	-------

問18-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため	2. 子育て (教育を含む) をしている人が現在就労している
3. 子育て (教育を含む) をしている人が就労予定である／求職中である	4. 子育て (教育を含む) をしている人が家族・親族などを介護している
5. 子育て (教育を含む) をしている人が病気や障がいがある	6. 子育て (教育を含む) をしている人が学生である
7. その他 ()	

問18-5 問18で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何です
か。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要 がない	2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている	4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	8. 子どもがまだ小さいため (歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他 ()	



問 19 すべての方にかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の療育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当ではまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 保育園 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育ママ) (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ()

問 19-1 療育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 町内	2. 市内 (町外)	3. 市外
-------	------------	-------



6 あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 20 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業 (親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています) を利用していますか。次の中から、該当するものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数 (頻度) を () 内に数字でご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業 (つどいの広場・子育て支援センター等)
1 週当たり () 回 もしくは 1 ヶ月当たり () 回程度
2. その他甲賀市で実施している類似の事業 (団体名:)
1 週当たり () 回 もしくは 1 ヶ月当たり () 回程度
3. 利用していない

問 21 問 20 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。当ではまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数 (頻度) を () 内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり () 回 もしくは 1 ヶ月当たり () 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい
1 週当たり 更に () 回 もしくは 1 ヶ月当たり 更に () 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 22 次の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②子育てに関する講座・講演	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③児童館の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④子育ての相談窓口 (家庭児童相談室・子育て支援センター)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤市の子育て支援情報 (広報・情報誌)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥こどもはあちゃん訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦幼稚園・保育園における発達相談 (のびのび相談)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧幼稚園・保育園の園開放や子育て支援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

7 あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 23 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）09 時～18 時のように24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		（ ）時から（ ）時まで

(2) 日曜・休日

1. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		（ ）時から（ ）時まで

問 23-1 問 23 の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何か。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月に数回仕事が入るため	2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他（ ）	

問 24 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休学期間の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）09 時～18 時のように24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	⇒	利用したい時間帯
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		（ ）時から（ ）時まで

問 24-1 問 24 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため	2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他（ ）	

8 あて名のお子さんの病気の対応についてうかがいます。（平日の定期的な教育・保育の事業を利用する方のみ）

問 25 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 18 で1に○をつけた方）にうかがいます。利用している方または、問 26 にお送りください。

この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった	⇒ 問 25-1 へ	2. なかった	⇒ 問 26 へ
--------	------------	---------	----------

問 25-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の場合も1日とカウントしてください。）。

1年間の対応方法		日数
ア. 父親が休んだ		（ ）日
イ. 母親が休んだ		（ ）日
ウ. （同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった		（ ）日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た		（ ）日
オ. 病児・病後児の保育を利用した		（ ）日
カ. ベビーシッターを利用した		（ ）日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した		（ ）日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた		（ ）日
ケ. その他（ ）		（ ）日

※「ファミリアー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問 25-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 25-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	⇒ （ ）日 ⇒ 問 25-3 へ
2. 利用したいとは思わない	⇒ 問 25-4 へ

問 25-3 問 25-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。子どもを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で開催する事業（例：ファミリアー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

⇒ 問 25-5 へ

⇒ 問 26 へ

問 25-4 問 25-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう聞かれる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらったのは不安	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよくない	4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない	6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）	

⇒ 問 26へ

問 25-1 で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 25-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ （ ）日 ⇒ 問 26へ
2. 休んで看ることは非常に難しい ⇒ 問 25-6へ

問 25-6 問 25-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう聞かれる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない	4. その他（ ）

9 あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 26 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり（私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	（ ）日
3. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	（ ）日
4. 夜間看護等事業：トワイライトステイ（児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	（ ）日
5. ベビーシッター	（ ）日
6. その他（ ）	（ ）日
7. 利用していない	

⇒ 問 27へ

問 26 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 26-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用しない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか	8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）	

問 27 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無については番号に、理由については記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい		計（ ）日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	（ ）日	
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	（ ）日	
ウ. 不定期の就労	（ ）日	
エ. その他（ ）	（ ）日	
2. 利用する必要はない ⇒ 問 28へ		

問 27-1へ

問 27-1 問 27 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 27 の目的でお子さんを預ける場合、次のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：家庭的保育事業等）
3. 地域住民等が子育てで家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 28 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

1年間の対処方法		日数
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（ ）泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	（ ）泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	カ. その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

問 28 で「1. あった ア（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 28-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。⇒ 7. 以外を選択した方は 問 29へ

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------

10 あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

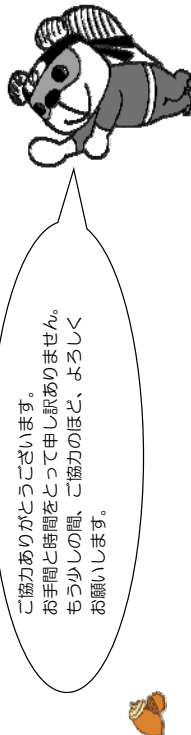
問 29 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）09～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週に（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に（ ）日くらい
3. 習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）	週に（ ）日くらい
4. 児童館	週に（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 【費用負担：月額 10,000円 + おやつ代】長期休暇時は追加費用あり	週に（ ）日くらい ⇒（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週に（ ）日くらい
7. その他（ ）	週に（ ）日くらい

問 30 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）09～18時のように24時間制でご記入ください。

※高学年はかなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週に（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に（ ）日くらい
3. 習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）	週に（ ）日くらい
4. 児童館	週に（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕 【費用負担：月額 10,000円 + おやつ代】長期休暇時は追加費用あり	週に（ ）日くらい ⇒（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週に（ ）日くらい
7. その他（ ）	週に（ ）日くらい



ご協力ありがとうございます。
お手間と時間をとって申し訳ありません。
もう少しの間、ご協力のほど、よろしく
お願いします。

問 31 土曜日と日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい	⇒	利用したい時間帯
2. 卒業まで（1～6年生）の間ずっと利用したい		
3. 高学年（4～6年生）の間だけ利用したい		（ ）時から（ ）時まで
4. 利用する必要はない		

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい	⇒	利用したい時間帯
2. 卒業まで（1～6年生）の間ずっと利用したい		
3. 高学年（4～6年生）の間だけ利用したい		（ ）時から（ ）時まで
4. 利用する必要はない		

問 32 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい	⇒	利用したい時間帯
2. 卒業まで（1～6年生）の間ずっと利用したい		
3. 高学年（4～6年生）の間だけ利用したい		（ ）時から（ ）時まで
4. 利用する必要はない		

11 すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など子育てと仕事の両立支援についてうかがいます。

問 33 1日あたり子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。平日の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思いませんか。母親・父親それぞれについて（ ）内に数字でご記入を。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親		父親	
（ ）時間	（ ）時間	（ ）時間	（ ）時間
1	1	1	十分だと思う
2	2	2	まあまあ十分だと思う
3	3	3	あまり十分とは思わない
4	4	4	不十分だと思う
5	5	5	わからない

問 34 あて名のお子さんが生まれた時、父姓のいずれかもしくは母姓のいずれかが育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

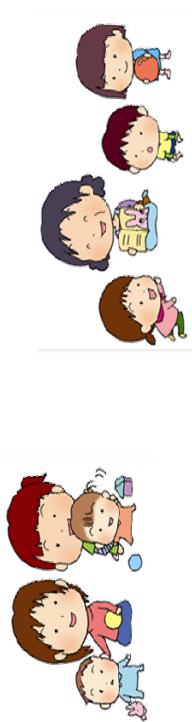
母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 妊娠がわかった時点で働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	1. 妊娠がわかった時点で働いていなかった 2. 取得した（取得中である） 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事に忙しかった
- 3.（産休後に）仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得することを知らなかった
14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
15. その他（ ）

問34-1 育児休業給付・健康保険及び厚生年金保険の保険料免除の仕組みはご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

※育児休業給付…子どもが原則1歳（保育園における保育の施設が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業を取得した場合に支給される育児休業給付金を受給できること
※保険料免除…子どもが3歳になるまで育児休業を取得した場合に保険料が全額免除されること



問 34 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問35へOをつけてください。

母親	父親
1	1 育児休業取得後、職場に復帰した
2	2 現在も育児休業中である
3	3 育児休業中に離職した

問 34-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 34-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。母親・父親それぞれについてどちらか1つに○をつけてください。
※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入園した増えなども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

母親	父親
1	1 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2	2 それ以外だった

問 34-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りかかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

母親		父親	
実際の取得期間（ ）歳（ ）ヶ月	（ ）ヶ月	実際の取得期間（ ）歳（ ）ヶ月	（ ）ヶ月
希望（ ）歳（ ）ヶ月	（ ）ヶ月	希望（ ）歳（ ）ヶ月	（ ）ヶ月

問 34-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りかかったですか。（ ）内に数字でご記入ください。

母親	父親
（ ）歳（ ）ヶ月	（ ）歳（ ）ヶ月

問 34-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 34-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。
(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。
①母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

1. 希望する保育園に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	

②父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. 希望する保育園に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）	

(2)「希望」より速く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

1. 希望する保育園に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなくなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていないかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他（ ）	

②父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. 希望する保育園に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなくなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていないかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他（ ）	

問 34-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 34-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親・父親それぞれについて当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親	父親
1	1
2	2
3	3

問 34-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 34-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できなかった
10. その他（ ）

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できなかった
10. その他（ ）

問 34-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 34-9 あて名のお子孙が1歳になったときに必ず利用できる事業（保育園など）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。母親・父親それぞれについて当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親	父親
1	1
2	2

12 地域の子育て支援や甲賀市の子育て支援サービスについてうかがいます。

問 35 子育てに関して不安や負担など感じていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 非常に不安や負担を感じる	2. なんとなく不安や負担を感じる
3. 感じない	4. まったく感じない
5. どちらともいえない	

問 36 子育てや教育に関して、日ごろ悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病氣や発育・発達に関すること	2. 食事や栄養に関すること
3. 育児や教育に関すること	4. 子どもの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分もてないこと	6. 子育てで、出費がかさむこと
7. 子育てをしていていらしたり、つらいと感じること	8. 友達つきあい（いじめを含む）に関すること
9. 子育てに関して配偶者、パートナーと意見が合わないこと	10. 話相手や相談相手、協力者がいないこと
11. 自分の子育てについて、親族・近所の人など、まわりの目が気になること	12. 登校拒否などの問題について
13. その他（ ）	

問 37 あなたは子育てや教育に関するサークルなど、子どもに関する地域の活動に参加していますか。当てはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. 現在参加している	⇒ 問 37-1へ
2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい	
3. 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない	

⇒ 問 38へ

問 37-1 問 37 で「1.」または「2.」に O をつけた方にうかがいます。どのような活動に参加していますか、また参加したいですか。当てはまる番号すべてに O をつけてください。

1. 子ども会活動	2. PTA 活動
3. 地域のスポーツ・文化活動	4. 地域のまつりやイベント
5. 子育てサークル	6. 地域（区や自治振興会）のサロン
7. その他（	）

問 37-2 問 37 で「1.」または「2.」に O をつけた方にうかがいます。活動を進めていく上で、行政に行ってほしい支援はどのようなことですか。当てはまる番号すべてに O をつけてください。

1. 活動場所の提供	2. 情報発信や PR などの支援（掲示板の開放）
3. 活動中の保育事業	4. 活動資金助成
5. その他（	）

問 38 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場について、感じていることはありますか。当てはまる番号 3 つに O をつけてください。

1. 近くに遊び場がない	2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 遊び場がせまい	4. 遊具などの種類が充実していない
5. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない	6. 遊び場に行っても子どもと同じ年くらいの遊び仲間がない
7. いつも閑散としていて寂しい感じがする	8. 遊び場周辺の道路が危険である
9. 遊具などの設備が古くて危険である	10. 不衛生である
11. 冬の間、外で遊べる場所がない	12. その他（

問 39 市内で子どもと外出の際に困ること、困ったことは何ですか。当てはまる番号 3 つに O をつけてください。

1. 歩道や番号がない通りが多く安全に心配があること	2. 交通機関や建物、歩道の段差等がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
3. 暗い通りや見通しの悪い場所が多く犯罪の被害にあう恐れがあること	4. 探乳やおむつ害の場所が親子での利用に配慮されていないこと
5. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと	6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
7. 木陰や少しの時間休憩する場所がないこと	8. 特に困ること、困ったことはない
9. その他（	）

問 40 早幼児健診を受けた感想はいかがですか。当てはまる番号すべてに O をつけてください。

1. 信頼がもたれて安心して受けることができた	2. 医師の話が参考になった
3. 保健師の話が参考になった	4. 栄養士の話が参考になった
5. 歯科衛生士の話が参考になった	6. もっとゆっくりにした時間がほしい
7. 個別の相談がしたかった	8. 通知が来たから受けた
9. 時間がかなりすぎる	10. 形式的だった
11. 友達がきてよかった	12. 受けてみて必要がないと思った
13. その他（	）

問 41 お子さんのかかりつけ医はおられますか。当てはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. 町内にいる	2. 市内（町外）にいる
3. 市外にいる	4. いらない

問 42 お子さんが焦熱を出すなど急病の場合、すぐに買ってもらえる医療機関が見つからず困ったことがありますか。当てはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. あった	2. なかった
--------	---------

問 43 あなたは、しつけのためにお子さんをたたくことはありますか。当てはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. ある	2. ない	3. どちらともいえない
-------	-------	--------------

問 44 あなたは、しつけのために体罰が必要だと思いますか。当てはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. ある	2. ない	3. どちらともいえない
-------	-------	--------------

問 45 あなたは、ゆっくりにした気分でお子さんとお過ごしを過ごせる時間がありますか。当てはまる番号 1 つに O をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. 何ともいえない
-------	--------	------------

問 46 あなたは、子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはありますか。当てはまる番号すべてに O をつけてください。

1. 子どもの交流が楽しい	2. 子どもの成長をみるのが喜びである
3. 子どもの成長を通して人間関係が広がる	4. 人間的に成長できる
5. 家庭の中が明るくなる	6. 夫婦や家族のきずなが強くなる
7. 孤独感を感じることがない	8. その他（
9. 特になし	）

問 47 甲賀市は子育てしやすいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

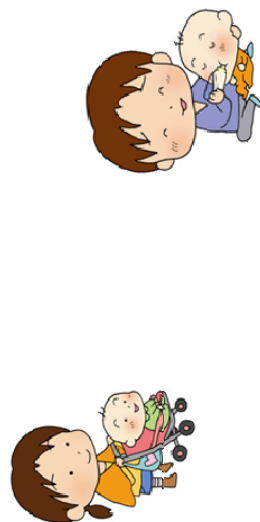
子育てにくい	←	2	3	4	5	子育てしやすい
1						

問 48 あなたは、甲賀市に住み続けたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

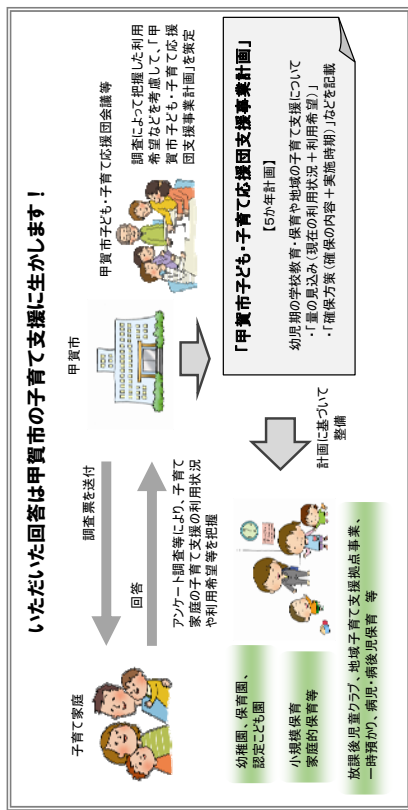
1. 思う	2. まあまあ思う
3. あまり思わない	4. 思わない
5. わからない	

問 49 甲賀市の子育て支援において今後重要と思われることはありますか。当てはまる番号5つに○をつけてください。

1. 健診や発達相談や健康相談など保健センター事業の充実
2. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備
3. 親が安心して集まれる身近な場の提供
4. 甲賀市の子育ての拠点となる施設の整備
5. 交通安全のための対策強化
6. 犯罪を未然に防ぐ防犯対策
7. 保育園、幼稚園の充実
8. 保育時間の延長
9. 短期間利用できる一時預かり保育の充実
10. 宿泊保育、病時の保育や託児などのさまざまな保育事業の充実
11. 幼児教育、学校教育の充実
12. 子ども同伴でも外出しやすく楽しめる自然や公園等の整備
13. 家庭や地域が自主的に活動する地域づくり
14. 休暇制度など企業に対する職場環境改善の働きかけ
15. 子育て家庭同士の交流の場の提供
16. 子育てについて学べる機会の提供
17. 子どもの発達や子育ての悩みについて気軽に相談できる窓口やカウンセリングの充実
18. 放課後児童クラブの完全入所
19. その他（ ）



問 50 最後に、教育・保育環境の充実など子育てでの環境や支援に関してご意見がございましたら、自由に記入ください。



調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
切手は貼らずに 1月22日（水）までに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

「甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画」策定に係る
ニーズ調査

(小学生用)

調査ご協力をお願い

皆様には、日ごろより市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
甲賀市では、平成 27 年度から始まる「子ども・子育て支援新制度」に向けて、「子ども・子育て
応援団支援事業計画」を策定します。このため、市民の皆様にご協力に子育てに関する現状やニーズ、ご意見
などをお聞かせいただけるアンケート調査を実施いたします。
子どもは甲賀市の将来を担う宝です。地域全体で子どもの成長を応援していただけるような施策やア
イデアを計画に反映させていきたいと考えています。調査の結果は、子どもが育ちやすい、子育てし
やすい環境づくりを進めるための計画策定に活用させていただきます。
つきましては、ご多忙のことは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいます
ようお願い申し上げます。

平成 26 年 1 月

甲賀市長 中嶋 武嗣

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査は市内在住の小学生のお子さんの中から無作為に 1,000 人を抽出し、お願いする
ものです。調査は無記名であり、皆様からのお答えはすべて統計的に処理し、個人が特定さ
れたり、他の目的で利用されることはありません。
1. アンケートには、**お子さんの保護者の方**がご記入ください。特にことわりのある場合以外は、
封筒のあて名のお子さんのことについてご記入ください。
2. ご回答は、選択時に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がご
さいます。
3. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください
い。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある()内に具体的な内容
をご記入ください。
4. 数字で時間(時刻)をご記入いただく場合は、**24 時間制**(例：午後 6 時→18 時)でご記
入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ことわり書きや矢印に従
ってご回答**ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
6. ご記入が済みまじたら、お手数ですが、同封の**返信用封筒に入れて1月 22 日(水)まで**に
ご投函ください。
7. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

甲賀市役所 健康福祉部 子ども応援課 こども政策係
TEL : 0748-65-0729 FAX : 0748-63-4085

2 調査票 (小学生児童用)

1 お住まいの地域についてうかがいます。

問 1 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 伴谷小学校区	2. 伴谷東小学校区	3. 柏木小学校区	4. 水口小学校区
5. 綾野小学校区	6. 貴生川小学校区	7. 鮎河小学校区	8. 山内小学校区
9. 土山小学校区	10. 大野小学校区	11. 大原小学校区	12. 油日小学校区
13. 佐山小学校区	14. 甲南第一小学校区	15. 甲南第二小学校区	16. 甲南第三小学校区
17. 甲南中部小学校区	18. 希望ヶ丘小学校区	19. 尾栗小学校区	20. 雲井小学校区
21. 小原小学校区	22. 朝宮小学校区	23. 多羅尾小学校区	

問 2 甲賀市に住んで何年になりますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 5年未満	2. 5年以上10年未満
3. 10年以上20年未満	4. 20年以上

2 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問 3 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。() 内に数字でご記入ください。

平成 () 年 () 月生まれ

問 4 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を() 内
に数字で**ご記入**ください。お 2 人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入く
ださい。

きょうだい数 () 人 末子の生年月月 平成 () 年 () 月生まれ

問 5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。当
てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問 6 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1 つに○
をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問 7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にに行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係
で、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()



3 子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に關わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 母親	3. 父親	4. 祖父母	5. 小学校
6. 放課後児童クラブ	7. その他（ ）			

問9 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響するとと思われる環境はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家庭	2. 地域	3. 小学校	4. 放課後児童クラブ	5. その他（ ）
-------	-------	--------	-------------	-----------

問10 日頃、あて名のお子さんをもてもらええる親族・知人はいいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	⇒ 問10-1へ
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	⇒ 問10-2へ
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	
5. いずれもない	⇒ 問11へ

問10-1 問10で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や養育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問10-2 問10で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や養育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）



問11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談や情報交換できる人はいいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある	⇒ 問11-1へ	2. いない／ない	⇒ 問12へ
----------	----------	-----------	--------

問11-1 問11で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に關して、気軽に相談や情報交換できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援センター・つどいの広場・児童館
5. 保健所・保健センター	6. 小学校の先生
7. 児童クラブ指導員	8. 民生委員・児童委員、主任児童委員
9. かかりつけの医師	10. 市役所の子育て関連担当窓口
11. その他（ ）	

問12 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

（ ）

4 保護者の就業状況についてうかがいます。

問13 あて名のお子さんの保護者の現在の就業状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「1～4」（就労している）で1つに○をつけた方で、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」「家を出る時間と帰宅時間」をお答えください。就労日数や就労時間、出勤・帰宅時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内には数字をご記入ください。時間は、必ず（例）09時～18時のように、24時間制でお答えください。

選択肢	内容	1週当たり	1日当たり	家を出る時間	帰宅時間
1	フルタイム	（ ）日	（ ）時間	（ ）時（ ）分	（ ）時（ ）分
2	フルタイム 【産休・育休・介護休業中である】	（ ）日	（ ）時間	（ ）時（ ）分	（ ）時（ ）分
3	パート・アルバイト等	（ ）日	（ ）時間	（ ）時（ ）分	（ ）時（ ）分
4	パート・アルバイト等 【産休・育休・介護休業中である】	（ ）日	（ ）時間	（ ）時（ ）分	（ ）時（ ）分
5	以前はフルタイム又はパート・アルバイト等で就労していた	現在就労していない方は問15へ			
6	これまで就労したことがない				

※フルタイム…1週5日程度、1日8時間程度の就労 パート・アルバイト…フルタイム以外の就労

(2) 父親 【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子ともが（ ）歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

5 あて名のお子さんの病気の対応についてうかがいます。

問16 この1年間に、あて名のお子さんが病気で学校を休まなければならなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。なかった方は、問17にお進みください。

1. あった ⇒ 問16-1へ

2. なかった ⇒ 問17へ

問16-1 問16で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。この1年間の、お子さんが病気で学校を休んだり、放課後児童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対応方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）。

1年間の対応方法		日数
ア. 父親が休んだ	() 日	() 日
イ. 母親が休んだ	() 日	() 日
ウ.（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	() 日	() 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもを看た	() 日	() 日
オ. 病児・病後児の保育サービスを利用した	() 日	() 日
カ. ファミリー・サポート・センターを利用した	() 日	() 日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日	() 日
ク. その他（ ）	() 日	() 日

問16-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

⇒ 7. イ. 以外を選択した方は 問17へ

問16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ （ ） 日

2. 利用したいとは思わない

(2) 父親 【母子家庭の場合、記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

「1～4」（就労している）で1つに○をつけた方で、1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」「家を出る時間と帰宅時間」をお答えください。就労日数や就労時間、出勤・帰宅時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（ ）内には数字をご記入ください。時間は、必ず（例）09時～18時のように、24時間制でお答えください。

選択肢	内容	1週当たり	1日当たり	家を出る時間	帰宅時間
1	フルタイム	() 日	() 時間	() 時 () 分	() 時 () 分
2	フルタイム 【育児・介護休業中である】	() 日	() 時間	() 時 () 分	() 時 () 分
3	パート・アルバイト等	() 日	() 時間	() 時 () 分	() 時 () 分
4	パート・アルバイト等 【育児・介護休業中である】	() 日	() 時間	() 時 () 分	() 時 () 分
5	以前はフルタイム又はパート・アルバイト等で就労していた	現在就労していない方は問15へ			
6	これまで就労したことがない				

※フルタイム…1週5日程度・1日8時間程度の就労 パート・アルバイト…フルタイム以外の就労

問14 問13の（1）または（2）で「3. 4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。母親・父親それぞれについて当てはまる番号それぞれ1つに○をつけてください。

母親	父親	内容
1	1	フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3	3	パート・アルバイト等の就労を願いたい
4	4	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問15 問13の（1）または（2）で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する（ ）内には数字をご記入ください。

(1) 母親 【父子家庭の場合、記入は不要です】

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）

2. 1年より先、一番下の子ともが（ ）歳になったところに就労したい

3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）

イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）

→1週当たり（ ）日 1日当たり（ ）時間

6 あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問17 あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方にうかがいます。放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ運当たりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）09～18時 のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週に（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に（ ）日くらい
3. 習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）	週に（ ）日くらい
4. 児童館	週に（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週に（ ）日くらい ⇒（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週に（ ）日くらい
7. その他（ ）	週に（ ）日くらい

問18 あて名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）の方にうかがいます。放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ運当たりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）09～18時 のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週に（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に（ ）日くらい
3. 習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）	週に（ ）日くらい
4. 児童館	週に（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）	週に（ ）日くらい ⇒（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週に（ ）日くらい
7. その他（ ）	週に（ ）日くらい

問19 問17または問18で「5.」に○をつけた方にうかがいます。放課後児童クラブを利用している理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 就労している	
3. 病氣や障がいがある	
5. 学生である	
2. 妊娠中または出産して間がない	
4. 同居の親族を常時介護している	
6. その他（ ）	



問20 問17または問18で「5.」に○をつけた方にうかがいます。放課後児童クラブを利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 就労していない	
（※以下は「就労しているが」利用しない理由）	
2. 放課後児童クラブを知らなかった	
3. 近くに放課後児童クラブがない	
4. 放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う	
5. 他に子どもの身の回りの世話をしてくれる人がある	
6. 放課後児童クラブの開所時間が短い	
7. 放課後児童クラブは利用料がかかる	
8. 子どもは放課後に習い事をしている	
9. 他の施設に預けている	
10. 子どもが嫌がる	
11. その他（ ）	

問21 あて名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方にうかがいます。放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する運当たりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）09～18時 のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週に（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に（ ）日くらい
3. 習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）	週に（ ）日くらい
4. 児童館	週に（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育） 【費用負担：月額 10,000円 + おやつ代】長期休暇時は追加費用あり	週に（ ）日くらい ⇒（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週に（ ）日くらい
7. その他（ ）	週に（ ）日くらい

問22 あて名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）の方にうかがいます。放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する運当たりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）09～18時 のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週に（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に（ ）日くらい
3. 習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）	週に（ ）日くらい
4. 児童館	週に（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育） 【費用負担：月額 10,000円 + おやつ代】長期休暇時は追加費用あり	週に（ ）日くらい ⇒（ ）時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週に（ ）日くらい
7. その他（ ）	週に（ ）日くらい

問 23 問 21 または問 22 で「6.」に○をつけた方にうかがいます。放課後児童クラブを利用したい理由は何ですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 就労している	)
2. そのうち就労したいと考えている	
3. 家族・親族などを介護しなければならぬ	
4. 病気や障がいがある	
5. 学生である／就学したい	
6. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい	
7. その他（	

問 24 問 21 または問 22 で「6.」に○をつけた方にうかがいます。放課後児童クラブを利用しない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が	
1. 就労していない	)
(※以下は「就労しているが」利用しない理由)	
2. 放課後児童クラブを知らなかった	
3. 近くに放課後児童クラブがない	
4. 放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思う	
5. 他に子どもの身の回りの世話をしてくれる人がいる	
6. 放課後児童クラブの開所時間が短い	
7. 放課後児童クラブは利用料がかかる	
8. 子どもは放課後に悪い事をしている	
9. 他の施設に預けている	
10. 子どもが嫌がる	
11. その他（	

問 25 あて名のお子さんが小学校低学年の方にうかがいます。子どもさんは、高学年になったら放課後の時間をどのように過ごさせたいと思いますか。また、当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）09時～18時 のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週に（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週に（ ）日くらい
3. 習い事（学習塾・運動クラブ・ピアノ教室など）	週に（ ）日くらい
4. 児童館	週に（ ）日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育） 【費用負担：月額 10,000 円 + おやつ代】長期休暇時は追加費用あり	週に（ ）日くらい ⇒（ ）時まで
6. ファミリー・サポーター・センター	週に（ ）日くらい
7. その他（	週に（ ）日くらい

問 26 すべてのの方にうかがいます。放課後児童クラブはどこにあればいいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 学校の余裕教室	2. 校内内の専用施設
3. 学校敷地内の独立施設	4. 学校外の施設
5. その他（	)

問 27 すべての方にうかがいます。放課後児童クラブはどの程度の定員で運営するのがよいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 5～10人	2. 11～20人	3. 21～30人	4. 31人以上
----------	-----------	-----------	----------

問 28 すべての方にうかがいます。放課後児童クラブで1～6年生が同じ部屋で過ごすことをどう思いますか。番号1つに○をつけ、その理由をご記入ください。

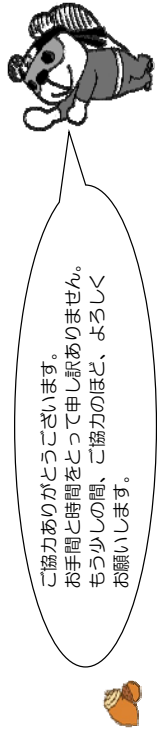
1. よいと思う	2. できればちがう部屋がいいと思う	3. ちがう部屋でみるべき
(その理由:)		

問 29 すべての方にうかがいます。土曜日と日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）09 時～18 時 のように24 時間制でご記入ください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日	
1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2. 卒業まで（1～6年生）の間ずっと利用したい	
3. 高学年（4～6年生）の間だけ利用したい	
4. 利用希望はない	
(2) 日曜・祝日	
1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2. 卒業まで（1～6年生）の間ずっと利用したい	
3. 高学年（4～6年生）の間だけ利用したい	
4. 利用する必要はない	

問 30 すべての方にうかがいます。お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）09 時～18 時 のように24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい	⇒ 利用したい時間帯
2. 卒業まで（1～6年生）の間ずっと利用したい	
3. 高学年（4～6年生）の間だけ利用したい	
4. 利用する必要はない	



7 すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など子育てと仕事の両立支援についてうかがいます。

問 31 1日あたりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。平日の平均的な時間をお答えください。また、その時間は十分だと思えますか。母親・父親それぞれについて（ ）内に数字でご記入を、当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親		父親	
() 時間	() 時間	() 時間	() 時間
1	1	十分だと思う	
2	2	まあまあ十分だと思う	
3	3	あまり十分とは思わない	
4	4	不十分だと思う	
5	5	わからない	

問 32 あて名のお赤ちゃんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 妊娠がわかった時点で働いていなかった 2. 取得した 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)	1. 妊娠がわかった時点で働いていなかった 2. 取得した 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産後) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得することを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できなかった
15. その他 ()

問32-1 育児休業給付・産前産後休業給付・育児休業給付の保険料免除の仕組みはご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

※育児休業給付…子どもが原則1歳(保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月)になるまで育児休業を取得した場合に支給される育児休業給付金を受給できること
※保険料免除…子どもが満3歳になるまで育児休業を取得した場合に保険料が全額免除されること

問 32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。母親・父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1	1 育児休業取得後、職場に復帰した
2	2 育児休業中に離職した

問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。母親・父親それぞれについてどちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入園した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

母親	父親
1	1 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2	2 それ以外だった

問 32-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りかかったですか。() 内に数字でご記入ください。

母親		父親	
実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	実際の取得期間 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月
希望 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月	希望 () 歳 () ヶ月

問 32-5 お勤め先に、希望のために3歳まで休職を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さん何歳何ヶ月のときまで取りかかったですか。() 内に数字でご記入ください。

母親	父親
() 歳 () ヶ月	() 歳 () ヶ月

問 32-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

1. 希望する保育園に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

②父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. 希望する保育園に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当ではまる番号すべてに○をつけてください。

①母親【父子家庭の場合、記入は不要です】

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）

②父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（ ）

問32-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 32-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。母親・父親それぞれについて当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親	
1	1	利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2	2	利用した
3	3	利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

問32-7で「3.利用したかったが、利用できなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 32-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【(1) 母親【父子家庭の場合、記入は不要です】】

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかつた
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると同業種の入団申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にのみとらえるなど、子どもをみとくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

(2) 父親【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

8 地域の子育て支援や甲賀市の子育て支援サービスについてうかがいます。

問 33 あなたは子育てや教育に関するサークルなど、子どもに関する地域の活動に参加していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現在参加している

2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい

3. 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない

⇒ 問33-1へ

⇒ 問4へ

問 33-1 問 33 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。どのような活動に参加していますか、また参加したいですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子ども会活動
2. PTA 活動
3. 地域のスポーツ・文化活動
4. 地域のまつりやイベント
5. 子育てサークル
6. 地域（区や自治振興会）のサロン
7. その他（ ）

問33-2 問33で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。活動を進めていく上で、行政に行ってほしい支援はどのようなことですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

1. 活動場所の提供
2. 情報発信やPRなどの支援（掲示板の開放）
3. 活動中の保育事業
4. 活動資金助成
5. その他（ ）

問34 お子さんのかかりつけ医はおられますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 町内にいる
2. 市内（町外）にいる
3. 市外にいる
4. いない

問 35 お子さんが高熱を出すなど急病の場合、すぐに見てもええる医療機関が見つからず困ったことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. あった	2. なかった
--------	---------

問 36 お子さんについて、日ごろ悩んでいることや気になることはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 成績や進路	2. 学校での様子や学習態度
3. 病気や養育・発達	4. 友達関係
5. 不登校	6. いじめ
7. 家庭内暴力	8. 登下校の安全対策
9. その他（ ）	10. 特になし

問 37 あなたは、しつけのためにお子さんをたたくことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある	2. ない	3. どちらともいえない
-------	-------	--------------

問 38 あなたは、しつけのために体罰が必要だと思えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある	2. ない	3. どちらともいえない
-------	-------	--------------

問 39 あなたは、ゆっくりとした気分でお子さんとお過ごせる時間がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. はい	2. いいえ	3. どちらともいえない
-------	--------	--------------

問 40 あなたは、子育てをされていて良かったことや喜びを感じたことはありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの交流が楽しい	2. 子どもの成長をみるのが喜びである
3. 子どもの成長を通して人間関係が広がる	4. 人間的に成長できる
5. 家庭の中が明るくなる	6. 夫婦や家族のきずなが強くなる
7. 孤独感を感じることがない	8. その他（ ）
9. 特になし	

問 41 甲賀市は子育てしやすいと思えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

子育てしにくい	1	2	3	4	5	子育てしやすい
---------	---	---	---	---	---	---------

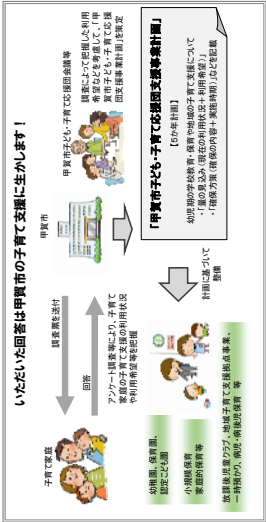
問 42 あなたは、甲賀市に住み続けたいと思えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 思う	2. まあまあ思う
3. あまり思わない	4. 思わない
5. わからない	

問 43 甲賀市の子育て支援において今後重要と思われることはありますか。当てはまる番号5つに○をつけてください。

1. 健診や発達相談や健康相談など保健センター事業の充実
2. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備
3. 親が安心して集まれる身近な場の提供
4. 甲賀市の子育ての拠点となる施設の整備
5. 交通安全のための対策強化
6. 犯罪を未然に防ぐ防犯対策
7. 保育園、幼稚園の充実
8. 保育時間の延長
9. 短期間利用できる一時預かり保育の充実
10. 宿泊保育、病時の保育や託児などのさまざまな保育事業の充実
11. 幼児教育、学校教育の充実
12. 子ども同伴でも外出しやすく楽しめる自然や公園等の整備
13. 家庭や地域が自主的に活動する地域づくり
14. 休暇制度など企業に対する働き方改革の働きかけ
15. 子育て家庭同士の交流の場の提供
16. 子育てについて学べる機会の提供
17. 子どもの発達や子育ての悩みについて気軽に相談できる窓口やカウンセリングの充実
18. 放課後児童クラブの完全入所
19. その他（ ）

問 44 最後に、養育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。



調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
切手は貼らずに 1月22日(水)までに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

「甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画」策定に係るアンケート調査

皆様には、日ごろより市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

甲賀市では、平成 27 年度から始まる「子ども・子育て支援新制度」に向けて、「子ども・子育て応援団支援事業計画」を策定します。このため、市民の皆様にご意見を伺うことをおこなうが、いまするアンケート調査を実施いたします。

子どもは甲賀市の将来を担う宝です。地域全体で子どもの成長を応援していけるような施策やアイデアを計画に反映させていきたいと考えています。調査の結果は、子どもが育ちやすい、子育てしやすい環境づくりに進めるための計画策定に活用させていただきます。

つきましては、ご多忙のこととは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 26 年 2 月

甲賀市長 中嶋 武嗣

【ご記入にあたってのお願い】

- 1. この調査は市内在住の 18 歳以上の方の中から無作為に 1,000 人を抽出し、お願いするものです。調査は無記名であり、皆様からのお答えはすべて統計的に処理し、個人が特定されたり、他の目的で利用されることはありません。
- 2. アンケートには、**新簡のあて名のご本人**がご記入ください。
- 3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
- 4. 選択肢の場合、お選びいただく数か設置によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 5. 設置によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、**ごわり書きや失印に従って**ご回答ください。特にごわりのない場合は次の設問にお進みください。
- 6. **ご記入が済みしたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて 2月28日（金）まで**にご投函ください。
- 7. ご回答いただくでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

甲賀市役所 健康福祉部 子ども応援課 子ども政策係
TEL：0748-65-0729 FAX：0748-63-4085

3 調査票（一般市民アンケート用）

1 あなたと家族のことについてうかがいます。

問 1 あなたの性別と年齢をお答えください。

性別（1つに○）	1. 男性	2. 女性
年齢（平成 26 年 1 月 1 現在）	（ ） 歳	

問 2 お住まいの小学校区はどちらですか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 伴谷小学校区	2. 伴谷東小学校区	3. 柏木小学校区	4. 水口小学校区
5. 綾野小学校区	6. 貴生川小学校区	7. 鮎河小学校区	8. 山内小学校区
9. 土山小学校区	10. 大野小学校区	11. 大原小学校区	12. 油田小学校区
13. 佐山小学校区	14. 甲南第一小学校区	15. 甲南第二小学校区	16. 甲南第三小学校区
17. 甲南中部小学校区	18. 希望ヶ丘小学校区	19. 信楽小学校区	20. 雲井小学校区
21. 小原小学校区	22. 朝宮小学校区	23. 多羅尾小学校区	

問 3 甲賀市に住んで何年になりますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 5 年未満	2. 5 年以上 10 年未満
3. 10 年以上 20 年未満	4. 20 年以上

問 4 あなたの家族すべてに○をつけて、あなたを入れたご家族全員の人数を書いてください。ここで家族とは同居者を指しますが、配偶者・パートナーが専任担任している場合は家族に含めてください。なお、続柄はあなたから見た関係です。

1. 父	2. 母	3. 兄・姉	4. 弟・妹
5. 祖父	6. 祖母	7. 子ども（ ）人	あなたを入れた家族の人数（ ）人
8. 孫	9. 配偶者・パートナー	10. その他（ ）人	

問 5 あなたの現在の就労状況（自営業、家族従業を含む）として、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また、問 4 で「9. 配偶者・パートナー」に○をつけた方は、配偶者・パートナーについてもお答えください。

(1) あなた	(2) 配偶者・パートナー
1. 就労している（フルタイム）	1. 就労している（フルタイム）
2. 就労している（パートタイム、アルバイト等）	2. 就労している（パートタイム、アルバイト等）
3. 就労している（産休・介護休業中）	3. 就労している（産休・介護休業中）
4. 以前は就労していたが、現在はしていない	4. 以前は就労していたが、現在はしていない
5. これまでに就労したことはない	5. これまでに就労したことはない
6. 学生である	6. 学生である

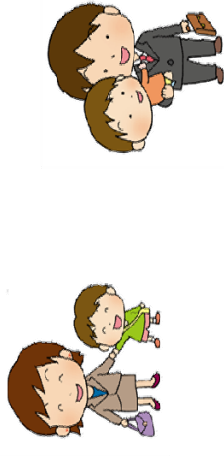
2 子育てや教育についてうかがいます。お子さんの有無にかかわらずご回答ください。

問6 あなたは「子育て」についてどのように感じていますか。下の内容について、太枠内に1つずつ○をつけてください。お子さんがいらっしゃる場合は印象でお答えください。

	思う	まあまあ 思う	あまり 思わない	わから ない
①子どもはかわいい	1	2	3	4 5
②子育ては楽しい	1	2	3	4 5
③子どもはわすらし、子育ては大変である	1	2	3	4 5
④子どもをもつと、人生や生活が豊かになる	1	2	3	4 5
⑤子どもや家族との時間をできるだけ多くとりたい	1	2	3	4 5
⑥子どもをもつと、お金や時間の面で生活が苦しくなる	1	2	3	4 5
⑦子どもをもった後も、自分の時間を多くとりたい	1	2	3	4 5

問7 あなたは男女ともに子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業など（職場）における環境整備としてどのようなものを望みますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 妊娠中の通勤・就労などに配慮した各種制度（時差出勤制度など）
2. 産前産後の休暇が十分にとれる制度
3. 子どもが満1歳になるまでの育児休業期間に、ある程度の給料保障がされる制度
4. 育児休業期間が1年を超えてとれる制度
5. 出産・育児などのため、会社を辞めた女性を再雇用する制度（再雇用制度）
6. 育児のため、必要な場合に就業時間を縮めることができる制度（短時間勤務制度）
7. 就業時間のある程度自由に融通できる制度（フレックスタイム制度）
8. 自宅で仕事をすることができるとの制度（在宅勤務制度）
9. 子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる制度
10. 子どもの行事（運動会や発表会など）に参加するための休暇制度
11. 企業（職場）内に託児所を設けること
12. 男女ともに子育てと仕事が両立しやすいように、企業（職場）内で子育てへの理解を広めていくこと
13. 子どもを保育園に預けた場合に企業（職場）から保育料の助成をすること
14. 特に希望することはない
15. その他（ ）



問8 あなたは義務教育で何が重要だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 基礎学力をつけること
2. 希望の学校に入れる学力をつけること
3. 考える力や創造力をつけること
4. 音楽・芸術・スポーツや自然・社会体験など幅広く学ぶこと
5. 礼儀・規律を学ぶこと
6. 人間関係を築く力を身につけること
7. コミュニケーションを身につけること
8. 希望する仕事につける知識や技術を身につけること
9. 子どもが将来について展望を持てるようにすること
10. 子どもの個性を認め、良いところを伸ばすこと
11. 子どもの自主性・自発性を引き出すこと
12. 家庭の状況を理解した対応をすること
13. その他（ ）
14. 特に重要だと思うことはない

問9 あなたは最近の子育てや教育の現状について考えたとき、どのようなことが問題だと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家庭でのしつけが不十分であること
2. 地域社会での子どもへの関わりが不十分であること
3. 学校での教育が不十分であること
4. 受験競争が厳しいこと
5. 親の収入などによって、受けられる教育に差があること
6. 子どもの遊び場が少ないこと
7. テレビやインターネットなどのメディアから、子どもたちが悪い影響を受けること
8. 子どもの携帯電話やスマートフォンの利用により、親が子どもの交友関係や行動がわからなくなること
9. 子どもが安全に生活できなくなっていること
10. その他（ ）
11. 特に問題だと思うことはない

問10 あなたは、しつけのために体罰が必要だと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない
-------	---------	--------------

問11 甲賀市では、子育て支援をしていきたいと考えていますが、家庭の責任についてはどのように考えますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

責任は小さい	←	1	2	3	4	5	責任は大きい
--------	---	---	---	---	---	---	--------

問12 家庭以外に子育て（教育を含む）に影響するとと思われる環境はどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地域	2. 保育園・幼稚園
3. 学校	4. 放課後児童クラブ
5. その他（ ）	

3 少子化についてうかがいます。お子さんの有無にかかわらずご回答ください。

問 13 1人の女性が一生に産む子どもの平均数が低下しています。原因はどのようなことだと感じますか。当
てはまる番号3つに○をつけてください。

1. 子育ては経済的な負担が大きいため	
2. 子どもの教育や保育を行う施設等が充実していないから	
3. 子育て支援事業が充実していないから	
4. 子育てなど家庭生活と仕事が両立できる社会の仕組みになっていないから	
5. 結婚して子育てをすること以外に生きがいや価値観を見出す人が増えたから	
6. 結婚年齢が高くなったから	
7. 地域の人も、身近で子育てを支えてくれる人がいないから	
8. 環境や社会の動向に対して、将来への不安を感じている人が増えているから	
9. その他（ ）	

問 14 少子化に歯止めをかけるため、行政はどのような取り組みをすれば効果があると考えますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 若い世代に向けて子育ての大切さや楽しみなどの啓発（育児体験等）	
2. 男性も女性と一緒に家事、育児に参加していくという意識啓発	
3. 結婚を促進するよう企業・事業等の実施（安心して出会う場の提供等）	
4. 保護者の勤務時間に合わせた保育の実施	
5. 幼稚園・保育園・認定こども園の増設	
6. 学校教育の充実	
7. 地域における児童の活動への支援	
8. 子育て支援に必要な就業条件改善のための企業（職場）への指導・規制	
9. 不妊治療への支援	
10. 妊産婦・子どもが安心して医療機関にかかることができる体制整備	
11. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場の整備	
12. 結婚祝い金、出産祝い金の支給	
13. 幼稚園・保育園・認定こども園の利用者負担の軽減	
14. 教育費の負担軽減	
15. 児童手当の拡充	
16. 子育て中の世帯への税の軽減	
17. 子育てに通じた質の高い営住宅の提供や資金融資による住環境の整備	
18. 安心して利用できる公園、道路交通環境、公共施設（図書館・体育施設等）の整備	
19. その他（ ）	



4 地域での子育てについてうかがいます。お子さんの有無にかかわらずご回答ください。

問 15 あなたは子育てや教育に関するサークルなど、子どもに関する地域の活動に参加していますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 現在参加している	⇒ 問 15-1へ
2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい	
3. 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない	⇒ 問 16へ

問 15-1 問 15 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。どのような活動に参加しています
か、また参加したいですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子ども会活動	2. PTA活動
3. 地域のスポーツ・文化活動	4. 地域のまつりやイベント
5. 子育てサークル	6. 地域（区や自治振興会）のサロン
7. その他（ ）	

問 15-2 問 15 で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。活動を進めていく上で、行政に行
ってほしい支援はどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 活動場所の提供	2. 情報発信やPRなどの支援
3. 活動中の保育事業	4. 活動資金助成
5. その他（ ）	

問 16 身近な地域で、子ども同士が交流等を行うことができる場について、感じていることはありますか。
当てはまる番号3つに○をつけてください。

1. 近くに遊び場がない	2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 遊び場がせまい	4. 遊具などの種類が充実していない
5. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊ぶことができない	6. 遊び場についても子どもと同じ年くらいの遊 び仲間がいない
7. いつも閑散としていて寂しい感じがする	8. 遊び場周辺の道路が危険である
9. 遊具などの設備が古くて危険である	10. 不衛生である
11. 冬の間、外で遊べる場所がない	12. その他（ ）

問 17 市内で子どもと外出の際に困ると思うことは何ですか。当てはまる番号3つに○をつけてください。

1. 歩道や番号がない通りが多く安全に心配があること	2. 交通機関や建物、歩道の段差等がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
3. 暗い通りや見通しの悪い場所が多く犯罪の被害にあう恐れがあること	4. 授乳やおむつ替の場所が親子での利用に配慮されていないこと
5. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと	6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
7. 木陰や少しの時間休憩する場所がないこと	8. 特に困ること、困ったことはない
9. その他（ ）	

問 18 子育てをしていて良かったことや喜びを感じたことはありませんか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。お子さんがいらっしゃる場合は印象でお答えください。

1. 子どもの交流が楽しい	2. 子どもの成長をみるのが喜びである
3. 子どもの成長を通して人間関係が広がる	4. 人間的に成長できる
5. 家庭の中が明るくなる	6. 夫婦や家族のきずなが強くなる
7. 孤独感を感じることがない	8. その他（ ）
9. 特になし	

問 19 甲賀市は子育てしやすいと思いますか。当ではまる番号 1 つに○をつけてください。

子育てしにくい	←	1	2	3	4	5	子育てしやすい
---------	---	---	---	---	---	---	---------

問 20 甲賀市は、子どもが暮らしやすく健やかに育っていきけるまちだと思いますか。①～⑩のそれぞれについて、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

	充実 している	まあまあ 充実 している	あまり充実 していない	充実して いない	わからない
①行政の子育て支援事業	1	2	3	4	5
②保育園・幼稚園	1	2	3	4	5
③学校教育	1	2	3	4	5
④治安や安全対策	1	2	3	4	5
⑤子ども会やPTAの活動	1	2	3	4	5
⑥地域や隣近所の子育ての助け合い	1	2	3	4	5
⑦公園や児童館などの遊び場	1	2	3	4	5
⑧医療機関	1	2	3	4	5
⑨自然環境	1	2	3	4	5
⑩非行防止	1	2	3	4	5

問 21 あなたは、甲賀市に住み続けたいと思いますか。当ではまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 思う	2. まあまあ思う	3. あまり思わない
4. 思わない	5. わからない	

問 22 甲賀市の子育て支援において今後重要と思われることはありますか。当ではまる番号 5 つに○をつけてください。

1. 健診や発達相談や健康相談など保健センター事業の充実
2. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備
3. 親が安心して集まれる身近な場の提供
4. 甲賀市の子育ての拠点となる施設の整備
5. 交通安全のための対策強化
6. 犯罪を未然に防ぐ防犯対策
7. 保育園、幼稚園の充実
8. 保育時間の延長
9. 短期間利用できる一時預かり保育の充実
10. 宿泊保育、病時の保育や託児などのさまざまな保育事業の充実
11. 幼児教育、学校教育の充実
12. 子ども同伴でも外出しやすく楽しめる自然や公園等の整備
13. 家庭や地域が自主的に活動する地域づくり
14. 休暇制度など企業に対する職場環境改善の働きかけ
15. 子育て家庭同士の交流の場の提供
16. 子育てについて学べる機会の提供
17. 子どもの発達や子育ての悩みについて気軽に相談できる窓口やカウンセリングの充実
18. 放課後児童クラブの完全入所
19. その他（ ）

問 23 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
切手は貼らずに2月28日（金）までに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

甲賀市子ども・子育て応援団支援事業計画
策定に係るニーズ調査

発 行：甲賀市
編 集：甲賀市役所 健康福祉部 こども応援課
住 所：〒528-8502
滋賀県甲賀市水口町水口 6053 番地
T E L：0748-65-0729
F A X：0748-63-4085

発行年月：平成 26 年 3 月
